

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 東邦大学 理事長 炭山 嘉伸

東邦大学医療センター大森病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号
氏名	学校法人 東邦大学

（注） 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

東邦大学医療センター大森病院

3 所在の場所

〒143-8541 東京都大田区大森西6丁目11番1号
電話（03）3762－4151

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

☐	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
☐	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注） 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科					有		
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科		4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科	○	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科			○	11リウマチ科
診療実績							

1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
（注） 2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。

(注) 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	脳神経内科	3	形成外科	4	美容外科	5	性病科
6	肛門科	7	気管食道科	8	リハビリテーション科	9	病理診断科	10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
36				880	916

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	428	27	445.4	看護補助者	8	診療エックス線技師	0
歯科医師	6	0	6.0	理学療法士	15	臨床検査技師	95
薬剤師	66	5	70.2	作業療法士	4	衛生検査技師	0
保健師	233	0	233	視能訓練士	7	その他	0
助産師	89	0	89.0	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	707	16	715.8	臨床工学士	23	医療社会事業従事者	6
准看護師	4	0	4.0	栄養士	1	その他の技術員	62
歯科衛生士	5	2	5.2	歯科技工士	0	事務職員	122
管理栄養士	17	1	18.0	診療放射線技師	62	その他の職員	12

1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

(注) 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	60	眼科専門医	10
外科専門医	38	耳鼻咽喉科専門医	3
精神科専門医	5	放射線科専門医	8
小児科専門医	25	脳神経外科専門医	7
皮膚科専門医	5	整形外科専門医	13
泌尿器科専門医	13	麻酔科専門医	6
産婦人科専門医	20	救急科専門医	6
		合計	219

1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

(注) 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (酒井 謙) 任命年月日 令和 6 年 7 月 1 日

クオリティマネージャー

医療の質会議への出席、医療安全管理委員会への助言

管理者任期は1期3年間であり、令和6年10月1日現在、1期目1年目であります。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	640.6 人	3.9 人	644.5 人
1日当たり平均外来患者数	1,499.3 人	33.4 人	1,532.6 人
1日当たり平均調剤数	入院 1,203.1剤 外来 192.2剤		
必要医師数	155.04 人		
必要歯科医師数	4 人		
必要薬剤師数	21 人		
必要(准)看護師数	373.34 人		

- 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- (注) 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	246.69 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	病床数	9 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	m ²	病床数		床
	[移動式の場合]	台数	7 台			
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積	32.8		m ²	
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	615.32 m ²		(主な設備)		生化学検査装置	
細菌検査室	216.56 m ²		(主な設備)		微生物検査装置・顕微鏡	
病理検査室	451.79 m ²		(主な設備)		顕微鏡	
病理解剖室	93.84 m ²		(主な設備)		解剖台	
研究室	74.93 m ²		(主な設備)		クリーンベンチ・CO2インキュベーター	
講義室	342.56 m ²		室数	1 室	収容定員	198 人
図書室	72.21 m ²		室数	1 室	蔵書数	1,230 冊 程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	76.9 %	逆紹介率	57.8 %
算出 根拠	A: 紹介患者の数		24,699 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		20,744 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,891 人
	D: 初診の患者の数		35,887 人

- 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
福島 靖正	国立保健医療科学院 名誉院長(医師)	○	医療安全に係る安全管理 に関する識見を有する 者	無	医療に係る安全管理又は法 律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する 者
小西 貞行	小西貞行法律事務所 (弁護士)		法律に関する識見 を有する者	無	医療に係る安全管理又は法 律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する 者
岩本 裕	NHKチーフ・プロデュー サー		医療メディアに関する識 見を有する者	無	医療を受ける者その他の医 療従事者以外のもの
渡邊 善則 令和6年7月1日～	東邦大学 学長(医師)		医療に関する識見を 有する者	有	医療に係る安全管理又は法 律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する 者
池田 隆徳	東邦大学 医学部長(医師)		医療に関する識見を 有する者	有	医療に係る安全管理又は法 律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する 者

「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

- (注) 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 病院のウェブサイトにて、規定等を公表 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/evaluation/audit.html	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数 (人)
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	45人
子宮内膜受容能検査1	21人
子宮内細菌叢検査1	15人
子宮内膜刺激術	63人
膜構造を用いた生理学的精子選択術	49人
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	4人
子宮内細菌叢検査2	12人
子宮内膜擦過術	0人
二段階胚移植	0人
ハイパードライ乾燥羊膜を用いた外科的再建術	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類の合計数	10
取り扱い患者数の合計(人)	209人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
なし	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	心肺停止症例に対する対応及び蘇生後管理、治療	取扱患者数	100
東京消防庁のホットライン要請による病院前心肺停止例を24時間体制で受け入れ、二次救命処置による。蘇生術を行い心拍再開例については引き続き集中治療を行い完全社会復帰を目標に行っている。低体温療法も適応によって導入している。			
医療技術名	急性肺障害に対するVV-ECMOを用いた管理、治療	取扱患者数	10
人工呼吸器、呼吸理学療法を用いても改善不能な急性呼吸不全に対して、VV-ECMOによる支持療法で薬物療法を併行して行いながら重症ARDSに対して治療をおこなっている。COVID19流行に伴い昨年度より増加している。			
医療技術名	敗血症性ショック、心原性ショックにおける体外循環(ECMO、IABP)	取扱患者数	40
敗血症に対してはvolume resusiationを行い加療している。カテコラミンに反応しない症例に対して機械的補助としてVA-ECMO(PCPS)を導入し治療をしている。また、急性冠症候群、難治性心室細動に対してPCPS、IABPを挿入しCAG、PCI、その後の集中治療管理につなげ社会復帰できるよう治療している。			
医療技術名	出血性ショックに対する血管内治療	取扱患者数	10
不安定型骨盤骨折、外傷性脾損傷、腎損傷など外傷を主に血管内治療が可能な損傷に対して気管挿管し呼吸管理をしながら血管内治療を施行し、出血のコントロールをおこなっている。			
医療技術名	腹腔内出血及び骨盤骨折に対する大動脈遮断カテーテル管理	取扱患者数	10
ショックを呈した横隔膜以下の外傷による出血性臓器損傷や腹部大動脈瘤破裂に対して血管内治療、手術に移行するまでのバイタル維持のために救急外来で挿入している。			
医療技術名	重症敗血症に対する病態対応、治療	取扱患者数	20
重症敗血症治療は呼吸・循環管理、抗菌薬投与などの集学的治療を行う必要がこの重症敗血症の患者血清から急性酸化ストレスマーカーを測定			
医療技術名	急性薬物中毒における管理、治療	取扱患者数	80
一般中毒はもとより、自家製の青酸中毒キット、アセトアミノファン中毒キットを常備し、中毒物値をモニターしながら治療法を選択し、特殊な急性中毒に対処している。			
医療技術名	重症熱傷に対する管理、治療	取扱患者数	5
BSA20%以上あるいは気道熱傷合併症例など重症熱傷に対して就学的な治療をおこなってる。初期よりデブリドマンを施行し自家皮膚培養も積極的におこない治療をおこなっている。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植	取扱患者数	3
若年者初発多発性骨髄腫や通常の化学療法で予後不良な悪性リンパ腫などに対し、大量化学療法と行うとともに副作用である骨髄機能不全からの回復を目的とし自家末梢血幹細胞を移植する。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞採取	取扱患者数	3
若年者初発多発性骨髄腫や通常の化学療法で予後不良な悪性リンパ腫などに対し、大量化学療法と行うとともに副作用である骨髄機能不全からの回復を目的とし自家末梢血幹細胞を移植する。移植するための造血幹細胞を2-3日程度のアフレーションにて採取し、輸血部にて凍結処理を行い液体窒素内で凍結保存する。			
医療技術名	気道狭窄に対するステント療法	取扱患者数	10
気管・気管支の腫瘍性あるいは炎症性狭窄に対する内視鏡下ステント療法である。当科は硬性気管支鏡を使用しており、安全かつ高難度の処置が可能である。			
医療技術名	中等症以上のCOPD合併肺癌および続発性気胸に対する手術療法	取扱患者数	10
一般に積極的治療対象とならない中等症以上のCOPDを合併した肺癌症例や続発性気胸に対し、外科的治療を安定して行っている。			
医療技術名	間質性肺炎合併肺癌に対する手術療法	取扱患者数	8
一般に積極的治療対象とならない間質性肺炎合併肺癌に対し、肺切除術を安定して行っている。			
医療技術名	ロボット支援下縦隔腫瘍手術	取扱患者数	1
低侵襲医療支援ロボットを用いた縦隔腫瘍手術を行っている。			
医療技術名	径気管支凍結生検(クライオ生検)	取扱患者数	20
凍結生検(クライオ生検)とは、凍結剤(二酸化炭素)で冷却したプローブを肺組織に接触させることにより、気管支・肺末梢組織及び、気管支内の異物を凍結させ、組織の採取及び異物除去を行うことができます。			

医療技術名	実態モデルを用いた手術シュミレーション	取扱患者数	4
CT画像であるDICOMデータを用いて、実態モデルを作成し、術前シュミレーションやプレートベンディングを行う			
医療技術名	腹腔鏡下手術	取扱患者数	314
腹腔鏡下子宮付属器癒着剥離術・腹腔鏡下子宮付属器腫瘍摘出術 腹腔鏡下卵管全摘除術・腹腔鏡下子宮卵管留血腫手術・腹腔鏡下異所性妊娠手術 腹腔鏡下子宮筋腫摘出術・腹腔鏡下子宮全摘出術・子宮鏡下子宮筋腫摘出術、腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 卵管強化卵管形成術・ロボット支援下腹腔鏡下子宮全摘術、ロボット支援下仙骨腫固定術			
医療技術名	胎児治療	取扱患者数	36
内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 胎児胸腔羊水シャント術			
医療技術名	高度生殖補助医療	取扱患者数	896
採卵術・胚移植術			
医療技術名	婦人科悪性腫瘍手術	取扱患者数	134
子宮悪性腫瘍手術 子宮付属器悪性腫瘍手術			
医療技術名	冠動脈インターベンション(PCI)	取扱患者数	402
冠動脈インターベンション(PCI)は、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患の中心的治療法であり、特に急性心筋梗塞では本治療法による迅速な血流再開が必要である。冠動脈内に筒状の金属を留置する方法であり数種類のステントが臨床使用されている。加えて、血栓吸引療法やロータブレード、IVLなどの高度な治療法も数多く行っている。			
医療技術名	経皮的末梢動脈形成術(EVT)	取扱患者数	164
末梢動脈にステントを留置して血行再建を行う方法であるが、ステント留置に適さない病変に対してはバルーンによる血管拡張、薬剤溶出性バルーンを用いて加療を行っている。下肢動脈が主な対象となるが、その他に鎖骨下動脈や腎動脈などの末梢動脈に対しても同治療を行っている。末梢動脈内に留置する筒状の金属は、数種類のステントが臨床使用されている。			
医療技術名	経皮的大動脈弁置換術(TAVI)	取扱患者数	46
重症の大動脈弁狭窄症に対する治療において、高齢者や合併症を有する症例では危険度が高く施行できない症例も多く存在する。こうした症例に対して、開胸術を要さずカテーテルを用い大動脈弁を留置する方法を選択している。これが経皮的大動脈弁置換術(TAVI)である。主に高齢で手術適応とならない症例に対して行っている。			
医療技術名	経皮的僧帽弁クリップ術(MitraClip)	取扱患者数	19
重症の僧帽弁閉鎖不全症に対する治療において高齢者や合併症を有する症例では危険度が高く施行できない症例も多く存在する。こうした症例に対して、カテーテルを用いクリップで2つの僧帽弁をはさみ、弁逆流を軽減させる方法を選択している。これが経皮的僧帽弁クリップ術(MitraClip)である。主に開胸術を行えない症例に対して行っている。			
医療技術名	カテーテルアブレーション	取扱患者数	328
電極カテーテルを心腔内に挿入し、頻拍の原因となる異常興奮発生部位、異常興奮回路・伝導路を選択的に焼灼する治療法である。心房細動、心房粗動、発作性上室頻拍、心室頻拍など頻脈性不整脈に対する根治目的で実施している。現在では、クライオ(冷凍凝固)やレーザーなどの新しいエネルギーを用いた治療法も数多く行っている。			
医療技術名	植込み型除細動器手術(ICD・S-ICD)	取扱患者数	18
心室細動や心室頻拍などの心室性不整脈による心臓突然死の予防目的で用いられる。電極カテーテルを心腔内に挿入し、デバイス本体は前胸部の皮下に埋め込む(ICD)。電極カテーテルを皮下に植え込む方法もある(S-ICD)。心肺蘇生経験例のみならず、心臓突然死の危険性があると判断された症例においても使用している。			
医療技術名	心臓再同期療法手術(CRT・CRT-D)	取扱患者数	19
薬剤抵抗性の重症心不全患者に対して適応があり、心機能の改善目的で使用される。経静脈的に電極カテーテルを心腔内に挿入し、デバイス本体は前胸部の皮下に埋め込む。同時に危険な心室性不整脈による心臓突然死をきたす可能性がある症例においては、除細動機能付きのデバイス(CRT-D)も使用している。			
医療技術名	左心耳閉鎖デバイス(Watchman)留置術	取扱患者数	9
心房細動患者では、左心耳に血栓が形成され、それが遊離することで、重篤な心原性脳塞栓症を発症する。通常は、経口抗凝固薬を投与して予防するが、出血傾向の高い患者においては、長期に渡って経口抗凝固薬服用することができない。そのような症例において、左心耳閉鎖デバイス(Watchman)を実施している。			
医療技術名	新生児先天性心疾患の内科的管理および外科的治療	取扱患者数	5
新生児期に発症する重症先天性心疾患においては、適切な時期に手術を行うことが可能となるように、より専門的な内科管理が必要である。新生児に対する外科治療では、手術の難易度が高いだけでなく、術中の麻酔も含め、幼児以降の小児患者よりも綿密な管理が必要となってくる。術後においても新生児の未熟性のために回復が遅く急激な悪化を示すことが多いため、リスクを回避するために専門医による管理が必須である。			

医療技術名	肺高血圧症における一酸化窒素療法	取扱患者数	3
高度の肺高血圧を伴う先天性疾患において、術後に肺高血圧クライゼを来すことがある。この発作は致死的な状態であり、一旦発症すると回復することが困難となる。術後、このクライゼ予防のため、血行動態をより安定化させる必要があり、一酸化窒素療法が重要な治療戦略の一つになっている。適切な投与量をモニタリングしながら、副作用に留意すべき治療であり、専門医による管理が必要である。			
医療技術名	小児先天性心疾患に対する心臓カテーテル検査	取扱患者数	70
小児の先天性心疾患では、体格が小さいことだけではなく、その解剖学的な複雑性から、カテーテル手技の難易度は極めて高い。アクセスする血管が細く、脆弱であるため、高度の技術を要する。また、検査中に呼吸状態や血行動態が不安定になるリスクが高いため、カテーテル術者だけでなく、看護師、技師を含めたチームでの管理が必要になってくる。			
医療技術名	小児先天性心疾患に対する心臓カテーテル治療	取扱患者数	19
動脈管開存症、肺動脈弁狭窄、肺動脈狭窄などに対する、経皮的コイル塞栓術や経皮的バルーン拡張術を行っている。これらのカテーテル治療では、乳幼児の開心術を回避することができ、先天性心疾患の術後に残存した病変に対しても、再手術を回避することができる。しかし、技術的に難易度が高く、適切な手技と治療デバイスの選択が必要であり、専門医によってのみ行うことができる。			
医療技術名	肺高血圧症に対するEpoprostenol持続静注療法	取扱患者数	10
小児期に発症した肺高血圧症に対して、Epoprostenol持続静注療法の使用経験は他の施設に比して、当院では多い。100万人に1-2人程度の発症率であるが、専門施設としてより多くの症例の経験を積んでいる。本治療にあたり、埋没型カテーテルの挿入が必要であるが、血行動態が不安定な場合、術中に急変するリスクが高い。このため、麻酔科、外科とも綿密な治療計画を立てて、手術にあたっている。持続静注の投与量に関しても副作用に留意しながら、症例毎に適切な投与量を設定する必要があり、専門医による管理が必要である。			
医療技術名	小児難治性白血病に対する集学的治療	取扱患者数	15
小児白血病を含む小児がん患者に対して多剤併用化学療法を行う。治療は極めて強力であり、骨髄抑制をはじめとして多岐にわたる有害事象が確実に発生するため、これらへの対応が重要である。治療には小児外科、放射線科、脳神経外科、病理部などの協力が不可欠であり、これらの診療科とのカンファレンスを密に行い、最適な治療を行う。一部の患者では自家造血細胞移植も併用する。			
医療技術名	先天性甲状腺機能低下症の診断と治療	取扱患者数	50
新生児マススクリーニングなどで発見された先天性甲状腺機能低下症の患者さんを対象としている。尿中ヨード測定で母体からのヨード過剰の有無、甲状腺超音波検査で形態異常、位置異常の有無を確認し、病態の把握を行っている。その後、成長発達に留意しながら、甲状腺ホルモンの補充療法を行っている。			
医療技術名	成長ホルモン治療	取扱患者数	35
成長ホルモン治療の保険適応がある、成長ホルモン分泌不全、ターナー症候群、SGA性低身長症、軟骨異栄養症などの患者さんを対象にしている。必要に応じて、他のホルモン分泌不全の評価、成長ホルモン分泌刺激試験や、頭部MRI、合併する疾患の有無を確認した後、副作用などに留意して、成長ホルモン治療を行っている。			
医療技術名	小児胸腔鏡補助下胸部手術	取扱患者数	7
胸腔鏡補助下に気胸、膿胸、先天性嚢胞性肺疾患の切除術を実施した			
医療技術名	胸腔鏡下弁置換術	取扱患者数	2
右小開胸にて胸腔鏡を使用し、心停止下大動脈弁置換術を行う。			
医療技術名	胸腔鏡下弁形成術	取扱患者数	4
右小開胸にて胸腔鏡を使用し、心停止下に僧帽弁、三尖弁形成術を行う。			
医療技術名	胸腔鏡下不整脈手術	取扱患者数	2
右小開胸にて胸腔鏡を使用し、心停止下弁形成術と同時にMAZE手術を行う。			
医療技術名	経カテーテル的大動脈弁留置術	取扱患者数	41
大動脈弁狭窄症に対して、大動脈弁位にカテーテルを用いて人工弁を留置する。			
医療技術名	新生児の体腔穿刺	取扱患者数	14
新生児気胸に対する脱気、胸水腹水に対するドレナージ治療を行った			

医療技術名	新生児重症心疾患の内科的管理及び外科的治療	取扱患者数	13
チアノーゼまたは重症心不全を呈する新生児早期の先天性心疾患に対するPGEI製剤などによる内科的治療及び新生児早期の開心術、短絡術を随時施行している			
医療技術名	新生児遷延性肺高血圧症における一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	13
新生児遷延性肺高血圧症に対し、微量のNOガスを投与した			
医療技術名	肺サーファクタント補充療法	取扱患者数	28
新生児呼吸窮迫症候群に対し、気管内人工肺サーファクタント補充療法を行った			
医療技術名	気管支肺異形成症・気胸予防に対する高頻度振動換気療法	取扱患者数	12
気管支肺異形成症・気胸予防に対し高頻度振動換気療法を行った			
医療技術名	未熟児動脈管開存症に対する薬物的閉鎖療法	取扱患者数	13
未熟児動脈管開存症に対し、心エコー検査で評価した後イブプロフェン、インドメタシン静注療法で閉鎖させた			
医療技術名	臍動静脈脈カテーテルによる循環の管理	取扱患者数	5
臍動脈にカテーテルを挿入し、動脈圧を常時モニター、臍静脈からの循環作動薬を用いて7重症新生児の循環管理を行い予後を改善した			
医療技術名	新生児重症外科的疾患の治療並びに管理	取扱患者数	15
先天的奇形に基づく、新生児の消化器、呼吸器、体壁などの重症疾患を手術的に救命し、術後の管理を行う			
医療技術名	水頭症に対するリザーバ留置術	取扱患者数	2
出血後水頭症に対し、リザーバ留置による治療を行った			
医療技術名	中心静脈カテーテル(臍静脈カテーテルを含む)による高カロリー輸液	取扱患者数	101
中心静脈カテーテル(臍静脈カテーテルを含む)を挿入し、高カロリー輸液を実施することにより、低栄養状態を改善させた			
医療技術名	未熟児網膜症に対するレーザーによる光凝固療法・眼内抗VGF抗体注射	取扱患者数	4
重症の未熟児網膜症に対し、眼科と協力してレーザーによる光凝固療法を実施して、失明を予防した			
医療技術名	重症新生児仮死例に対する低体温療法	取扱患者数	6
重症仮死例に早期より低体温療法を行い予後の改善をはかる			
医療技術名	胎児(心臓)超音波検査	取扱患者数	161
胎児心臓超音波検査などにより 正確な胎内診断に基づく出生後の管理につなげた			
医療技術名	aEEG(長時間脳波)による新生児けいれんの記録解析	取扱患者数	6
重症新生児仮死や新生児けいれんに対して発作型や治療効果判定に応用した			
医療技術名	内視鏡下椎間板摘出術	取扱患者数	39
腰椎椎間板ヘルニア症例に対して、低侵襲手術を目指し、内視鏡視下にヘルニア腫瘤の摘出を行っている。			
医療技術名	脊椎固定術	取扱患者数	158
脊椎変形の不安定性に対して、ケージとスクリューロッドを用いて脊椎を固定し、術前症状の改善を図っている。			
医療技術名	顕微鏡下椎間板摘出術	取扱患者数	2
腰椎椎間板ヘルニア症例に対して、低侵襲化を目指し、顕微鏡視下にヘルニア腫瘤の摘出を行っている。			
医療技術名	コンピュータナビゲーションシステムの使用	取扱患者数	50
脊椎インストゥルメンテーション手術時に個々に最も適したスクリューインプラントの設置を行うため、コンピュータ計測をもとにスクリュー刺入を正確に行うためにナビゲーションシステムを使用している。			
医療技術名	自己血回収、輸血	取扱患者数	150
輸血をすることが予測される患者に対して、感染症の予防、輸血量削減を目的に手術中より自己血回収装置を使用している。人工関節置換術後のドレーン血も自己血回収装置を使用し回収しているが、有用な方法である。			

医療技術名	人工関節置換術	取扱患者数	226
膝、股、肩、足、肘関節の変形性変化による疼痛、可動域制限などに対して、QOLの向上を目的として人工関節置換術を行い良好な成績を得ている。			
医療技術名	関節リウマチに対する生物学的製剤治療	取扱患者数	180
関節リウマチの関節炎には炎症性サイトカイン（IL-1,IL-6,TNF-α 72など）が大きくかかわっていることが知られている。近年、関節リウマチの治療法として、これらの炎症性サイトカインに対する生物学的製剤が臨床応用されている。従来の抗リウマチ薬に抵抗性の関節リウマチ患者に対して生物学的製剤を用い治療している。			
医療技術名	Early Psychosis Unit （イルボスコ）	取扱患者数	40
既存の統合失調症の診断基準において、陽性症状が出現した時期が発症の時期とされている。しかし、その数年前からすでに社会機能の低下や陰性症状、さらには、脳の形態学的変化も生じることが知られている。そのため、近年、精神病前駆状態や病前期についてのサブクリニカル水準での介入が必要であると考えられている。当院イルボスコでは日本国内で、他に先駆け早期介入を行い対象者の精神病発症の予防や支援を行っている。			
医療技術名	クロザピン処方	取扱患者数	30
クロザピンは、治療抵抗性統合失調症に対し極めて有用な治療法であるが、血球障害や心筋炎をはじめとする重篤な副作用が起きる可能性も極めて高い。したがって、高度なスキルを有する精神科医のみならず、血液内科医、糖尿病専門医が居り、互いに密な連携が可能な医療機関でのみ処方が許可されている。当科ではこれらの診療科と連携し治療抵抗性統合失調症患者にクロザピンの処方を行っている。			
医療技術名	修正型電気痙攣療法	取扱患者数	140
電気けいれん療法は、前頭部に通電することで人為的にけいれん発作を誘発する治療法である。電気療法は薬剤抵抗性のうつ病などに対して極めて有効であるが、けいれん発作による、循環状態への影響や骨折の影響が生じる恐れがある。そのため当科では、麻酔科と協力し麻酔下で人工呼吸等を含めた呼吸管理、循環動態の観察を行いながら安全に通電する修正型電気けいれん療法を行っている。			
医療技術名	三次救急対応となった身体合併症を有する精神疾患患者への対応	取扱患者数	40
精神疾患患者に重篤な身体合併症が生じ、三次救急対応が必要となる場合がある。その際には、急性期の精神症状への治療介入が可能な精神科と、迅速にあらゆる身体合併症に対し高度な治療を行うことができる診療科が、緊密に連携して治療を行う必要がある。都内でも三次救急対応となった精神疾患を有する患者へ即応できる医療機関は極めて限られている。当科においては、都内の広範な地域の、三次救急対応を必要とする身体合併症を有する精神疾患患者への対応を行っている。			
医療技術名	フラッシュ血糖モニターFGM (Flash Glucose Monitoring)	取扱患者数	91
皮下組織に専用のセンサを装着して、連続的に皮下のグルコース(ブドウ糖)濃度を記録し、非接触型リーダーによって血糖を確認できる技術。			
医療技術名	SAP (Sensor Augmented Pump) 療法	取扱患者数	17
パーソナル持続血糖モニター機能を搭載したインスリンポンプ療法で、目標血糖値に合わせ基礎インスリン注入量を自動的に調整できるシステム。			
医療技術名	甲状腺穿刺吸引細胞診	取扱患者数	142
超音波ガイド下に甲状腺腫瘍性病変などの位置を確認しながら、細い注射針で病変部を刺して直接細胞を吸い出し、顕微鏡で観察して良性か悪性かを判断する検査方法。			
医療技術名	選択的副腎静脈サンプリング法	取扱患者数	4
副腎静脈サンプリングの際に副腎内支脈別採血により、原発性アルドステロン症をより精確に診断でき手術適応か否か判断する技術。			
医療技術名	三次元合成画像および3Dプリンターによる立体模型を用いた手術シミュレーション	取扱患者数	35
頭蓋底外科を要する脳腫瘍症例に対して、術前に三次元合成画像および3Dプリンターによる立体模型を作成し、手術シミュレーションを行う。			
医療技術名	脳血管内手術	取扱患者数	30
開頭手術困難な脳動脈瘤に対して、ステントを用いた脳血管内治療を行う。			
医療技術名	術中脳機能モニタリング	取扱患者数	50
開頭手術や脊髄腫瘍手術時において、神経症状の変化を観察可能な装置として、MEP(motor evoked potentials: 運動誘発電位)・SEP(somatosensory evoked potentials: 体性感覚誘発電位)といった術中モニタリングシステムを用いる。			
医療技術名	神経内視鏡	取扱患者数	10
神経内視鏡として硬性鏡、軟性鏡を用いて、下垂体腺腫の手術を行った。また、脳内血腫に対しても用いている。			

医療技術名	3Dプリンターによる実体モデルを用いた手術シミュレーション	取扱患者数	10
前述の三次元合成画像の作成方法と同様に、頭部MRI、CT、DSAの画像データを用いて、三次元合成画像を作成したのち、頭蓋底腫瘍など、特に解剖学的所見の立体的特徴の把握が重要な症例には、3Dプリンターで実体模型を作製し、術前シミュレーションを行った。また、必要に応じて研究室内の手術用顕微鏡およびドリルを用いて、実際の手術手技を行った。			
医療技術名	手術用支援機器を用いた前立腺全摘除術	取扱患者数	59
限局性前立腺がんに対する根治治療である前立腺全摘術を手術用支援機器を用いて行うもの。			
医療技術名	手術用支援機器を用いた腎部分切除術	取扱患者数	34
小径の腎細胞がんに対する標準治療のひとつである腎部分切除術を手術用支援機器を用いて行うもの。			
医療技術名	手術用支援機器を用いた膀胱全摘術	取扱患者数	18
筋層浸潤性膀胱がんに対する標準治療のひとつである膀胱全摘術を手術用支援機器を用いて行うもの。			
医療技術名	重症自己免疫水疱症の集学的治療	数	5
重症天疱瘡、類天疱瘡に対し、ステロイド大量療法が効果不十分である場合に、免疫抑制療法、血漿交換療法、大量免疫グロブリン静注療法を行い効果を上げている。			
医療技術名	パッチテスト	数	5
当科では、スタンダードシリーズによる抗原検索のみならず、成分分析に基づく成分パッチテストを施行し、より詳細な原因特定を行い、患者さんのみならず社会にアレルゲンの動向を追究することにより貢献している。			
医療技術名	先天性表皮水疱症の超微細形態学的病型診断	数	5
先天性表皮水疱症は、本邦で1,000人程度の患者数の稀な疾患である。生検皮膚を用いたモノクローナル抗体による蛋白発現の検索および電子顕微鏡による超微細形態観察による病型診断を行っている。			
医療技術名	インターベンションによる術後、産後の止血	取扱患者数	10
外科術後、産後等で腹腔ない、骨盤内出血があり、外科的な処置が困難である場合、血管造影にて出血部を同定し、カテーテル操作にて選択的に出血の責任血管の塞栓術を行っている。外科的手法より患者への侵襲性が低い。			
医療技術名	強度変調放射線治療	取扱患者数	60
放射線治療の一種で、放射線の照射中に、照射野内の放射線の強さに強弱をつけ、腫瘍に対して集中的に照射を行っている。以前は前立腺がん、頭頸部がんや脳腫瘍を主な対象としていたが、適応を広げ、婦人科癌や直腸癌などの骨盤部への照射、肺癌など、他の部位の治療にも用いている。			
医療技術名	加算的平均心電図(LP)	取扱患者数	166
心室細動、心室頻拍、発作性心房細動などの重症不整脈が出現する可能性を診断するために、心房、心室の遅延電位を計測する。			
医療技術名	超音波造影剤(ソナゾイド/レボビスト)を用いた超音波検査	取扱患者数	812
超音波造影剤(ソナゾイド/レボビスト)を用いた消化器系腫瘍の質的診断と腫瘍凝固療法等の治療後効果判定やびまん性肝疾患(肝炎・肝硬変)の進行度評価法の検討。			
医療技術名	超音波機器を用いてのマイクロ波(PMCT)、ラジオ波(RFA、RITA)での肝腫瘍治療	取扱患者数	13
超音波機器を用いてのマイクロ波(PMCT)、ラジオ波(RFA、RITA)での経皮的肝腫瘍の治療。			
医療技術名	睡眠障害に対する終夜睡眠ポリグラフ検査	取扱患者数	83
終夜約8時間の脳波を含むポリグラフ記録を行い、不眠、過眠などの睡眠障害および睡眠随伴性の診断を行う。			
医療技術名	術中脳脊髄機能モニタリングとしてABR,SSEP,MEPの誘発電位記録	取扱患者数	97
ABR,SSEP,MEPの誘発電位記録を脳脊髄手術中に行い術後の神経欠落症状の出現を防ぐ。			
医療技術名	経食道心臓超音波検査(テボテ中含む)	取扱患者数	422
先天性疾患、弁膜症、人工弁置換術后、左心耳内血栓など通常の経胸壁エコー検査では、詳細な情報が得られない場合、経食道的アプローチは有用となる。			
医療技術名	睡眠潜時反復測定法(MSLT)	取扱患者数	2
客観的な日中の過度の眠気測定、特にナルコレプシーの補助診断のため、脳波記録を2時間ごとに繰り返し行い、眠りにつくまでの時間とそれに伴う臨床症状を記録する。			
医療技術名	光トポグラフィー	取扱患者数	68
うつ症状における原因疾患の鑑別、脳神経外科術前における言語優位半球の同定、てんかん焦点の推定に有用。			

医療技術名	関節リウマチ及び膠原病に対する免疫抑制薬の適正使用	取扱患者数	700
種々の免疫抑制薬が、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎/皮膚筋炎、血管炎症候群などの膠原病に対して使用されているが、安全性を十分に考慮した適正使用を行った。			
医療技術名	関節リウマチ及び膠原病諸疾患に対する分子標的薬の適正使用	取扱患者数	500
TNF阻害薬などの生物学的製剤や、JAK阻害薬のような低分子化合物の分子標的薬が、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、血管炎症候群、ベーチェット病、成人発症Still病、強直性脊椎炎などの膠原病諸疾患に使用されているが、安全性を十分に考慮した適正使用を行った。			
医療技術名	EMMA/ALICE(子宮内細菌叢検査)	取扱患者数	15
当該医療技術の概要			
子宮内細菌叢検査 (EMMA/ALICE)は、採取された子宮内膜の検体からDNAを抽出した後に増幅し、次世代シーケンサー (new generation sequencer:NGS)を用い細菌の目印となる16SリボソームRNA遺伝子の遺伝子配列を同定する検査です。その結果、培養不可能な細菌も検出することが可能となり子宮内膜細菌叢を分析することができます。子宮内膜細菌叢を評価し子宮内膜細菌叢のバランスを整えることで着床不全を改善します。また、慢性子宮内膜炎の原因となるうる細菌を早期に検出し、診断されずに放置される子宮内膜炎発症のハイリスク患者を見つけ出し、検出された細菌に対し個別化された治療を提案します。			
医療技術名	ERA(子宮内膜着床能検査)	取扱患者数	21
当該医療技術の概要			
ERA(子宮内膜着床能検査／以下、ERA検査)は、受精卵(胚)の着床に対して、子宮内膜の受け入れ準備がもっとも整った時を選んで、胚移植することを目的とした検査です。子宮内膜が胚を受け入れる時期を「着床の窓」といいます。ERA検査は2013 年に初めて報告され、反復して着床・妊娠に至らない一部の不妊症患者では、「着床の窓」のずれが、着床不全の原因となることが示唆されました。ERA検査では、患者様の子宮内膜を採取し、236個の発現遺伝子を解析します。子宮内膜の着床能を遺伝子レベルで解析することで、患者様ひとりひとりの着床ウィンドウを特定することができます。患者様それぞれに微妙に違う着床ウィンドウを特定して胚移植することで、妊娠成功率は高くなります。とくに、良好胚や胚盤胞移植で妊娠不成功となった方の場合、ERA検査実施後の胚移植で妊娠するケースは多く、この検査の有効性は科学的に確かめられています。			
医療技術名	子宮内膜刺激胚移植法:Stimulation of Endometrium -Embryo Transfer; (SEET 法)	取扱患者数	63
体外受精-胚移植の着床不全の原因のひとつに受精卵と子宮内膜の反応不全があります。ある研究では着床準備のためには、受精卵からのシグナル(胚因子)が必要であり、それと同調し子宮内膜は着床環境を整えていると考えられています。胚盤胞移植単独ではそのシグナルを送るタイミングがないため着床不全の原因の1つになると言えます。そこで胚を培養した胚培養液を凍結しておき胚移植数日前に子宮に注入することにより、子宮内膜が刺激を受け、受精卵の着床に適した環境を作り出すのではないかと考えられています。			
医療技術名	子宮内膜スクラッチ	取扱患者数	1
子宮雨内膜スクラッチは胚移植をする前に人工的に子宮内膜を引っ掻き小さな傷をつける方法です。Amihai Barashらの研究で子宮内膜をサンプリングした後に体外受精で胚移植をおこなった場合通常より妊娠率が増加したと報告され注目されました。子宮内膜に小さな傷がつくことでそこを修復するため様々な成長因子など分泌され結果的に子宮内膜の着床に対する反応が促進し着床しやすくなるとされています。			
医療技術名	タイムラプス	取扱患者数	4
タイムラプスは、胚(受精卵)の成長をモニターするタイムラプス(低速度撮影)カメラを搭載した個別制御方式のインキュベータ(培養器)です。個別に制御された培養容器には、それぞれタイムラプスカメラが搭載され、培養器の扉の開閉を減らすことが可能です。これにより、胚を機器から外に取り出すことなく成長過程が観察できると同時に、ガス濃度や温度の変化等による培養環境の変化による胚への影響が制限されます。 従来の1日1回程度の定点での形態学的観察より、タイムラプスによる連続的観察の方が胚の評価がより正確であることが期待されます。胚をインキュベータから出さずに、タイムラプスによる評価から移植胚の選択を行うことにより、通常の観察による胚の選択に比べ妊娠率が向上するという報告もあり、タイムラプスによる胚の評価は、移植する胚の選定に有用である可能性が考えられます。			
医療技術名	マイクロ流体技術を用いた精子選別	取扱患者数	49
これまで受精後の胚質や胚発生、及び生児獲得には主に卵子に起因するとされてきましたが、近年精子の関与も報告されており、その要因の一つとして精子 DNA の損傷が注目されています。DNA 損傷の無い精子を選別し、その精子を使用することで胚質の改善に繋がる可能性が指摘されています。マイクロ流体技術を用いた精子選別であるZyMot スパームセパレーターは、精子に損傷を与えることが懸念される化学物質の使用や遠心分離を行わずに運動性の高い機能的な精子を抽出する方法です。 従来の遠心分離による精子選別法と異なり、精子に損傷を与えることが懸念される化学物質や遠心分離を行わずに運動性の高い機能的な精子の抽出することにより、顕微授精における胚発育や妊娠率・着床率・生産率の向上や流産率の低下が期待されます。			

医療技術名	子宮内細菌叢検査2	取扱患者数	12
子宮フローラ検査は、次世代シーケンサー (next generation sequencer: NGS)を用いて子宮内腔液に含まれる細菌の16SrRNA遺伝子を解析することにより、通常の細菌培養検査や子宮鏡検査、病理組織診断では解析困難な正確な子宮内細菌叢についてより詳細に把握をすることが可能となる検査です。この検査の結果に基づいた治療を行い、子宮内細菌叢のバランスを整えることで不妊治療における着床率や妊娠率、生児獲得率を改善させる可能性があります。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の数	100
扱い患者数の合計(人)	8043

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	10	62	下垂体前葉機能低下症	42
2	筋萎縮性側索硬化症	103	63	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
3	脊髄性筋萎縮症	6	64	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
4	原発性側索硬化症	5	65	アジソン病	2
5	進行性核上性麻痺	10	66	サルコイドーシス	41
6	パーキンソン病	143	67	特発性間質性肺炎	110
7	大脳皮質基底核変性症	5	68	肺動脈性肺高血圧症	34
8	ハンチントン病	1	69	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	22
9	シャルコー・マリー・トウス病	4	70	リンパ管筋腫症	2
10	重症筋無力症	69	71	網膜色素変性症	23
11	多発性硬化症／視神経脊髄炎	53	72	特発性門脈圧亢進症	3
12	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	9	73	原発性胆汁性胆管炎	37
13	封入体筋炎	1	74	原発性硬化性胆管炎	9
14	クドウ・深瀬症候群	1	75	自己免疫性肝炎	35
15	多系統萎縮症	11	76	クローン病	89
16	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	13	77	潰瘍性大腸炎	243
17	ライゾーム病	2	78	好酸球性消化管疾患	2
18	ミトコンドリア病	4	79	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
19	もやもや病	9	80	若年性特発性関節炎	4
20	進行性多巣性白質脳症	1	81	先天性ミオパチー	1
21	全身性アミロイドーシス	15	82	筋ジストロフィー	16
22	神経線維腫症	2	83	脊髄髄膜瘤	1
23	天疱瘡	5	84	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1
24	表皮水疱症	28	85	PCDH19関連症候群	1
25	膿疱性乾癬(汎発型)	4	86	先天性魚鱗癬	2
26	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	87	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	19
27	高安動脈炎	23	88	特発性後天性全身性無汗症	1
28	巨細胞性動脈炎	10	89	眼皮皮膚白皮症	1
29	結節性多発動脈炎	12	90	ウィルソン病	8
30	顕微鏡的多発血管炎	37	91	ウィリアムズ症候群	1
31	多発血管炎性肉芽腫症	16	92	ヌーナン症候群	1
32	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	34	93	修正大血管転位症	2
33	悪性関節リウマチ	11	94	完全大血管転位症	1
34	パージャー病	2	95	単心室症	2
35	原発性抗リン脂質抗体症候群	4	96	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1
36	全身性エリテマトーデス	300	97	ファロー四徴症	6
37	皮膚筋炎／多発性筋炎	113	98	両大血管右室起始症	3
38	全身性強皮症	88	99	アルポート症候群	3
39	混合性結合組織病	36	100	急速進行性糸球体腎炎	2
40	シェーグレン症候群	63	101	一次性ネフローゼ症候群	57
41	成人スチル病	29	102	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	3
42	再発性多発軟骨炎	3	103	紫斑病性腎炎	8
43	ベーチェット病	63	104	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1
44	特発性拡張型心筋症	21	105	脂肪萎縮症	1
45	肥大型心筋症	4	106	強直性脊椎炎	24
46	拘束型心筋症	1	107	骨形成不全症	1
47	再生不良性貧血	21	108	後天性赤芽球癆	2
48	自己免疫性溶血性貧血	3	109	エプスタイン症候群	3
49	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	110	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
50	特発性血小板減少性紫斑病	36	111	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	1
51	原発性免疫不全症候群	6	112	胆道閉鎖症	3
52	IgA腎症	35	113	IgG4関連疾患	25
53	多発性嚢胞腎	54	114	黄斑ジストロフィー	2
54	黄色靱帯骨化症	15	115	アッシャー症候群	1
55	後縦靱帯骨化症	49	116	遅発性内リンパ水腫	1
56	広範脊柱管狭窄症	3	117	好酸球性副鼻腔炎	102
57	特発性大腿骨頭壊死症	23	118	前眼部形成異常	1
58	下垂体性ADH分泌異常症	9	119	無虹彩症	1
59	下垂体性PRL分泌亢進症	2	120	特発性多中心性キャッスルマン病	8
60	クッシング病	1	121	ネフロン癆	2
61	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	5	122		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	121
合計患者数(人)	2,674

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・歯科外来診療環境体制加算2
・特定機能病院入院基本料(一般7対1、精神7対1)	・救急医療管理加算
・超急性期脳卒中加算	・診療録管理体制加算
・医師事務作業補助体制加算1(30対1)	・急性期看護時補助体制加算(25対1 5割以上)
・看護職員夜間配置加算(12対1 配置加算1)	・急性期看護補助体制充実加算
・療養環境加算	・重症者等療養環境特別加算
・無菌治療室管理加算1・2	・緩和ケア診療加算
・精神科身体合併症管理加算	・精神科リエゾンチーム加算
・摂食障害入院医療管理加算	・栄養サポートチーム加算
・医療安全対策加算1	・感染防止向上加算
・がん診療連携拠点病院加算	・患者サポート体制充実加算
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・ハイリスク分娩管理加算	・呼吸ケアチーム加算
・後発医薬品使用体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1・2
・データ提出加算2	・入退院支援加算
・認知症ケア加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・精神疾患診療体制加算	・精神科急性期医師配置加算2のイ
・地域医療体制確保加算	・救命救急入院料3・4
・特定集中治療室管理料2	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・総合周産期特定集中治療室管理料1・2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・小児入院医療管理料1	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・重症患者初期支援充実加算	・術後疼痛管理チーム加算
・医療DX推進体制整備加算	・歯科外来診療医療安全対策加算2
・歯科外来診療感染対策加算3	・バイオ後続品使用体制加算
・精神科入退院支援加算	・入院栄養管理体制加算
・小児緩和ケア診療加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・ウイルス疾患指導料
・外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準	・喘息治療管理料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・糖尿病合併症管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・がん患者指導管理料イロハニ
・外来緩和ケア管理料	・移植後患者指導管理料(臓器移植後)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・糖尿病透析予防指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・乳腺炎重症化予防ケア・指導料
・婦人科特定疾患治療管理料	・腎代替療法指導管理料
・地域連携小児夜間・休日診療料2	・地域連携夜間・休日診療料
・院内トリアージ実施料	・外来放射線照射診療料
・ニコチン依存症管理料	・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
・がん治療連携計画策定料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・ハイリスク妊産婦連携指導料1・2	・薬剤管理指導料
・医療機器安全管理料1・2	・医療機器安全管理料(歯科)
・精神科退院時共同指導料1及び2	・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2
・在宅血液透析指導管理料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・遺伝学的検査	・骨髄微小残存病変量測定
・BRCA1/2遺伝子検査	・がんゲノムプロファイリング検査
・先天性代謝異常症検査	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・検体検査管理加算(1)(4)
・国際標準検査管理加算	・遺伝カウンセリング加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・一般不妊治療管理料
・生殖補助医療管理料1・2	・外来腫瘍化学療法診療料1
・連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料)	・染色体検査の注2に規定する基準

・療養生活継続支援加算	・導入期加算3及び腎代替療法実績加算
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・下肢創傷処置管理料
・胎児心エコー法	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ヘッドアップティルト試験	・人工臓器検査、人工臓器療法
・長期継続頭蓋内脳波検査	・脳波検査判断料1
・光トポグラフィー	・終夜睡眠ポリグラフィー（安全精度管理下で行うもの）
・神経学的検査	・ロービジョン検査判断料
・黄斑局所網膜電図	・内服・点滴誘発試験
・小児食物アレルギー負荷検査	
・経気管支凍結生検法	・画像診断管理加算1・2
・ポジトロン断層撮影	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・CT撮影及びMRI撮影	・冠動脈CT撮影加算
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・外傷全身CT加算
・心臓MRI撮影加算	・乳房MRI撮影加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・外来化学療法加算1	・連携充実加算
・無菌製剤処理料	・心大血管疾患リハビリテーション料(1)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(1)	・運動器リハビリテーション料(1)
・呼吸器リハビリテーション料(1)	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下支援加算
・がん患者リハビリテーション料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・児童思春期精神科専門管理加算	・認知療法・認知行動療法1
・精神科ショート・ケア「大規模なもの」	・精神科デイ・ケア「大規模なもの」
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・医療保護入院等診療料
・硬膜外自家血注入	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・人工腎臓
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)	・CAD／CAM冠
・センチネルリンパ節加算	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・椎間板内酵素注入療法	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術

・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・角膜移植術(内皮移植加算)
・羊膜移植術	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術5型(拡大副鼻腔手術)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(乳がんセンチネルリンパ節加算1)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(センチネルリンパ節生検(併用))
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(乳がんセンチネルリンパ節加算2)	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(センチネルリンパ節生検(単独))
・内視鏡下筋層切開術	・経皮的僧帽弁クリップ術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・胸腔鏡下弁形成術	・経カテーテル大動脈弁置換術
・胸腔鏡下弁置換術	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・補助人工心臓	・経皮的下肢動脈形成術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・体外衝撃波胆石破碎術	・腹腔鏡下肝切除術
・体外衝撃波膵石破碎術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

・同種死体腎移植術	・生体腎移植術
・膀胱水压拡張術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下仙骨隆固定術	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・胎児輸血術
・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の16に規定する手術)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・腹腔鏡下仙骨隆固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・角結膜悪性腫瘍切除手術
・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術5型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・精巣内精子採取術	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・体外式膜型人工肺管理料	・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
・輸血管理料1	
・輸血適正使用加算	・自己生体組織接着剤作成術
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・同種クリオプレシピテート作製術
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・歯周組織再生誘導手術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・麻酔管理料(1)(2)	・放射線治療専任加算
・外来放射線治療加算	・高エネルギー放射線治療

・1回線量増加加算	・強度変調放射線治療 (IMRT)
・画像誘導放射線治療 (IGRT)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・定位放射線治療	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・病理診断管理加算2	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・口腔病理診断管理加算2	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・保険医療機関間の連携による病理診断	・デジタル病理画像による病理診断
・保険医療機関の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作成	・看護職員処遇改善評価料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・該当なし	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。	
	2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	臨床検査部:43回/年 血液腫瘍科カンファレンス 病理診断部:CPC10回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	11例
	剖検率(%)	2.48%

(注) 1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こと。

(注) 2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1. 研究費補助等の実績

No.	研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額 (単位:千円)	補助元又委託元
1	慢性炎症性肺疾患合併肺癌におけるmicrobiomeの機能解析	東 陽子	呼吸器外科	4,550	補助元: 令和3年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 委託元:
2	小型肺腺癌における血中循環腫瘍細胞の意義と個別化医療への応用	肥塚 智	呼吸器外科	4,680	補助元: 令和4年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 委託元:
3	肺大細胞神経内分泌癌の亜分類におけるがん微小環境の研究	坂井 貴志	呼吸器外科	4,580	補助元: 令和5年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 委託元:
4	循環腫瘍細胞を用いたEGFR遺伝子変異陽性肺癌におけるLINC0046の研究	磯部和順	呼吸器内科	910	補助元: 文部科学省 委託元:
5	肺線維症におけるmicroRNA機能に着目した分子標的治療法開発に向けた基盤研究	一色 琢磨	呼吸器内科	429	補助元: 文部科学省科学研究費補助金 委託元:
6	メタボローム解析を用いた特発性間質性肺炎急性増悪の病態解明	三好 嗣臣	呼吸器内科	2,340	補助元: 文部科学省科学研究費補助金 委託元:
7	下気道細菌叢が肺MAC症の治療効果に与える影響の検討	卜部 尚久	呼吸器内科	2,200	補助元: 文部科学省科学研究費補助金 委託元:
8	成果が実証された口腔トリアージ法を基盤とした周術期口腔管理支援AIアプリの開発	関谷秀樹	口腔外科	1,500	文部科学省 委託元:
9	嚥下ロボットとシュミレーションによる食品窒息のメカニズム解明と新規予防戦略	道脇幸博	口腔外科	2,000	文部科学省 委託元:
10	スーパーエンハンサーを標的とする遺伝子発現制御による口腔癌発癌機構の解明	兼古晃輔(篠塚啓二)	口腔外科	200	文部科学省 委託元:
11	分娩中の胎児ストレスの定量化による新規胎児管理法の確立及び臨床応用に向けた研究	伊藤歩	産婦人科	1,040	補助元: 日本学術振興会科学研究費助成事業 委託元:
12	羊水中ナトリウム利尿ペプチドを用いた一絨毛膜双胎における胎児心不全の病態解析	鷹野 真由実	産婦人科	1,200	補助元: 日本学術振興会科学研究費助成事業 委託元:
13	AIを用いた心臓CTイメージングによる冠動脈硬化の新たな定量的評価システムの構築	中西 理子	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	1,300	補助元: 令和4年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一委託元:
14	慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症における効果的な治療のための画像評価方法の開発	橋本 英伸	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	200	補助元: 令和2年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究) 委託元:
15	123I-BMIPPを用いた下肢閉塞性動脈硬化症における新たな診断法の構築	大久保 亮	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	900	補助元: 令和3年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究) 委託元:
16	がん治療関連心筋障害の早期検出における高分解能心電計を用いた新規心電学指標の同定	木下 利雄	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	500	補助元: 令和3年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究) 委託元:
17	心筋脂肪酸代謝シンチグラフィによる心房細動合併HFpEFの新たな予後予測法の開発	篠原 正哉	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	1,100	補助元: 令和3年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究) 委託元:
18	ABCG2阻害とインドキシル硫酸の蓄積からみた尿酸降下薬の心血管病予防効果の解明	小池 秀樹	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	900	補助元: 令和3年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究) 委託元:

(様式第3)

19	癌患者の深部静脈血栓症の発症・進展におけるACE2の関与の解明	久武 真二	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	1,500	補助元: 令和4年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一委託元):
20	冠微小循環と画像診断を駆使した冠動脈慢性完全閉塞の多角的評価と治療効果判定の解明	矢部 敬之	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	800	補助元: 令和4年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究)委託元:
21	HFpEF合併心房細動の予後改善における冠微小循環を指標とした治療戦略の確立	和田 遼	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	1,100	補助元: 令和4年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究)委託元:
22	安定狭心症における運動負荷カテーテル法を駆使した心筋虚血の層別化と治療の最適化	松本 新吾	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	0	補助元: 令和4年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究)委託元:
23	川崎病冠動脈瘤発症予防のための急性期治療難治例予測診断法開発に直結するエビデンス創出研究	高月 晋一	東邦大学医学部医学科小児科学講座	377	補助元: AMED事業(難治性疾患実用化研究事業)委託元:
24	先天性心疾患を伴う肺高血圧症例の多施設症例登録研究	高月 晋一	東邦大学医学部医学科小児科学講座	1,300	補助元: AMED事業(難治性疾患実用化研究事業)委託元:
25	小児から成人に移行する慢性心筋炎の診断基準策定のための実態調査	高月 晋一	東邦大学医学部医学科小児科学講座	130	補助元: AMED事業(難治性疾患実用化研究事業)委託元:
26	胆汁酸取込みを利用した白血病細胞の新規悪性度評価法の確立	羽賀 洋一	東邦大学医学部医学科小児科学講座	1,355	補助元: 令和2年度科学研究費助成事業(独立行政法人日本学術振興会)
27	難治性リンパ管疾患に対する光温熱治療の開発	高橋正貴	小児外科	4,290	補助元: 令和2年度科学研究費助成 事業(学術研究助成基金助成金)委託元:
28	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける若年者等に対する早期相談・支援サービスの導入及び検証のための研究	根本隆洋	精神神経医学講座	6,000	補助元: 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業 (研究課題番号:委託元:
29	AYA世代の精神疾患高リスク群における予防的睡眠マネジメントに関する研究	根本隆洋	精神神経医学講座	5,175	補助元: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)障害者対策総合研究開発事業委託元:
30	社会認知機能に関する新たな検査バッテリーの開発	根本隆洋	精神神経医学講座	1,300	補助元: 日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業委託元:
31	統合失調症の病前診断のマーカー開発: 世界初AMPA受容体PET研究	根本隆洋	精神神経医学講座	1,040	補助元: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(開拓)(研究課題番号:委託元:
32	精神病発症危険状態(ARMS)の回復と皮質-線条体-視床回路の変化に関する研究	片桐直之	精神神経医学講座	1,190	補助元: 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(研究課題番号: 70459759)委託元:
33	若年メンタルヘルス援助希求者の包括的臨床ステージと社会機能の評価	内野敬	社会実装精神医学講座	1,690	補助元: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 (研究課題番号: 21K15736)委託元:
34	小児腎移植者の自己管理行動向上に寄与するメンタルヘルス要因の検討と支援方法の構築	大岡美奈子	精神神経医学講座	2,470	補助元: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤(C)(研究課題番号:委託元:
35	皮下3次元情報を用いたインスリン・認知症ワクチン機序の解明	内野泰	東邦大学医療センター大森病院 糖尿病・代謝・内分泌センター	1,950千円(直接経費: 1,500千円、間接経費: 450千円)	補助元: 日本学術振興会(文科省科研費)委託元:
36	遺伝子治療時代のALS治験即応型レジストリ整備とサロゲートマーカーの探索	狩野 修	医学部(内科学講座神経内科学分野)	810	補助元: 委託元: 日本医療研究開発機構(AMED) 難治性疾患実用化研究事業
37	神経炎症に着目した認知症・神経変性疾患の分子病態解明と治療シーズ開発	狩野 修	医学部(内科学講座神経内科学分野)	9,100	補助元: 委託元: 日本医療研究開発機構(AMED) 脳とこころの研究推進プログラム
38	患者レジストリを活用した筋萎縮性側索硬化症治療薬開発のための第2相医師主導治験	狩野 修	東邦大学 医学部(内科学講座神経内科学分野)	2,640	補助元: 委託元: 日本医療研究開発機構(AMED) 臨床研究・治験推進研究事業

(様式第3)

39	経口セマグルチドのパーキンソン病に対する有効性検証および用量探索試験	狩野 修	東邦大学 医学部 (内科学講座神経内科学分野)	4,000	補助元: 委託元: 日本医療研究開発機構(AMED) 臨床研究・治験推進研究事業
40	拡散時間を用いた組織微細構造イメージング:筋萎縮性側索硬化症での検討	花城 里依	東邦大学 医学部 (内科学講座神経内科学分野)	300	補助元: 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(C) (研究課題番号: 21K07629) 委託元:
41	2種類の方位選択性網膜神経細胞の機能における差異の同定を目指して	狩野 修	東邦大学 医学部 (内科学講座神経内科学分野)	50	補助元: 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(C) (研究課題番号: 20K06900) 委託元:
42	ロボットスーツを用いたALS患者の歩行機能維持効果を最適化するプロトコルの確立	平山剛久	東邦大学 医学部 (内科学講座神経内科学分野)	2,340	補助元: 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(C) (研究課題番号: 23K10515) 委託元:
43	稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	石河 晃	皮膚科学講座	500	補助元: 厚生労働省科研費 委託元:
44	角質細胞を用いた乾癬の病勢バイオマーカーの確立	石河 晃	皮膚科学講座	600	補助元: 文部科学省・(独)日本学術振興会 委託元:
45	拡散時間を用いた組織微細構造イメージング:筋萎縮性側索硬化症での検討	神谷 昂平	放射線科	910千円 (直接経費: 700千円、間接経費: 210千円)	補助元: 令和3年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 委託元:
46	難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上に資する研究	分担: 南木敏宏	膠原病科	102	補助元: 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業) 委託元:
47	全身性エリテマトーデスの病態における腸内細菌叢の関与の解明。	代表: 南木敏宏	膠原病科	1,460	補助元: 科学研究費補助金(基盤研究C)。 委託元:
48	全身性エリテマトーデスの病態における腸内細菌叢の関与の解明。	分担: 西尾純子	膠原病科	100	補助元: 科学研究費補助金(基盤研究C)。 委託元:
49	新規に同定した破骨前駆細胞を標的としたステロイド性骨粗鬆症の病態解明。	分担: 南木敏宏	膠原病科	100	補助元: 科学研究費補助金(基盤研究C)。 委託元:
50	関節リウマチに合併する間質性肺炎の気道細菌叢による制御機構	代表: 西尾純子	膠原病科	1,200	補助元: 科学研究費補助金(基盤研究C)。 委託元:
51	関節リウマチに合併する間質性肺炎の気道細菌叢による制御機構	分担: 南木敏宏	膠原病科	100	補助元: 科学研究費補助金(基盤研究C)。 委託元:
52	RAに併発する間質性肺炎に関与する細胞老化機構の解明	代表: 渡邊萌理	膠原病科	2,210	補助元: 科学研究費補助金(若手研究) 委託元:
53	自己免疫疾患に関する調査研究	分担: 杉原毅彦	膠原病科	200	補助元: 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業) 委託元:
54	難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上に資する研究班	分担: 杉原毅彦	膠原病科	129	補助元: 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業 委託元:
55	「介護・福祉・在宅医療現場における関節リウマチ患者支援に関する研究」研究班	分担: 杉原毅彦	膠原病科	100	補助元: 厚生労働科学研究費補助金(免疫・アレルギー疾患政策研究事業) 委託元:
56	関節リウマチ診療ガイドラインの改訂による医療水準の向上に関する研究班	分担: 杉原毅彦	膠原病科	75	補助元: 厚生労働科学研究費補助金(免疫・アレルギー疾患政策研究事業) 委託元:
57	高齢発症関節リウマチ患者の健康寿命延伸を目指した治療戦略の確立	分担: 杉原毅彦	膠原病科	845	補助元: AMED免疫アレルギー疾患実用化研究事業 委託元:
58	高安動脈炎における血管合併症バイオマーカーの開発に向けたエビデンス創出研究	分担: 杉原毅彦	膠原病科	260	補助元: AMED難治性疾患実用化研究事業 委託元:

(様式第3)

59	—高齢発症RAの病因・病態・診断に関する研究	分担: 杉原毅彦	膠原病科	2,000	補助元: 日本リウマチ学会フロンティア研究者助成 委託元:
60	胆管上皮細胞傷害からはじまる原発性硬化性胆管炎の線維化機構の解明	代表: 本村香織	膠原病科	470	補助元: 科学研究費補助金(奨励研究)。 委託元:
61	ビスホスホネート製剤投与下のステロイド性骨粗鬆症に対する、ロモソズマブおよびデノスマブによる逐次療法の有効性の比較検討	代表: 川添麻衣	膠原病科	3,000	補助元: 臨床薬理研究振興財団 委託元:
62	新生児低酸素性虚血性脳症の早期重症度診断法の開発	増本健一	新生児科	500	補助元AMED 委託元:
63	乳児における母乳型脂質摂取の評価	増本健一	新生児科	2,000	補助元: 委託元: 糧食研究会

計63件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
1	Suzuki G†, Kanayama H†, Arai Y†, Iwanami Y†, Kobori T†, Masuyama Y†, Yamamoto S†, Serizawa H†, Nakamichi Y†, Watanabe M†, Honda M†, Okuni I†.	医学部 医学科 リハビリテーション医学講座、医学部 医学科 総合診療・救急医学講座（大森）	Early Mobilization Using a Mobile Patient Lift in the ICU: A Randomized Controlled Trial	Critical care medicine	20240206	Original Article
2	Kobayashi H, Kotake K, Kawasaki M, Kanemitsu Y, Kinugasa Y, Ueno H, Maeda K, Suto T, Itabashi M, Funahashi K†, Ozawa H, Koyama F, Noura S, Ishida H, Ohue M, Kiyomatsu K, Ishihara S, Koda K, Baba H, Kawada K, Hashiguchi Y, Goi T, Toiyama Y, Tomita N, Sunami E, Akagi Y, Watanabe J, Hakamada K, Nakayama G, Sugihara K, Ajioka Y	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）	A proposed new Japanese classification of synchronous peritoneal metastases from colorectal cancer: A multi-institutional, prospective, observational study conducted by the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum.	Annals of Gastroenterological Surgery	20230423	Original Article
3	Gohda Y, Uchida H, Hinoki A, Shirota C, Sumida W, Makita S, Okamoto M, Ogata S, Takimoto A, Takada S, Nakagawa Y, Kato D, Guo Y	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）	Laparoscopic internal intestinal drainage of bile lakes in a patient with recurrence of jaundice after laparoscopic revision of Kasai portoenterostomy for biliary atresia: A case report	Asian Journal of Endoscopic Surgery	20230400	Original Article
4	Kato D, Uchida H, Hinoki A, Sumida W, Shirota C, Makita S, Okamoto M†, Takimoto A, Takada S, Nakagawa Y	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）	IgG4-related disease of duodenal obstruction due to multiple ulcers in a 12-year-old girl.	BMC pediatrics	20230725	Original Article
5	Yamada Y, Mori T, Takahashi N, Fujimura T, Kano M, Kato M, Takahashi M†, Shimojima N, Watanabe T, Yoshioka T, Kanamori Y, Kuroda T, Fujino A	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）	Historical Cohort Study of Congenital Isolated Hypoganglionosis of the Intestine: Determining the Best Surgical Interventions.	Biomolecules	20231023	Original Article
6	Miyawaki Y, Tachimori H, Nakajima Y, Sato H, Fujiwara N, Kawada K, Miyata H, Sakuramoto S, Shimada H†, Watanabe M, Kakeji Y, Doki Y, Kitagawa Y	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）	Surgical outcomes of reconstruction using the gastric tube and free jejunum for cervical esophageal cancer: analysis using the National Clinical Database of Japan.	Esophagus	20230700	Original Article
7	Kobayashi S, Hiwasa T, Kitamura K, Kano M, Hoshino T, Hirano S, Hashimoto M, Seimiya M, Shimada H†, Nomura F, Matsubara H, Matsushita K	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）	Combinational antibody detection approach increases the clinical validity of colorectal cancer screening.	Journal of clinical laboratory analysis	20231114	Original Article
8	Takada S, Shirota C, Uchida H, Amano H, Hinoki A, Sumida W, Makita S, Okamoto M†, Takimoto A, Yasui A, Nakagawa Y, Kato D, Guo Y, Tainaka T	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）	Management of Congenital and Postoperative Chylothorax: Use of Thoracoscopic Lymphatic Leak Ligations with Intraoperative ICG Lymphangiography.	Journal of pediatric surgery	20230900	Original Article
9	Sumida W, Yasui A, Shirota C, Makita S, Okamoto M†, Ogata S, Takimoto A, Takada S, Nakagawa Y, Kato D, Gohda Y, Amano H, Guo Y, Hinoki A, Uchida H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）	Update on aortopexy and posterior tracheopexy for tracheomalacia in patients with esophageal atresia.	Surgery today	20240300	Original Article
10	Takimoto A, Amano H, Shirota C, Sumida W, Makita S, Okamoto M†, Ogata S, Takada S, Nakagawa Y, Kato D, Gohda Y, Hinoki A, Uchida H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）	Hemi-circumferential mucosal resection and anastomosis procedure for rectal prolapse following anorectoplasty for anorectal malformations.	Surgery today	20230500	Original Article
11	Guo Y, Hinoki A, Deie K, Tainaka T, Sumida W, Makita S, Okamoto M†, Takimoto A, Yasui A, Takada S, Nakagawa Y, Kato D, Maeda T, Amano H, Kawashima H, Uchida H, Shirota C	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）	Anastomotic time was associated with postoperative complications: a cumulative sum analysis of thoracoscopic repair of tracheoesophageal fistula in a single surgeon's experience.	Surgery today	20231200	Original Article
12	Maeda T†, Otsuka Y†, Okada R†, Ito Y†, Matsumoto Y†, Kimura K†, Ishii J†, Tsuchiya M†, Kaneko H†, Funahashi K†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）、医学部 医学科 外科学講座（佐倉）	Safety of laparoscopic liver resection for high-risk patients.	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences	20231200	Original Article
13	Kikuchi Y*, Yamaguchi K, Shimizu R, Matsumoto Y, Kurose Y, Okano N, Otsuka Y, Shibuya K, Matsuda T, Shimada H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）、医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）、医学部 医学科 臨床腫瘍学講座、医学部 医学科 病院病理学講座（大森）	Intrahepatic cholangiocarcinoma with FGFR2 fusion gene positive that responded to pemigatinib and caused hypophosphatemia.	International Cancer Conference Journal	20230703	Case report
14	Ushigome M†, Funahashi K†, Kaneko T†, Kagami S†, Yoshida K†, Miura Y†, Koda T†, Nagashima Y†, Kurihara A†, Terahara A†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）、医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Efficacy and safety of preoperative chemoradiotherapy with S-1 for advanced rectal cancer: a phase II study.	Reports of Practical Oncology and Radiotherapy	20230406	Original Article
15	Shiratori F†, Suzuki T†, Yajima S†, Oshima Y†, Nanami T†, Funahashi K†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）、医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Is High Score of Preoperative Lactate Dehydrogenase to Albumin Ratio Predicting Poor Survivals in Esophageal Carcinoma Patients?	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	20231020	Original Article
16	Kikuchi Y†, Shimada H*†, Hatanaka Y, Kinoshita I, Ikarashi D, Nakatsura T, Kitano S, Naito Y, Tanaka T, Yamashita K, Oshima Y†, Nanami T†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）、医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Clinical practice guidelines for molecular tumor markers, 2nd edition review part 1.	International journal of clinical oncology	20240100	Review
17	Nakada S†, Otsuka Y†, Ishii J†, Maeda T†, Kimura K†, Matsumoto Y†, Ito Y†, Shimada H†, Funahashi K†, Ohtsuka M, Kaneko H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）、医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	The Outcome of Conversion to Hand-Assisted Laparoscopic Surgery in Laparoscopic Liver Resection.	Journal of Clinical Medicine	20230721	Original Article
18	Kikuchi Y†, Shimada H*†, Yamasaki F, Yamashita T, Araki K, Horimoto K, Yajima S†, Yashiro M, Yokoi K, Cho H, Ehira T, Nakahara K, Yasuda H, Isobe K†, Hayashida T, Hatakeyama S, Akakura K, Aoki D, Nomura H, Tada Y, Yoshimatsu Y, Miyachi H, Takebayashi C†, Hanamura I, Takahashi H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）、医学部 医学科 臨床腫瘍学講座、医学部 医学科 小児科学講座（大森）、医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）、医学部 医学科 内科学講座 血液・腫瘍学分野（大森）	Clinical practice guidelines for molecular tumor marker, 2nd edition review part 2.	International journal of clinical oncology	20240317	Review
19	Kato S, Sakai T, Kusano M, Koezuka S, Otsuka H, Azuma Y, Kurose Y, Tochigi N, Iyoda A.	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科学分野（大森）	Resection of a Rapidly Growing Chest Wall Cyst: A Case Report.	General Thoracic Cardiovascure Surgery Cases.	20231116	Case report
20	Kusano M, Sakai T, Yoshizawa T, Koezuka S, Azuma Y, Kishi K, Iyoda A.	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科学分野（大森）	Resection of infected bulla associated with isolated unilateral absence of pulmonary artery: A case report.	General Thoracic Cardiovascure Surgery Cases.	20231120	Case report
21	Yuya Nobori, Masaki Anraku, Yoshikane Yamauchi, Mingyon Mun, Ichiro Yoshino, Jun Nakajima, Norihiko Ikeda, Haruhisa Matsuguma, Takekazu Iwata, Yasushi Shintani, Mitsuo Nakayama, Takahiko Oyama, Masayuki Chida, Hiroaki Kuroda, Hiroshi Hashimoto, Yoko Azuma†, Kazuhito Funai, Makoto Endoh, Yukari Uemura, Masafumi Kawamura	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科学分野（大森）	Risk-adjusted hazard analysis of survival after pulmonary metastasectomy for uterine malignancies in 319 cases	JTCVS Open	20230600	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
22	Iyoda A, Azuma Y, Sakai T, Kusano M, Koezuka S, Sano A.	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科学分野（大森）	Trials of airway-stent removal in patients with airway stenosis	Respiratory Endoscopy	20231129	Original Article
23	Yoko Azuma†, Susumu Sakamoto†, Sakae Homma†, Takashi Sakai†, Satoshi Koezuka†, Megumi Kamemura†, Naobumi Tochigi†, Akira Iyoda†	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科学分野（大森）, 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）, 医学部 医学科 病院病理学講座（大森）	Impact of partial pressure of arterial oxygen and radiologic findings on postoperative acute exacerbation of idiopathic interstitial pneumonia in patients with lung cancer.	Surgery Today	20230606	Original Article
24	◎Tanaka K†, Katayama Y（CO）†, Ozawa T†, Fujii T†	医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野（大森）	Untreated atrial septal defect after intracardiac repair for Tetralogy of Fallot	Asian Cardiovascular and Thoracic Annals	20231200	Case report
25	◎Katayama Y†, Isobe S†, Ozawa T†, Fujii T†	医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野（大森）	Three-dimensional printed heart model can determine univentricular repair strategy in borderline double-outlet right ventricle	Egyptian Pediatric Association Gazette	20231100	Case report
26	◎Takahashi T, Yoshino H, Shimokawa T, Ogino H, Kunihiro T, Akutsu K, Usui M, Yamasaki M, Watanabe K, Kawata M, Fujii T†, Masuhara H, Takagi T, Imazuru T, Yamamoto T, Nagao K, Kohsaka S, Takayama M	医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野（大森）	Sex differences in DeBakey type I/II acute aortic dissection outcomes The Tokyo acute aortic super-network	JACC:ADVANCES	20231100	Others
27	◎Mizuno T（CO）†, Goya M, Fujiwara T, Oishi K, Takeshita M, Yashima M, Nagaoka E, Oi K, Sasano T	医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野（大森）	Surgical extraction of cardiac implantable electronic device leads based on a heart team approach.	Journal of Cardiology	20230500	Original Article
28	◎Katayama Y†, Isobe S†, Ozawa T†, Fujii T†	医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野（大森）	Surgical repair of tetralogy of Fallot in a 78-year-old woman	Journal of Medical Case Reports	20240300	Case report
29	◎Isobe S†, Katayama Y（CO）†, Ozawa T†, Fujii T†	医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野（大森）	Intracardiac three-dimensional image as surgical decision-making tool of congenital heart disease	Pediatric Cardiology	20231128	Original Article
30	Yamasaki M, Yoshino H, Kunihiro T, Akutsu K, Shimokawa T, Ogino H, Kawata M, Takahashi T, Usui M, Watanabe K, Fujii T†, Yamamoto T, Nagao K, Takayama M	医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野（大森）	Outcomes of type A acute aortic dissection with cardiopulmonary arrest	Tokyo acute aortic super-network registry European journal of cardio-thorac surgery	20230400	Others
31	Tomohiko Saito, Takashi Suzuki, Chika Nakayama, Yukina Kato, Koji Kakisu, Takashi Itokawa, Yuichi Hori, Kiminori Ushida	医学部 医学科 眼科学講座（大森）	Measurement of Anions in Tear Fluid Using Ion Chromatography	Cornea	20230700	Original Article
32	Itokawa T, Yamasaki K, Suzuki T, Koh S	医学部 医学科 眼科学講座（大森）	Advances in Contact Lens Care Solutions: PVP-I Disinfectant and HAD Wetting Agents from Japan	Eye & contact lens	20231129	Original Article
33	Shiro Amano, Jun Shimazaki, Norihiko Yokoi, Yuichi Hori, Reiko Arita	医学部 医学科 眼科学講座（大森）	Meibomian Gland Dysfunction Clinical Practice Guidelines	Japanese Journal of Ophthalmology	20230700	Review
34	◎Akiko Hirata, Akiteru Hayashi, Shun Yamazaki, Hayato Hanada, Syogo Nakamura, and Akihiro Ogino	医学部 医学科 形成外科学講座（大森・大橋・佐倉）	Dynamic Reconstruction Using Bilateral Lengthening Temporalis Myoplasty for Facial Palsies in Patients with Hereditary Skin Laxity	Plastic and Reconstructive Surgery-Global Open	20240219	Original Article
35	Shiro Niiyama, Hidetsugu Fukuda, Akiko Hirata, Sayaka Takenaka, Takeshi Isoda	医学部 医学科 形成外科学講座（大森・大橋・佐倉）, 医学部 医学科 皮膚科学講座（大橋）	Recalcitrant multiple warts in GATA2 deficiency treated with systemic etretinate	THE JOURNAL OF DERMATOLOGY	20230829	Case report
36	Masashi Akiyama, Takuya Takeichi, Shigaku Ikeda, Akira Ishiko, Michiko Kurosawa, Hiroyuki Murota, Yutaka Shinomura, Tamio Suzuki, Katsuto Tamai, Akio Tanaka, Tadashi Terui, Masayuki Amagai	医学部 医学科 皮膚科学講座（大森）	Recent Advances in Clinical Research on Rare Intractable Hereditary Skin Diseases in Japan.	The Keio Journal of Medicine	202306	Original Article
37	Kenji Yoshida, Anri Imai, Takayuki Kurita, Ken Ishii, Akira Ishiko	医学部 医学科 皮膚科学講座（大森）	A case of bullous pemphigoid complicated by mucosal lesions due to mucosal-dominant pemphigus vulgaris: analyzing the pathogenicity of anti-desmoglein 3 antibodies using a bead aggregation assay.	International Journal of Dermatology.	202405	Original Article
38	Ken Ishii, Norito Ishii, Akira Ishiko, Takashi Hashimoto	医学部 医学科 皮膚科学講座（大森）	Pemphigus Autoantibodies to Desmocollin 3 but Not to Desmocollin 1 Directly Block Heterophilic Desmoglein/Desmocollin Transinteraction.	J Invest Dermatol.	202406	Original Article
39	Ken Takahashi, Osamu Samura, Akihiro Hasegawa, Haruna Okubo, Keiji Morimoto, Madoka Horiya, Aikou Okamoto, Daigo Ochiai, Mamoru Tanaka, Masaki Sekiguchi, Naoyuki Miyasaka, Yuto Suzuki, Tsutomu Tabata, Eihiro Hayata†, Masahiko Nakata†, Tomoo Suzuki, Hirofuka Nishi, Yumi Toda, Shinji Tanigaki, Natsumi Furuya, Junichi Hasegawa, Shunsuke Tamaru, Yoshimasa Kamei, Seisuke Sayama, Takeshi Nagamatsu, Yuka Otera Takahashi, Michihiro Kitagawa, Tatsuya Arakaki & Akihiko Sekizawa	医学部 医学科 産科婦人科学講座（大森）	COVID-19 mRNA vaccination status and concerns among pregnant women in Japan: a multicenter questionnaire survey	BMC pregnancy and childbirth	20230509	Original Article
40	Hiroharu Kobayashi, Aimi Oda, Yoshihiko Matsuzaki, Yuki Kondo, Yuri Hamada, Masaru Nagashima, Misa Kobayashi, Yoshihiko Takaki, Hiroshi Adachi	医学部 医学科 産科婦人科学講座（大森）	Ureter Injury in Total Laparoscopic Hysterectomy	Case Reports in Obstetrics and Gynecology	20230818	Case report
41	Hiroharu Kobayashi, Misa Kobayashi, Yoshihiko Takaki, Yuri Hamada, Haruhiko Shimizu, Yumi Shimizu, Masaru Nagashima, Hiroshi Adachi	医学部 医学科 産科婦人科学講座（大森）	Ureter Injury in Laparoscopic Para-Aortic Lymphadenectomy for Endometrial Cancer by the Transperitoneal Approach	Case Reports in Obstetrics and Gynecology	20230919	Case report
42	Eihiro Hayata†, Shunji Suzuki, Shin-ichi Hoshi, Akihiko Sekizawa, Yoko Sagara, Isamu Ishiwata, Tadaichi Kitamura	医学部 医学科 産科婦人科学講座（大森）	Trends in Syphilis in Pregnant Women in Japan in 2016 and 2022	Cureus	20240316	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
43	Mami Sekiguchi, Ayumu Ito, Yusuke Fukuda, Masato Yoneyama, Mayuko Furui, Kentaro Nakaoka, Nahomi Umemura, Yuko Hayashi, Yuko Tamaki, Yukiko Katagiri, Masahiko Nakata	医学部 医学科 産科婦人科学講座（大森）	Optimal timing to retrieve oocytes for fertility preservation in patients with acute myeloid leukemia: two cases of controlled ovarian stimulation using DuoStim with a literature review	Gynecological Endocrinology	20230604	Case report
44	Tanaka H, Hasegawa J, Katsuragi S, Tanaka K, Arakaki T, Nakamura M, Hayata E†, Nakata M†, Sekizawa A, Ishiwata I, Ikeda T	医学部 医学科 産科婦人科学講座（大森）	Are There Maternal Deaths Related to Hemorrhagic Stroke Due to Hypertensive Disorder of Pregnancy That Could Be Potentially Preventable by Tight Hypertension Management in Antepartum? A Retrospective Study from the Maternal Death Exploratory Committee in Japan	Journal of Clinical Medicine	20230417	Original Article
45	Ayumu Ito, Yukiko Katagiri, Satoko Oigawa, Kenji Amano, Koichiro Ichizawa, Yukiko Tokuda, Mami Unagami, Masato Yoneyama, Takahiro Tsuchiya, Mami Sekiguchi, Mayuko Furui, Kentaro Nakaoka, Nahomi Umemura, Yuko Hayashi, Yuko Tamaki, Koichi Nagao and Masahiko Nakata	医学部 医学科 産科婦人科学講座（大森）	Effect of blastocyst shrinkage on assisted reproductive outcomes: a retrospective cohort study describing a new morphological evaluation of blastocyst pre-vitrification and post-warming.	Journal of Ovarian Research	20230914	Original Article
46	Kenji Amano, Satoko Oigawa, Koichiro Ichizawa, Yukiko Tokuda, Mami Unagami, Mami Sekiguchi, Mayuko Furui, Kentaro Nakaoka, Ayumu Ito, Rika Hayashi, Yuko Tamaki, Yuko Hayashi, Yusuke Fukuda, Yukiko Katagiri, Masahiko Nakata, Koichi Nagao	医学部 医学科 産科婦人科学講座（大森）	Swim-up method is superior to density gradient centrifugation for preserving sperm DNA integrity during sperm processing	Reproductive Medicine and Biology	20240129	Original Article
47	Katagiri Y, Jwa SC, Kuwahara A, Iwasa T, Ono M, Kato K, Kishi H, Kuwabara Y, Harada M, Hamatani T, Osuga Y	医学部 医学科 産科婦人科学講座（大森）	Assisted reproductive technology in Japan: A summary report for 2020 by the ethics Committee of the Japan Society of obstetrics and gynecology	Reproductive Medicine and Biology	20240104	Original Article
48	Tanaka H, Hasegawa J, Katsuragi S, Tanaka K, Arakaki T, Nakamura M, Hayata E†, Nakata M†, Murakoshi T, Sekizawa A, Ishiwata I, Ikeda T	医学部 医学科 産科婦人科学講座（大森）	High maternal mortality rate associated with advanced maternal age in Japan	Scientific Reports	20230809	Original Article
49	Yuko Tamaki, Yukiko Katagiri, Yusuke Fukuda, Hideyuki Kobayashi, Koichi Nagao, Masahiko Nakata	医学部 医学科 産科婦人科学講座（大森）	Effects of the Y chromosome azoospermia factor partial deletion (gr/gr) intracytoplasmic sperm injection outcomes	Toho Journal of Medicine	20230601	Original Article
50	Kajiwara R, Yamamoto K, Ohira S, Wada K.	医学部 医学科 耳鼻咽喉科学講座（大森）	Bilateral Nontuberculous Mycobacterial Otitis Media: A Case Report.	The Journal of International Advanced Otolology	20240100	Case report
51	Yutaka Saito, Taku Sakamoto, Evelien Dekker, Mathieu Pioche, Andreas Probst, Thierry Ponchon, Helmut Messmann, Mario Dinis-Ribeiro, Takahisa Matsuda, Hiroaki Ikematsu, Shoichi Saito, Yoshiki Wada, Shiro Oka, Yasushi Sano, Mitsuhiro Fujishiro, Yoshitaka Murakami, Hideki Ishikawa, Haruhiro Inoue, Shinji Tanaka, Hisao Tajiri, on behalf of the IEE-JNET Group	医学部 医学科 社会医学講座／医療統計学、医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	First report from the International Evaluation of Endoscopic classification Japan NBI Expert Team: International multicenter web trial.	Digestive Endoscopy	20230913	Original Article
52	Miyamoto T, Izawa K, Masui S, Yamazaki A, Yamasaki Y, Matsubayashi T, Shiraki M, Ohnishi H, Yasumura J, Tomohiro K, Miyamae T, Matsubara T, Arakawa N, Ishige T, Takizawa T, Shimbo A, Shimizu M, Kimura M, Maeda Y, Maruyama Y, Shigemura T, Furuta J, Sato S, Tanaka H, Izumikawa M, Yamamura M, Hasegawa T, Kaneko H, Nakagishi Y, Nakano N, Iida Y, Nakamura T, Wakiguchi H, Hoshina T, Kawai T, Murakami K, Akizuki S, Morinobu A, Ohmura K, Eguchi K, Sonoda M, Ishimura M, Furuno K, Kashiwado M, Mori M, Kawahata K, Hayama K, Shimoyama K, Sasaki N, Ito T, Umebayashi H, Omori T, Nakamichi S, Doimoto T, Hasegawa Y, Kawashima H, Watanabe S, Taguchi Y, Nakaseko H, Iwata N, Kohno H, Ando T, Ito Y, Kataoka Y, Saeki T, Kaneko U, Murase A, Hattori S, Nozawa T, Nishimura K, Nakano R, Watanabe M, Yashiro M, Nakamura T, Komai T, Kato K, Honda Y, Hiejima E, Yonezawa A, Bessho K, Okada S, Ohara O, Takita J, Yasumi T, Nishikomori R: Japan CAPS working group.	医学部 医学科 小児科学講座（大森）	Clinical characteristics of cryopyrin-associated periodic syndrome and long-term real-world efficacy and tolerability of canakinumab in Japan: results of a nationwide survey.	Arthritis Rheumatology	20240125	Original Article
53	Mayumi Hosokawa, Yosuke Ichihashi, Yasunori Sato, Nao Shibata, Keisuke Nagasaki, Kento Ikegawa, Yukihiro Hasegawa, Takashi Hamajima, Fusa Nagamatsu, Shigeru Suzuki, Chikahiko Numakura, Naoko Amano, Goro Sasaki, Keiko Nagahara, Shun Sonoda, Daisuke Ariyasu, Miwako Maeda, Hotaka Kamasaki, Keiko Aso†, Tomonobu Hasegawa, Tomohiro Ishii	医学部 医学科 小児科学講座（大森）	Incidence and Risk Factors for Adrenal Crisis in Pediatric-onset Adrenal Insufficiency: A Prospective Study	The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism	20231221	Original Article
54	Takeaki Takeuchi, Kazuaki Hashimoto, Kazushige Ihara, Shuichi Obuchi, Hirohiko Hirano, Yoshinori Fujiwara, Hisashi Kawai, Motonaga Kojima, Masahiro Hashizume	医学部 医学科 心身医学講座（大森）	Characteristics of blood biomarkers and eating behavior among older community-dwelling adults with typical and atypical depression	Clinical Nutrition Open Science	20230500	Original Article
55	Kazuaki Hashimoto†, Takeaki Takeuchi†, Kazushige Ihara, Shuichi Obuchi, Hisashi Kawai, Hirohiko Hirano, Yoshinori Fujiwara, Kim Hunkyung, Yutaka Watanabe, Masahiro Hashizume†	医学部 医学科 心身医学講座（大森）	Association Between Ego-Resilience and Social Isolation Among Urban Older People	Gerontology and Geriatric Medicine	20240313	Original Article
56	Yoko Tanemoto, Ui Yamada, Masaaki Nakayama, Takeaki Takeuchi, Fumiaki Tanemoto, Yugo Ito, Daiki Kobayashi, Daisuke Ohta, Masahiro Hashizume	医学部 医学科 心身医学講座（大森）	Association of illness perception and alexithymia with fatigue in hemodialysis recipients: A single-center, cross-sectional study	Scientific report	20231200	Original Article
57	Aoki Y*†, Kawamura T†, Shiraga N, Yonekura T†, Maeda M†, Kurihara S, Sekine Y, Shishido S†, Sakai S†	医学部 医学科 腎臓学講座（大森）	Arteriovenous fistula in a renal allograft with gross hematuria and subsequent acute kidney injury due to urinary tract obstruction: a case report	BMC nephrology	20230605	Case report
58	Ravichandran R, Itabashi Y, Zhou F, Lin Y, Mohanakumar T, Chapman WC.	医学部 医学科 腎臓学講座（大森）	Circulating exosomes from brain death and cardiac death donors have distinct molecular and immunologic properties: A pilot study	Clinical transplantation	20230710	Original Article
59	Sumi Nair, Ranjithkumar Ravichandran, Raymond Heilman, Andrés Jaramillo, Matthew Buras, Bruce Kaplan, Yoshihiro Itabashi, Daniel Ramon, Katrin Hacke, Byron Smith, Thalachallour Mohanakumar	医学部 医学科 腎臓学講座（大森）	Study of association between antibodies to non-HLA kidney self-antigens and progression to chronic immune injury after kidney transplantation	Human immunology	20230726	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
60	Kounoue N, Oguchi H, Mikami T, Yamaguchi Y, Hashiguchi A, Nagai H, Watanabe K, Furukawa S, Hisamatsu K, Sakai K	医学部 医学科 腎臓学講座（大森）	Hepatitis B Virus-related Membranous Nephropathy with Crescentic Formation in an Inactive Carrier of Positive Hepatitis B Surface Antigen with Undetectable DNA under Anti-viral Treatment: A Case Report.	Intern Med	20230524	Case report
61	Shirai Y, Miura K, Ishizuka K, Ando T, Kanda S, Hashimoto J†, Hamasaki Y†, Hotta K, Ito N, Honda K, Tanabe K, Takano T, Hattori M	医学部 医学科 腎臓学講座（大森）	A multi-institutional study found a possible role of anti-nephrin antibodies in post-transplant focal segmental glomerulosclerosis recurrence	Kidney international	20231216	Original Article
62	Yuki Suto, Hideyo Oguchi, Naobumi Tochigi, Tetuo Mikami, Kazunobu Shinoda, Kazuho Honda, Noriyuki Kounoue, Junya Hashimoto, Masaki Muramatsu, Yoshihiro Itabashi, Ken Sakai	医学部 医学科 腎臓学講座（大森）	Mesangiolyis in Pathological Chronic Active Antibody-mediated Rejection in Kidney Transplant Biopsies	Nephron	20230615	Original Article
63	Nishikawa K, Oguchi H, Hashimoto J, Mikami T, Muramatsu M, Yamaguchi Y, Shishido S, Aoki Y, Itabashi Y, Hamasaki Y, Ohashi Y, Sakai K	医学部 医学科 腎臓学講座（大森）	Vesicoureteral Reflux Causes Interstitial Inflammation in Pediatric Kidney Allograft: A Clinicopathological Analysis of 1-Year Protocol Biopsies.	Nephron	20230507	Original Article
64	Azegami T, Kounoue N, Sofue T, Yazawa M, Tsujita M, Masutani K, Kataoka Y, Oguchi H	医学部 医学科 腎臓学講座（大森）	Efficacy of pre-emptive kidney transplantation for adults with end-stage kidney disease: a systematic review and meta-analysis.	Ren Fail	20231200	Original Article
65	Yoshihiro Itabashi*, Hideyo Oguchi*, Tetuo Mikami, Noriyuki Kounoue, Taichi Arai, Kazunobu Shinodaa, Masaki Muramatsu, Seiichiro Shishido, Ken Sakai	医学部 医学科 腎臓学講座（大森）	Prognostic value of the 7-Year protocol biopsy of adult kidney allografts: Impact of mesangiosclerosis and proteinuria	Renal failure	20230411	Original Article
66	Yoshihiro Itabashi *1 Takeshi Kawamura *1 Masaki Muramatsu *1 Takashi Yonekura *1 Yujiro Aoki *1 Maho Maeda *1 Kei Sakurabayashi *1 Kenta Nishikawa *1 Yuko Hamasaki *1 Ken Sakai *1	医学部 医学科 腎臓学講座（大森）	Acute kidney allograft dysfunction caused by subcapsular hematoma that developed late-onset after kidney allograft biopsy: a case report	腎移植・血管外科	20240331	Case report
67	Nakamura T†, Takamatsu R†, Aoki H†, Takahashi H†	医学部 医学科 整形外科科学講座（大森）	Does selective posterior tibial slope technique in cruciate-retaining total knee arthroplasty result in the elimination of posterior cruciate ligament management?	Arthroplasty Today	20240200	Original Article
68	Wada A†, Nakamura K†, Hasegawa K†, Fukutake K†, Takahashi H†	医学部 医学科 整形外科科学講座（大森）	Adult congenital lumbar kyphosis requiring anteroposterior correction and fusion: A case report with 32-year follow-up	Open journal of Orthopedics	20230922	Case report
69	Tsuji K†, Kimura S, Tateda K†, Takahashi H†	医学部 医学科 整形外科科学講座（大森）、医学部 医学科 微生物・感染症学講座	Protective effect of teriparatide against vancomycin-induced cytotoxicity in osteoblasts	Journal of Orthopaedic Science	20231100	Original Article
70	Tsuchiya Y†, Seki T†, Kobayashi K, Komazawa-Sakon S†, Shiohino S, Nishina T†, Fukuhara K, Ikejima K, Nagai H†, Igarashi Y†, Ueha S, Oikawa A, Tsurusaki S, Yamazaki S, Nishiyama C, Mikami T†, Yagita H, Okumura K, Kido T, Miyajima A, Matsushima K, Imasaka M, Araki K, Imamura T, Ohmura Y M, Tanaka M, Nakano H*†.	医学部 医学科 生化学講座／生化学分野、医学部 医学科 生化学講座／病態生化学分野、医学部 医学科 病理学講座、医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Fibroblast growth factor 18 stimulates the proliferation of hepatic stellate cells, thereby inducing liver fibrosis	Nature Communications	20231009	Original Article
71	Junichi Saito†, Naoyuki Katagiri†, Hiromi Tagata†, Yu Arai†, Kouhei, Kamiya†, Masaaki Hori†, Masafumi Mizuno†, Takahiro Nemoto†*	医学部 医学科 精神神経医学講座（大森・大橋）、医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Associations between verbal fluency and asymmetry of white matter integrity in the superior longitudinal fasciculus in at-risk mental states for psychosis	Journal of Personalized Medicine	20240221	Original Article
72	Uchino T†, Fukui E†, Takubo Y†, Iwai M†, Katagiri N†, Tsujino N†, Imamura H†, Fujii C†, Tanaka K, Shimizu T, Nemoto T*†	医学部 医学科 精神神経医学講座（大森・大橋）、医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Perceptions and attitudes of users and non-users of mental health services concerning mental illness and services in Japan.	Frontiers in Psychiatry	20230714	Original Article
73	Uchino T†, Okubo R, Takubo Y†, Aoki A†, Wada I†, Hashimoto N, Ikezawa S, Nemoto T*†	医学部 医学科 精神神経医学講座（大森・大橋）、医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Mediation Effects of Social Cognition on the Relationship between Neurocognition and Social Functioning in Major Depressive Disorder and Schizophrenia Spectrum Disorders.	Journal of Personalized Medicine	20230419	Original Article
74	Nemoto T†*	医学部 医学科 精神神経医学講座（大森・大橋）、医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Cognitive Impairments and Rehabilitation in Individuals with at-Risk Mental State for Psychosis	Journal of Personalized Medicine	20230613	Review
75	Tago M, Hirata R, Takahashi H, Yamashita S, Nogi M, Shikino K, Sasaki Y†, Watari T, Shimizu T	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座（大森）	How Do We Establish the Utility and Evidence of General Medicine in Japan?	Dovepress	20240222	Original Article
76	Tago M, Hirata R, Shikino K, Watari T, Sasaki Y†, Takahashi H, Shimizu T	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座（大森）	The Milestones of Clinical Research for Young Generalist Physicians: Conducting and Publishing Studies	International Journal of General Medicine	20230612	Others
77	Sasaki Y†, Suzuki T†, Maeda T†, Komatsu F†, Shigeta T†, Sato T†, Kashiwagi K†, Mori T†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座（大森）	Tetanus initially diagnosed as cervical spinal cord injury due to jaw contusion	Jornal of Hospital General Medicine	20230731	Case report
78	Shikino K, Tago M, Watari T, Sasaki Y†, Takahashi H, Shimizu T	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座（大森）	Educational strategies related to information science and technology for medical students: General medicine physicians' perspective	Journal of General and Family Medicine	20231029	Others
79	Sasaki Y†, Maeda M†, Komatsu F†, Shigeta T†, Kashima N†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座（大森）	Comparison of the prevalence of chronic kidneydisease in patients at a university hospital general medicine department and in a community population	Journal of Hospital General Medicine	20240131	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
80	Shigeta T†, Sasaki Y†, Maeda T†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座（大森）	Ball valve syndrome	Journal of Hospital General Medicine	20230700	Case report
81	Sasaki Y†, Sato T†, Maeda M†, Komatsu F†, Kawagoe N†, Imai T, Shigeta T†, Kashima N†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座（大森）	Evaluation of the One-Hour 13C-Propionate Breath Test in 49 Patients from a Single Center in Japan to Detect Vitamin B12 Deficiency	Medical Science Monitor	20230508	Original Article
82	Yamashita S, Tago M, Tokushima Y, Harada Y, Suzuki Y, Aizawa Y, Miyagami T, Sano F, Sasaki Y T, Komatsu F†, Shimizu T, Naito T, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座（大森）	Evaluation of a Previously Developed Predictive Model for Infective Endocarditis in 320 Patients Presenting with Fever at 4 Centers in Japan Between January 2018 and December 2020	Medical Science Monitor	20230403	Original Article
83	Tago M, Hirata R, Katsuki N, Otsuka Y, Shimizu T, Sasaki Y†, Shikino K, Watari T, Takahashi H, Une K, Naito T, Otsuka F, Thompson R, Tazuma S	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座（大森）	Contributions of Japanese Hospitalists During the COVID-19 Pandemic and the Need for Infectious Disease Crisis Management Education for Hospitalists: An Online Cross-Sectional Study	Risk Manag Healthc Policy	20230821	Original Article
84	Mitome H, Takenishi M, Ono K, kawagoe N†, Imai T, Sasaki Y†, Urita Y†, Akira K	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座（大森）, 医学部 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野（大橋）	Preparation of [1’-13C]citric acid as a probe in a breath test to evaluate tricarboxylic acid cycle flux	Journal of Labelled Compounds and Radiopharmaceuticals	20240103	Original Article
85	Sasaki Y†, Kawagoe N†, Imai T, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座（大森）, 医学部 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野（大橋）	Effects of ethanol and sex on propionate metabolism evaluated via a faster 13C-propionate breath test in rats	World Journal of Gastroenterology	20230607	Original Article
86	Nakamichi Y*†, Ichibayashi R†, Watanabe M†, Suzuki G, Serizawa H†, Yamamoto S†, Masuyama Y†, Honda M†	医学部 医学科 内科学講座 救急医学分野（佐倉）, 医学部 医学科 総合診療・救急医学講座（大森）	Improved Neurological Outcome of Perampanel for Hypoxic-Ischemic Encephalopathy in Patients After Out-of-Hospital Cardiac Arrest Resuscitation.	Cureus Journal of Medical Science	20231231	Original Article
87	Tamiya S†, Ichibayashi R*†, Takahashi S†, Hanada H†, Nakano S†	医学部 医学科 内科学講座 救急医学分野（佐倉）, 医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（佐倉）, 医学部 医学科 整形外科講座（佐倉）, 医学部 医学科 腎臓学講座（佐倉）, 医学部 医学科 形成外科学講座（大森・大橋・佐倉）	Comorbidity Between Crowned Dens Syndrome and Primary Hyperparathyroidism.	Cureus Journal of Medical Science	20230622	Case report
88	Sugawara S*, Tanaka K, Imamura F, Yamamoto N, Nishio M, Okishio K, Hirashima T, Tanaka H, Fukuhara T, Nakahara Y, Kurata H, Katakami N, Okada M, Horinouchi H, Udagawa H, Kasahara K, Satouchi M, Saka H, Tokito T, Hosomi Y, Aoe K, Kishi K†, Ohashi K, Yokoyama T, Adachi N, Noguchi K, Schwarzenberger P, Kato T	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）	Pembrolizumab plus chemotherapy in Japanese patients with metastatic squamous non-small-cell lung cancer in KEYNOTE-407	Cancer Science	20230402	Original Article
89	Oguma T, Ishiguro T, Kamei K, Tanaka J, Suzuki J, Hebisawa A, Obase Y, Mukae H, Tanosaki T, Furusho S, Kurokawa K, Watai K, Matsuse H, Harada N, Nakamura A, Shibayama T, Baba R, Fukunaga K, Matsumoto H, Ohba H, Sakamoto S†, Suzuki S, Tanaka S, Yamada T, Yamasaki A, Fukutomi Y, Shiraishi Y, Toyotome T, Fukunaga K, Shimoda T, Konno S, Taniguchi M, Tomomatsu K, Okada N, Asano K, Japan ABPM Research Program	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）	Clinical characteristics of allergic bronchopulmonary mycosis caused by Schizophyllum commune	Clin Transl Allergy	20240101	Original Article
90	Nakamichi S, Kubota K, Misumi T, Kondo T, Murakami S, Shiraishi Y, Imai H, Harada D, Isobe K†, Itani H, Takata S, Wakui H, Misumi Y, Ikeda S, Asao T, Furuya N, Hosokawa S, Kobayashi Y, Takiguchi Y, Okamoto H	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）	PHASE II STUDY OF DURVALUMAB IMMEDIATELY AFTER COMPLETION OF CHEMORADIO THERAPY IN UNRESECTABLE STAGE III NON-SMALL-CELL LUNG CANCER: TORGI937 (DATE STUDY)	Clinical Cancer Research	20240100	Original Article
91	Isobe K*†, Nakamura Y†, Sakamoto S†, Tomii K, Takimoto T, Miyazaki Y, Matsumoto M, Sugino K, Ichikado K, Moriguchi S, Yamaguchi K, Baba T, Ozasa H, Igata F, Anabuki K, Homma S†, Date H, Suda T, Kishi K†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）	IMMUNE CHECKPOINT INHIBITORS IN PATIENTS WITH LUNG CANCER HAVING CHRONIC INTERSTITIAL PNEUMONIA	European Respiratory Journal Open Research	20240300	Original Article
92	Sekiguchi R*†, Takeda K, Suzuki J, Enomoto U, Kitani M, Narumoto O, Tashimo H, Yamane A, Nagai H, Watanabe A, Kamei K, Matsui H	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）	Chronic Pulmonary Aspergillosis Caused by Aspergillus tubingensis Diagnosed by a Bronchoscopic Biopsy	Internal Medicine	20230531	Case report
93	Nakano Y, Isobe K*†, Yoshizawa T†, Urabe N†, Homma S†, Kishi K†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）	Upregulation of long non-coding RNA LINC00460 in EGFR-mutant lung cancer indicates a poor prognosis in patients treated with osimertinib	Oncology letters	20230630	Original Article
94	Omori M, Minegishi Y*, Uruga H, Fukuizumi A, Isobe K†, Izumi S, Koyama R, Bando M, Sugiyama H, Takahashi K, Genma A, Homma S†, Sugiyama Y, Kishi K†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）	Carboplatin and weekly paclitaxel in combination with bevacizumab for the treatment of advanced non-small cell lung cancer complicated by idiopathic interstitial pneumonias: A feasibility study	Respiratory Investigation	20230711	Original Article
95	Sakamoto S*†, Masuoka M†, Usui Y†, Shimizu H†, Sekiya M†, Miyoshi S†, Nakamura Y†, Urabe N†, Isshiki T†, Isobe K†, Takai Y†, Uekusa T†, Kurosaki A†, Homma S†, Kishi K†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）	ATS/JRS/ALAT Hypersensitivity Pneumonitis Guidelines for Diagnosis of humidifier lung and summer-type hypersensitivity pneumonitis	Respiratory Investigation	20230629	Original Article
96	Nishioka Y, Homma S†, Ogura T, Sato S, Arai N, Tomii K, Kamio K, Sakamoto S†, Miyazaki Y, Tomioka H, Hisata S, Handa T, Azuma A	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）	Exploratory phase 2 study of the novel oral multi-kinase inhibitor TAS-115 in patients with idiopathic pulmonary fibrosis	Respiratory Investigation	20230400	Original Article
97	Sakamoto S*†, Suzuki A, Homma S†, Usui Y†, Shimizu H†, Sekiya M†, Miyoshi S†, Nakamura Y†, Urabe N†, Isshiki T†, Kurosaki A, Kishi K†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）	Outcomes and prognosis of progressive pulmonary fibrosis in patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-positive interstitial lung disease	scientific reports	20231017	Original Article
98	Okamoto M, Fujimoto K, Johkoh T, Kawaguchi A, Mukae H, Sakamoto N, Ogura T, Ikeda S, Kondoh Y, Yamano Y, Komiya K, Umeiki K, Nishikiori H, Tanino Y, Tsuda T, Arai N, Komatsu M, Sakamoto S†, Yatera K, Inoue Y, Miyazaki Y, Hashimoto S, Shimizu Y, Hozumi H, Ohnishi H, Handa T, Hattori N, Kishaba T, Kato M, Inomata M, Ishii H, Hamada N, Konno S, Zaizen Y, Azuma A, Suda T, Izuhara K & Hoshino T	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）	A prospective cohort study of periostin as a serum biomarker in patients with idiopathic pulmonary fibrosis treated with nintedanib	scientific reports	20231227	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
99	Ito A†, Nanjo Y*†, Kajiwara C†, Shiozawa A†, Urabe N†, Homma S†, Kishi K†, Yamada K†, Ishii Y†, Tateda K†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）, 医学部 医学科 微生物・感染症学講座	Intrinsic clarithromycin heteroresistance in Mycobacterium avium	Journal of infection and chemotherapy	20240216	Original Article
100	Sekiya M*†, Sakamoto S†, Sekiguchi R†, Sadamoto S†, Sasaki M†, Kamei K, Shibuya K†, Kishi K†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）, 医学部 医学科 病院病理学講座（大森）, 医学部 医学科 臨床検査医学講座（大森）	Successful treatment with inhaled corticosteroid/long-acting β2-agonist in a case of allergic bronchopulmonary mycosis caused by Schizophyllum commune	Respiratory Medicine Case Reports	20231021	Case report
101	Kato C†, Sekiya M*†, Sekiguchi R†, Yamasaki A, Yoshizawa T†, Isobe K†, Tochigi N†, Shibuya K†, Kishi K†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）, 医学部 医学科 病理学講座	Entrectinib-induced syndrome of inappropriate antidiuretic hormone secretion in a patient with ROS-1-rearranged non-small cell lung cancer	Respirology Case Reports	20230902	Case report
102	Yamaguchi A†, Urabe N*†, Tokita N†, Sasaki M†, Iizuka N†, Sakamoto S†, Kishi K†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野（大森）, 医学部 医学科 臨床検査医学講座（大森）	The First Case of Mycobacterium interjectum Pulmonary Disease in Japan: A Case Report	Internal Medicine	20240205	Case report
103	Kinoshita T†, Onda N†, Ohno R†, Ikeda T†, Sugizaki Y†, Ohara H†, Nakagami T†, Yuzawa H, Shimada H†, Shimizu K†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（佐倉）, 医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）, 医学部 医学科 内科学講座 血液・腫瘍学分野（大森）, 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野（大森）, 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Activation recovery interval as an electrocardiographic repolarization index to detect doxorubicin-induced cardiotoxicity	J Cardiol.	20231200	Original Article
104	Hioki H, Watanabe Y, Kataoka A, Kozuma K, Shirai S, Naganuma T, Yamawaki M, Enta Y, Mizuno S, Ueno H, Ohno Y, Nakajima Y, Izumo M, Bouta H, Kodama K, Yamaguchi J, Kubo S, Amaki M, Asami M, Saji M†, Mizutani K, Okazaki S, Hachinohe D, Otsuka T, Adachi Y, Yamamoto M, Hayashida K	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Impact of Gender on Mortality After Transcatheter Edge-to-Edge Repair for Functional Mitral Regurgitation	Am. J. Cardiol	20231015	Original Article
105	Akao M, Yamashita T, Atarashi H, Ikeda T†, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Comprehension of Nonvalvular Atrial Fibrillation and Anticoagulant Adherence in Elderly Patients in a Subcohort Study of the All Nippon Atrial Fibrillation in the Elderly Registry	Am. J. Cardiol	20230804	Original Article
106	Akao M, Yamashita T, Atarashi H, Ikeda T†, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Corrigendum to `Comprehension of Nonvalvular Atrial Fibrillation and Anticoagulant Adherence in in Elderly Patients in a Subcohort Study of the All Nippon Atrial Fibrillation in the Elderly Registry' The American Journal of Cardiology, Volume 204, 1 October 2023, Pages 159–167.	Am. J. Cardiol	20231115	Original Article
107	Bacharova L, Chevalier P, Goreneb B, Jons C, Li YG, Locati ET, Maanja M, Perez-Riera AR, Platonov PG, Ribeiro ALP, Schocken D, Soliman EZ, Svehlíkova J, Tereshchenko LG, Ugander M, Varma N, Elena Z, Ikeda T†.	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	ISE/ISHNE expert consensus statement on the ECG diagnosis of left ventricular hypertrophy: the change of the paradigm.	Ann Noninvasive Electrocardiol	20240100	Review
108	Yamada N, Fukuda I, Nakamura M, Takayama M, Meeda H, Yamashita T, Ikeda T†, Mo M, Yamazaki T, Okumura Y, Hirayama A	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Prognostication of Patients with Pulmonary Thromboembolism with and without Residual Deep Vein Thrombosis: A Subanalysis of the J'xactly Study	Ann Vasc Dis.	20230925	Original Article
109	©Kojima Y†, Saji M†, Ohara H†, Noike R†, Yabe T†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Effective balloon dilation of a separated atrial septum during transcatheter edge-to-edge repair with MitraClip	Cardiovasc Interv Ther	20230700	Case report
110	©Saji M†, Nanasato M, Higuchi R, Izumi Y, Takamisawa I, Iguchi N, Shimizu J, Shimokawa T, Takayama M, Ikeda T†, Isobe M	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Impact of osteoporotic risk in women undergoing transcatheter aortic valve replacement	Cardiovasc Interv Ther	20240100	Original Article
111	Terauchi Y, Inoue H, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T†, Koretsune Y, Okumura K, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Shimizu W	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Impact of glycated hemoglobin on 2-year clinical outcomes in elderly patients with atrial fibrillation	Cardiovasc Diabetol	20230712	Original Article
112	©Yabe T†, Saji M†, Hirano S†, Kojima Y†, Ohara H†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Successful transcatheter edge-to-edge repair with MitraClip in patient with left sided inferior vena cava	Cardiovasc Interv Ther	20240100	Case report
113	©Iwasaki Y†, Shimada T, Sato T, Koike J, Funatsu A, Kobayashi T, Ikeda T†, Nakamura S	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Correlation between physiological assessment and imaging findings during drug-coated balloon treatment for femoropopliteal diseases	Cardiovasc Revasc Med: including molecular interventions	20240300	Original Article
114	Shinohara M†, Fujino T†, Wada R†, Yao S†, Yano K†, Akitsu K†, Koike H†, Kinoshita T†, Yuzawa H†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Impact of Atrial Fibrillation Triggers on Long-Term Outcomes of a Second Catheter Ablation of Nonparoxysmal Atrial Fibrillation.	Circ Rep	20240200	Original Article
115	Takase B, Masaki N, Ikeda T†, Shimizu W.	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Could Brugada Syndrome Be Treated With Percutaneous Coronary Intervention? -Reply.	Circ J	20231225	Review
116	Sato M, Kodera S, Setoguchi N, Tanabe K, Kushida S, Kanda J, Saji M†, Nanasato M, Maki H, Fujita H, Kato N, Watanabe H, Suzuki M, Takahashi M, Sawada N, Yamasaki M, Sawano S, Katsushika S, Shinohara H, Takeda N, Fujii K, Daimon M, Akazawa H, Morita H, Komuro I	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Deep Learning Models for Predicting Left Heart Abnormalities From Single-Lead Electrocardiogram for the Development of Wearable Devices	Circ J	20231114	Original Article
117	Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T†, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Causes of Death in Elderly Patients With Non-Valvular Atrial Fibrillation – Results From the ANAFIE Registry.	Circ J	20230623	Original Article
118	©Shiga T, Suzuki T, Kida K, Suzuki A, Kohno T, Ushijima A, Kiuchi S†, Ishii S, Murata M, Ijichi T, Suzuki M, Nishikawa M	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Rationale and Design of the Effect of Ivabradine on Exercise Tolerance in Patients With Chronic Heart Failure (EXCILE-HF) Trial – Protocol for a Multicenter Randomized Controlled Trial	Circ Rep	20230500	Others
119	Akao M, Inoue H, Yamashita T, Atarashi H, Ikeda T†, Koretsune Y, Okumura K, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Shimizu W	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Relationship Between Direct Oral Anticoagulant Doses and Clinical Outcomes in Elderly Patients With Non-Valvular Atrial Fibrillation – ANAFIE Registry Sub-Analysis	Circ J	20241100	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
120	Sugiura A, Yamamoto M, Saji M, Asami M, Enta Y, Nakashima M, Shirai S, Izumo M, Mizuno S, Watanabe Y, Amaki M, Kodama K, Yamaguchi J, Nakajima Y, Naganuma T, Bots H, Ohno Y, Yamawaki M, Ueno H, Mizutani K, Adachi Y, Otsuka T, Kubo S, Hayashida K, on behalf of the OCEAN-Mitral Investigators	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Cardiac damage in degenerative mitral regurgitation treated with transcatheter mitral edge-to-edge repair	Circulation: Cardiovascular Interventions	20240417	Original Article
121	©Kiuchi S†, Hisatake S†, Kabuki T†, Dobashi S†, Murakami Y†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Importance of anemia in heart failure over blood pressure variability	Clinical Cardiology	20231200	Original Article
122	Niimi N, Kohsaka S, Shiraishi Y, Takei M, Kohno T, Nakano S, Nagatomo Y, Sakamoto M©Saji M†, Ikemura M, Inohara T, Ueda I, Fukuda K, Yoshikawa T	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Which congestion presentation pattern on the physical findings is associated with future adverse events? A cluster analysis in the multicenter acute heart failure registry	Clin Res Cardiol	20230800	Original Article
123	Ikeda S, Hiasa KI, Inoue H, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Suzuki S, Ikeda T†, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Tsutsui H.	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Clinical outcomes and anticoagulation therapy in elderly non-valvular atrial fibrillation and heart failure patients.	ESC Heart Fail	20240400	Original Article
124	Nishihira K, Honda S, Takegami M, Kojima S, Takahashi J, Itoh T, Watanabe T, Yamashita J, Saji M†, Tsujita K, Takayama M, Sumiyoshi T, Kimura K, Yasuda S	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Percutaneous coronary intervention for ST-elevation myocardial infarction complicated by cardiogenic shock in a super-aging society	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care	20231221	Original Article
125	Ferrick AM, Raj SR, Deneke T, Kojodjojo P, Lopez-Cabanillas M, Abe H, Boveda S, Chew DS, Choi JI, Dagues N, Dalal AS, Dechert DE, Frazier-Wills CG, Gilbert O, Han JK, Hewit S, Kneeland C, Mirza SD, Mittal S, Ricci RP, Runte M, Sinclair S, Alkimi-Teixeira R, Vandenberg B, Varma N, Davenport E, Freedenberg V, Glotzer TV, Huang JL, Ikeda T†, Kramer DB, Lin D, Rojel-Martinez U, Stühlinger M, Varosy PD	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	2023 HRS/EHRA/APHRS/LAHRs Expert Consensus Statement on Practical Management of the Remote Device Clinic	Europace	20230519	Original Article
126	Amano H†, Kojima Y†, Hirano S†, Oka Y†, Aikawa H†, Noike R†, Yabe T†, Okubo R†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	The Impact of Stains treatments for plaque characteristics in stable angina pectoris patients with very low and high low-density lipoprotein cholesterol levels: an intracoronary optical coherence tomography study	Heart Vessels	20240600	Original Article
127	©Noike R†, Amano H†, Hirano S†, Tsubono M†, Kojima Y†, Oka Y†, Aikawa H†, Matsumoto S†, YabeT†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Combined assessment of frailty and nutritional status can be a prognostic indicator after percutaneous coronary intervention	Heart and vessels	20230500	Original Article
128	©Amano H†, Kojima Y†, Hirano S†, Oka Y†, Aikawa H†, Matsumoto S†, Noike R†, Yabe T†, Okubo R†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Healed neointima of in-stent restenosis lesions in patients with stable angina pectoris: an intracoronary optical coherence tomography study. Heart Vessels	Heart and vessels	20220700	Original Article
129	Kario K, Hasebe N, Okumura K, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T†, Koretsune Y, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishita Y, Takita A, Inoue H.	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Anticoagulant therapy and home blood pressure-associated risk for stroke/bleeding events in elderly patients with non-valvular atrial fibrillation: the sub-cohort study of ANAFIE registry.	Hypertens Rens	20231200	Original Article
130	Nishida K, Saji M†, Higuchi R, Takamisawa I, Nanasato M, Tamura H, Sato K, Yokoyama H, Doi S, Okazaki S, Onishi T, Tobaru T, Takanashi S, Ozaki K, Inomata T, Isobe M	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Predictors for all-cause mortality in men after transcatheter aortic valve replacement: A report from the LAPLACE-TAVI registry	Int J Cardiol Heart Vasc	20230819	Original Article
131	Funaki T, Saji M†, Terada M, Takamisawa I, Nanasato M, Nagao T, Ikeda T†, Isobe M,	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Left Atrial Appendage Closure with the Wachman FLX System in a Patient with Hypertrophic Cardiomyopathy on Dialysis for End-stage Renal Failure	Internal Medicine	20240201	Case report
132	©Kiuchi S†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	The Prevention of the New Onset of Heart Failure in Hypertensive Patients	Internal Medicine	20240100	Review
133	Hirano S†, Yabe T†, Noike R†, Amano H†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	The Inhibitory Effect of platelet Aggregation Ability Assessed by the Platelet Aggregatory Threshold Index in a Patient with Recurrent Stent Thrombosis.	Internal medicine	20240500	Original Article
134	Shiozawa M, Koga M, Inoue H, Yamashita T, Yasaka M, Suzuki S, Akao M, Atarashi H, Ikeda T†, Okumura K, Koretsune Y, Shimizu W, Tsutsui H, Hirayama A, Nakahara J, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Yamaguchi T, Toyoda K	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Risk of both intracranial hemorrhage and ischemic stroke in elderly individuals with nonvalvular atrial fibrillation taking direct oral anticoagulants compared with warfarin: Analysis of the ANAFIE registry	Int J Stroke	20231000	Original Article
135	Bacharova L, Chevalier P, Gorenek B, Jons C, Li YG, Locati ET, Maanja M, Pérez-Riera AR, Platonov PG, Ribeiro ALP, Schocken D, Soliman EZ, Svehlikova J, Tereshchenko LG, Ugander M, Varma N, Zaklyazminskaya E, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	ISE/ISHNE Expert Consensus Statement on ECG Diagnosis of Left Ventricular Hypertrophy: The Change of the Paradigm. The Joint paper of the International Society of Electrocardiology and the International Society for Holter Monitoring and Noninvasive Electrocardiology	International Society of Electrocardiology	20231100	Original Article
136	©Hirano S†, Yabe T†, Oka Y†, Kojima Y†, Aikawa H†, Noike R†, Amano H†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Clinical Outcomes of Patients with Chronic Kidney Disease Undergoing Percutaneous Coronary Interventions with a Novel Dynamic Coronary Roadmap System	International heart journal	20230900	Original Article
137	Yamazaki C, Higuchi R, Saji M†, Takamisawa I, Nanasato M, Doi S, Okazaki S, Tamura H, Sato K, Yokoyama H, Onishi T, Tobaru T, Shimizu A, Takanashi S, Isobe M	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Discrepancy between invasive and echocardiographic transvalvular gradient after TAVI: Insights from the LAPLACE-TAVI registry	Int J Cardiol.	20230901	Original Article
138	Yagi T, Nagao K, Yonemoto K, Gaieski DF, Tachibana E, Ito N, Shirai S, Tahara Y, Nonogi H, Ikeda T	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Impact of Updating the Cardiopulmonary Resuscitation Guidelines on Out-of-Hospital Shockable Cardiac Arrest: A Population-Based Cohort Study in Japan.	J Am Heart Assoc	20240200	Original Article
139	KatoH T, Yashima M, Takahashi N, Watanabe E, Ikeda T†, Kasamaki Y, Sumitomo N, Ueda N, Morita H, Hiraoka M,	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Expert consensus document on automated diagnosis of the electrocardiogram: The task force on automated diagnosis of the electrocardiogram in Japan part 3: Inappropriate internal processing in the automatic diagnosis of electrocardiograms and its problems.	J Arrhythm	20231100	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
140	Chung MK, Patton KK, Lau CP, Dal Forno ARJ, Al-Khatib SM, Arora V, Birgersdotter-Green UM, Chung EH, Cronin EM, Curtis AB, Cygankiewicz I, Dandamudi G, Dubin AM, Ensich DP, Glotzer TV, Gold MR, Goldberger ZD, Gopinathannair R, Gorodeski EZ, Gutierrez A, Guzman JC, Huang W, Imrey PB, Indik JH, Karim S, Karpawich PP, Khaykin Y, Ikeda T†, Mackall JJ, Marson PK, McLeod CJ, Mela T,	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	2023 HRS/EHRA/APHRS/LAHRs guidelines on cardiac physiologic for the avoidance and mitigation of heart failure.	J Arrhythm	20230800	Original Article
141	Akao M, Yamashita T, Atarashi H, Ikeda T†, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H,	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Comprehension of Nonvalvular Atrial Fibrillation and Anticoagulant Adherence in in Elderly Patients in a Subcohort Study of the All Nippon Atrial Fibrillation in the Elderly Registry’ The American Journal of Cardiology,	J Cardiol	20231000	Original Article
142	Nakanishi R†, Okubo R†, Sobue Y, Kaneko U, Sato H, Fujimoto S, Nozaki Y, Kajiya T, Miyoshi T, Ichikawa K, Abe M, Kitagawa T, Ikenaga H, Osawa K, Saji M†, Iguchi N, Nakazawa G, Takahashi K, Iijich T, Mikamo H, Kurata A, Moroi M, Iijima R, Malkasian S, Crabtree T, Chamie D, Alexandra LJ, Min JK, Earls JP, Matsuo H	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Rationale and design of the INVICTUS Registry: (Multicenter Registry of Invasive and Non-Invasive imaging modalities to compare Coronary Computed Tomography Angiography, Intravascular Ultrasound and Optical Coherence Tomography for the determination of Severity, Volume and Type of coronary atherosclerosis)	J Cardiovasc Comput Tomogr	20231100	Original Article
143	Saji M†, Yamamoto M, Kubo S, Asami M, Enta Y, Shirai S, Izumo M, Mizuno S, Watanabe Y, Amaki M, Kodama K, Yamaguchi J, Nakajima Y, Naganuma T, Bota H, Ohno Y, Yamawaki M, Ueno H, Mizutani K, Adachi Y, Otsuka T, Hayashida K	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	OCEAN-Mitral Investigators. Short-Term Outcomes Following Transcatheter Edge-to-Edge Repair: Insights From the OCEAN-Mitral Registry	JACC Asia	20230829	Original Article
144	Hideki Koike 1, Miho Fukui 1, Thomas Treibel 2, Larissa I Stanberry 1, Victor Y Cheng 3, Maurice Enriquez-Sarano 4, Stephanie Schmidt 1, Erik B Schelbert 3, Cheng Wang 5, Atsushi Okada 5, Asa Phichaphop 5, Paul Sorajja 4, Vinayak N Bapat 4, Jonathon Leipsic 6, John R Lesser 4, João L Cavalcante 7	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Comprehensive Myocardial Assessment by Computed Tomography: Impact on Short-Term Outcomes After Transcatheter Aortic Valve Replacement	JACC: Cardiovascular Imaging	20240417	Original Article
145	Ishii M, Tsujita K, Seki T, Okada M, Kubota K, Matsushita K, Kaikita K, Yonemoto N, Tahara Y, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Sex- and Age-Based Disparities in Public Access Defibrillation, Bystander Cardiopulmonary Resuscitation, and Neurological Outcome in Cardiac Arrest	JAMA Network Open	20230700	Original Article
146	©Ikeda T†, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Koretsune Y, Okumara K, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Prognostic impact of heart rate during atrial fibrillation on clinical outcomes in elderly non-valvular atrial fibrillation patients: ANAFIE Registry sub-cohort study	J Cardiol	20230500	Original Article
147	©Izumi Y, Kagiya N, Maekawara S, Terada M, Higuchi R, Saji M†, Takamisawa I, Nanasato M, Isobe M	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Transcatheter edge-to-edge mitral valve repair with extended clip arms for ventricular functional mitral regurgitation	J Cardiol	20231008	Original Article
148	©Yamashita A†, Kiuchi S†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	A Case of Non-Tachycardic Atrial Fibrillation Whose Left Ventricular Systolic Dysfunction Improved After Catheter Ablation	J Clin Med Res	20230500	Case report
149	©Hosono K†, Kiuchi S†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Cardiac Amyloidosis Patient With Cardiac Conduction Disturbances	J Clin Med Res	20231200	Case report
150	Hiruma T, Saji M†, Izumi Y, Higuchi R, Takamisawa I, Shimizu J, Nanasato M, Shimokawa T, Isobe M	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Frailty assessment using photographs in patients undergoing transcatheter aortic valve replacement	J Cardiol	20240300	Original Article
151	Onuegbu. A, Calicchio.F, Kinneringer.A, Nakanishi. R†, Carr. J, Nasir. K, Gottesman. R, Budoff. M	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Mitral annular calcification as a predictor of stroke in the multiethnic study of atherosclerosis	J Cardiovasc Med	20230900	Original Article
152	Higuchi R, Nishida K, Saji M†, Ohno M, Takamisawa I	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Long-Sheath Assisted Transcatheter Aortic Valve Replacement: The Best and Worst Cases	J Invasive Cardiol	20230400	Original Article
153	Koretsune Y, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T†, Okumura K, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Coagulation Biomarkers and Clinical Outcomes in Elderly Patients With Nonvalvular Atrial Fibrillation: ANAFIE Subcohort Study	JACC Asia	20230800	Original Article
154	Fukutomi M, Onishi T, Ando T, Higuchi R, Hagiya K, Saji M†, Takamisawa I, Iguchi N, Takayama M, Shimizu A, Shimizu J, Doi S, Okazaki S, Sato K, Tamura H, Yokoyama H, Takanashi S, Tobaru T,	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Impact of periprocedural bleeding on mid-term outcome in nonagenarians who underwent transcatheter aortic valve implantation: insights from LAPLACE registry	J Thromb Thrombolysis	20230700	Original Article
155	Migita S, Okumura Y, Fukuda I, Nakamura M, Yamada M, Takayama M, Maeda H, Yamashita T, Ikeda T†, Mo M, Yamazaki T, Hirayama A: J7xactly Investigators.	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Rivaroxaban treatment for asymptomatic venous thromboembolism: insights from the J7xactly study.	Thromb J.	20230821	Original Article
156	©Hirano S†, Shinohara M†, Nakanishi R†, Sano T†, Yao S†, Hosono K†, Fujii T†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）, 医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野（大森）	A case of constrictive pericarditis with a milk of calcium pericardial effusion undergoing surgical treatment	J Cardiol Cases.	20230700	Original Article
157	Shimizu W, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T†, Koretsune Y, Okumura K, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Moroshima Y, Takita A, Inoue H,	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Renal Function and Clinical Outcomes Among Elderly Patients With Nonvalvular Atrial Fibrillation From ANAFIE.	JACC Asia	20230400	Original Article
158	van Rosendaal AR, Crabtree T, Bax JJ, Nakanishi R†, Mushtaq S, Pontone G, Andreini D, Buechel RR, Grani C, Feuchtnr G, Patel TR, Choi AD, Al-Mallah M, Nabi F, Karlsberg RP, Rochitte CE, Alasnag M, Hamdan A, Cademartiri F, Marques H, Kalra D, German DM, Gupta H, Hadamitzky M, Deafo RC, Khaliq O, Knaepen P, Hoffmann U, Earls J, Min JK, Danad I: CONFIRM 2 Investigators	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Rationale and design of the CONFIRM2 (Quantitative COroNary CT Angiography Evaluation For Evaluation of Clinical Outcomes: An InteRnational, Multicenter Registry) study	J Cardiovasc Comput Tomogr	20240100	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
159	© Nakanishi R†, Okubo R†, Sobue Y, Kaneko U, Sato H, Fujimoto S, Nozaki Y, Kajiya T, Miyoshi T, Ichikawa K, Abe M, Kitagawa T, Ikenaga H, Osawa K, Saji M†, Iguchi N, Nakazawa G, Takahashi K, Ijich T, Mikamo H, Kurata A, Moroi M, Iijima R, Malkasian S, Crabtree T, Chamie D, Alexandra LJ, Min JK, Earls JP, Matsuo H.	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Rationale and design of the INVICTUS Registry: (Multicenter Registry of Invasive and Non-Invasive imaging modalities to compare Coronary Computed Tomography Angiography, Intravascular Ultrasound and Optical Coherence Tomography for the determination of Severity, Volume and Type of coronary atherosclerosis)	J Cardiovasc Comput Tomogr	20231100	Original Article
160	Onuegbu. A, Calicchio.F, Kinninger.A, Nakanishi. R †, Carr. J, Nasir.K, Gottesman.R, Budoff. M	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Mitral annular calcification as a predictor of stroke in the multiethnic study of atherosclerosis	J Cardiovasc Med		Original Article
161	©Hirano S†, Shinohara M†, Nakanishi R†, Sano T †, Yao S†, Hosono K†, Fujii T†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	A case of constrictive pericarditis with a milk of calcium pericardial effusion undergoing surgical treatment	J Cardiol Cases	20230728	Case report
162	Abe R, Saji M(Corresponding), Izumi Y, Takamisawa T, Kishiki K, Maekawara S, Nagatomo Y, Yazaki S, Nanasato M, Isobe M.	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Usefulness of a Pulse Oximeter and Multimodality Imaging for Diagnosing Platypnea-orthodeoxia Syndrome.	Internal medicine	20230501	Case report
163	Higuchi R, Nishida K, Saji M, Ohno M, Takamisawa I	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野（大森）	Long-Sheath Assisted Transcatheter Aortic Valve Replacement: The Best and Worst Cases.	J Invasive Cardiol	20230401	Case report
164	Uraoka T, Uedo N, Oyama T, Saito Y, Yahagi N, Fujimoto A, Kawahara Y, Mabe K, Hikichi T, Yamamoto Y, Tajiri H.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Efficacy and Safety of a Novel Hemostatic Peptide Solution During Endoscopic Submucosal Dissection: A Multicenter Randomized Controlled Trial. Am J Gastroenterol.	The American journal of gastroenterology	20230400	Original Article
165	Kobayashi K†, Nagai H†, Matsui T†, Matsuda T†, Higai K†	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Importance of Atezolizumab plus bevacizumab combination treatment as first-line therapy for immunological changes in patients with unresectable hepatocellular carcinoma	Anticancer Res	20230800	Case report
166	Takahito Toba・Ryo Ikegami・Akira Nogami・Naoko Watanabe・Kodai Fujii・Yurie Ogawa・Aya Hojo・Ai Fujimoto・Takahisa Matsuda	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Multiple ulcerative colitis-associated aseptic abscesses successfully treated with infliximab: a case report	Clinical Journal of Gastroenterology	20230800	Case report
167	Hayashi Y, Kaneko R, Ogino H, Uekusa T, Kitajima M, Ikehara T, Nagai H, Matsuda T.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	A case of multiple hepatocellular carcinoma experiencing complete responses to sorafenib and atezolizumab-bevacizumab and developing severe, refractory venous congestive cutaneous ulcers on either regimen.	Clinical Journal of Gastroenterology	20230401	Case report
168	Kawamura T, Sekiguchi M, Takamaru H, Mizuguchi Y, Horiguchi G, Toyozumi H, Kato M, Kobayashi K, Sada M, Oda Y, Yokoyama A, Utsumi T, Tsuji Y, Ohki D, Takeuchi Y, Shichijo S, Ikematsu H, Matsuda K, Teramukai S, Kobayashi N, Matsuda T†, Saito Y, Tanaka K.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Endoscopist-related factors affecting adenoma detection during colonoscopy: data from the J-SCOUT study.	Digestive Endoscopy	20240100	Original Article
169	Ito S, Hotta K, Sekiguchi M, Takeuchi Y, Oka S, Yamamoto H, Shimura K, Harada K, Uraoka T, Hisabe T, Sano Y, Kondo H, Horimatsu T, Kikuchi H, Kawamura T, Nagata S, Yamamoto K, Tajika M, Tsuji S, Kusaka T, Okuyama Y, Yoshida N, Moriyama T, Hasebe A, So S, Saito Y, Nakahira H, Ishikawa H, Matsuda T†	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Short-term outcomes of endoscopic resection for colorectal neuroendocrine tumors: A Japanese multicenter prospective C-NET STUDY.	Digestive Endoscopy	20231120	Original Article
170	Sekiguchi M, Kishida Y, Ikematsu H, Konno M, Mizuguchi Y, Hotta K, Imai K, Ito S, Takada K, Shiomi A, Yasui H, Tsukamoto S, Hirano H, Kobayashi M, Saito Y, Inaba A, Shimura K, Konishi J, Ozawa H, Fujita S, Murakami Y†, Matsuda T†.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Proportions and characteristics of interval cancer in annual fecal immunochemical test screening and postcolonoscopy colorectal cancer: Results from a Japanese multicenter prospective study using questionnaires, the C-DETECT study.	Digestive Endoscopy	20240303	Original Article
171	Kawamura T, Sekiguchi M, Takamaru H, Mizuguchi Y, Horiguchi G, Kato M, Kobayashi K, Sada M, Oda Y, Yokoyama A, Utsumi T, Tsuji Y, Ohki D, Takeuchi Y, Shichijo S, Ikematsu H, Matsuda K, Teramukai S, Kobayashi N, Matsuda T, Saito Y, Tanaka K.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Endoscopic adenoma detection rate as a quality indicator of colonoscopy: the first report from the J-SCOUT study.	Digestive Endoscopy	20230701	Original Article
172	Enomoto Y†, Ishioka M, Chino A, Kobayashi H, Shimizu R, Yasue C, Ide D, Igarashi M, Fujisaki J, Matsuda T†, Igarashi Y†, Saito S.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Advantage of magnifying narrow-band imaging for the diagnosis of colorectal neoplasia associated with sessile serrated lesions.	Digestive Endoscopy Open	20231201	Original Article
173	Fujimoto A, Ishii T, Hiraoka T, Ogawa Y, Sato N, Watanabe N, Nogami A, Soejima K, Fujii K, Hojo A, Shimizu R, Nishikawa Y, Dan N, Kobayashi S, Okamoto Y, Kimura R, Yamaguchi K, Ono M, Toba T, Matsuda T.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	A novel hemostatic peptide solution for common acute gastrointestinal bleeding diseases: First case series study on the treatment results of endoscopic hemostasis by non-expert endoscopists.	Digestive diseases (Basel, Switzerland)	20231200	Original Article
174	Fujimoto A*†, Ishii T†, Hiraoka T†, Ogawa Y†, Sato N†, Watanabe N†, Nogami A†, Soejima K†, Fujii K†, Hojo A†, Shimizu R†, Nishikawa Y†, Dan N†, Kobayashi S†, Okamoto Y†, Kimura R†, Yamaguchi K†, Ono M†, Toba T†, Matsuda T†.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	A Novel Hemostatic Peptide Solution for Common Acute Gastrointestinal Bleeding Diseases: First Case Series Study on the Treatment Results of Endoscopic Hemostasis by Nonexpert Endoscopists	Digestive diseases and sciences	20240100	Original Article
175	Takamaru H, Saito Y, Toyoshima N, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Polyglycolic acid sheet with clipping for closing delayed perforation after colonic endoscopic submucosal dissection.	Endoscopy	20231201	Original Article
176	Masashi Ono, 1 Ai Fujimoto, 1 Kazuhisa Yamaguchi, 1 Takahito Toba, 1 and Takahisa Matsuda. 1	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	A new treatment method for patients with cancer that cannot be resected en bloc by endoscopic submucosal dissection: the monorail method with clip-line traction.	Endoscopy E-videos	20230700	Original Article
177	Suzuki H, Nonaka S, Maetani I, Matsuda T, Abe S, Yoshinaga S, Oda I, Yamagata Y, Yoshikawa T, Saito Y	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Clinical and endoscopic features of metachronous gastric cancer with possible lymph node metastasis after endoscopic submucosal dissection and Helicobacter pylori eradication.	Gastric Cancer	20230900	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
178	Khalaf K, Seleg S, Bourke MJ, Alkandari A, Bapaye A, Bechara R, Calo NC, Fedorov ED, Hassan C, Kalauz M, Kandiel GP, Matsuda T†, May GR, Monkemüller K, Mosko JD, Ohno A, Pavio T, Pellisé M, Raos Z, Repici A, Rex DK, Saxena P, Schauer C, Sethi A, Sharma P, Shaukat A, Siddiqui UD, Singh R, Smith LA, Tanabe M, Teshima CW, von Renteln D, Gimpaya N, Pawlak KM, Fujiyoshi MRA, Fujiyoshi Y, Lamba M, Li S, Malipatil SB, Grover SC.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Establishment of Standards for the Referral of Large Non-Pedunculated Colorectal Polyps: An International Expert Consensus Using a Modified Delphi Process.	Gastrointestinal endoscopy	20240201	Original Article
179	Ito K, Okano N, Takuma K, Iwasaki S, Watanabe K, Kimura Y, Yamada Y, Yoshimoto K, Hara S, Kishimoto Y, Matsuda T, Igarashi Y.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Are Newer Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy Models Truly Improving Pancreatolithiasis Lithotripsy Performance? A Japanese Single-Center Study Using Endoscopic Adjunctive Treatment.	Gut and Liver	20230715	Original Article
180	Kensuke Takuma , Yusuke Kimura , Naoki Okano , Hiroki Nakagawa ,Kouji Watanabe , Yuto Yamada , Susumu Iwasaki , Ken Ito , Yoshinori Igarashi , Takahisa Matsuda	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Two-devices-in-one-channel method for fractured pancreatic duct stent retrieval in a case of severe chronic pancreatitis	Journal of Hepatobiliary pancreatic science	20240131	Case report
181	Kinoshita S, Nishizawa T, Tojo M, Hirai Y, Nakazato Y, Miyanaga R, Fujimoto A, Inoue K, Ebinuma H, Suzuki H, Kikuchi M.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Simple drainage versus drainage with minocycline infusion for symptomatic hepatic cysts.	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition	20230400	Original Article
182	Yu Ogino , Noritaka Wakui , Hidenari Nagai , Takahisa Matsuda	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Comparison of strain elastography and shear wave elastography in diagnosis of fibrosis in nonalcoholic fatty liver disease	Journal of medical ultrasonics.	20230401	Original Article
183	Wakabayashi M†, Kikuchi Y*†, Yamaguchi K†, Matsuda T†	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Prognosis of pancreatic cancer with Trousseau syndrome: a systematic review of case reports in Japanese literature	Journal of the Egyptian National Cancer Institute	20231214	Original Article
184	Nagai H*†, Mukozu T†, Matsui T†, Mohri K†, Nagumo H†, Yoshimine N†, Kobayashi K†, Ogino Y T, Daido Y†, Wakui N†, Momiyama K†, Matsuda T T, Igarashi Y†, Higai K.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）	Remaining Issues Related to Serum Cytokines in Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma Treated by Atezolizumab plus Bevacizumab Combination Treatment.	Oncology	20240223	Original Article
185	Hihara D†, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T†, Saito Y.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大森）, 医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野（大橋）	Factors associated with increased duration of endoscopic submucosal dissection for rectal tumors: A 22-year retrospective analysis.	Gastrointestinal endoscopy	20230901	Original Article
186	Shimizu H, Nishimura Y, Shiide Y, Akimoto M, Yashiro M, Ueda M, Hirai M, Yoshino H, Mizutani T, Kanai K, Kano O†, Kimura H, Sekino H, Ito K	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野（大森）	Pharmacokinetics of Edaravone Oral Suspension in Patients With Amyotrophic Lateral Sclerosis	Clinical therapeutics	20231100	Original Article
187	Suda S, Katano T, Kitagawa K, Iguchi Y, Fujimoto S, Ono K, Kano O†, Takekawa H, Koga M, Ihara M, Morimoto M, Yamagami H, Terasaki T, Yamaguchi K, Okubo S, Ueno Y, Ohara N, Kamiya Y, Takeuchi M, Yazawa Y, Terasawa Y, Doijiri R, Tsuboi Y, Sonoda K, Nomura K, Shimoyama T, Kutsuna A, Kimura K.	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野（大森）	Detection of Atrial Fibrillation Using Insertable Cardiac Monitors in Patients With Cryptogenic Stroke in Japan (the LOOK Study): Protocol for a Prospective Multicenter Observational Study.	JMIR Res Protoc.	20230413	Original Article
188	Hirayama T†, Shibukawa M†, Morioka H†, Hozumi M†, Tsuda H†, Atsuta N, Izumi Y, Nakayama Y, Shimizu T, Inoue H, Urushitani M, Yamanaka K, Aoki M, Ebihara S, Takeda A, Kano O†	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野（大森）	The necessity to improve disaster preparedness among patients with amyotrophic lateral sclerosis and their families	Journal of clinical neuroscience : official journal of the Neurosurgical Society of Australasia	20230831	Original Article
189	Nakamura R, Tohnai G, Nakatochi M, Atsuta N, Watanabe H, Ito D, Katsuno M, Hirakawa A, Izumi Y, Morita M, Hirayama T†, Kano O†, Kanai K, Hattori M, Taniguchi A, Suzuki N, Aoki M, Iwata I, Yabe I, Shibuya K, Kuwabara S, Oda M, Hashimoto R, Aiba I, Ishihara T, Onodera O, Yamashita T, Abe K, Mizoguchi K, Shimizu T, Ikeda Y, Yokota T, Hasegawa K, Tanaka F, Nakashima K, Kajii R, Niwa JI, Doyu M, Terao C, Ikegawa S, Fujimori K, Nakamura S, Ozawa F, Morimoto S, Onodera K, Ito T, Okada Y, Okano H, Sobue G	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野（大森）	Genetic factors affecting survival in Japanese patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis: a genome-wide association study and verification in iPSC-derived motor neurons from patients.	Journal of neurology, neurosurgery, and psychiatry	20231000	Original Article
190	Hatano T, Sengoku R, Nagayama H, Yanagisawa N, Yoritaka A, Suzuki K, Nishikawa N, Mukai Y, Nomura K, Yoshida N, Seki M, Matsukawa MK, Terashi H, Kimura K, Tashiro J, Hirano S, Murakami H, Joki H, Uchiyama T, Shimura H, Ogaki K, Fukae J, Tsuboi Y, Takahashi K, Yamamoto T, Kaida K, Ihara R, Kanemaru K, Kano O†.	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野（大森）	Impact of Istradefylline on Levodopa Dose Escalation in Parkinson's Disease: ISTRADJUST PD Study, a Multicenter, Open-Label, Randomized, Parallel-Group Controlled Study	Neurology and therapy	20240116	Original Article
191	Urushitani M, Warita H, Atsuta N, Izumi Y, Kano O†, Shimizu T, Nakayama Y, Narita Y, Nodera H, Fujita T, Mizoguchi K, Morita M, Aoki M	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野（大森）	The clinical practice guideline for the management of amyotrophic lateral sclerosis in Japan—update 2023	Rinsho Shinkeigaku	20240323	Review
192	Nagasawa J†, Suzuki K, Hanashiro S†, Yanagihashi M†, Hirayama T†, Hori M†, Kano O†	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野（大森）	Association between middle cerebral artery morphology and branch atheromatous disease	The journal of medical investigation	20230615	Original Article
193	Ebina J†, Mizumura S†, Ishii N, Kobayashi Y, Shibukawa M†, Morioka H†, Nagasawa J†, Yanagihashi M†, Hirayama T†, Kawabe K†, Orimo S, Kano O†	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野（大森）, 医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Reduced 123I-MIBG uptake in the parotid and submandibular glands in patients with Parkinson's disease identified using a quantitative semi-automatic method	Journal of neurology	20230524	Original Article
194	Ebina J†, Mizumura S†, Morioka H†, Shibukawa M†, Nagasawa J†, Yanagihashi M†, Hirayama T†, Ishii N†, Kobayashi Y, Inaba A, Orimo S, Kano O†	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野（大森）, 医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Clinical characteristics of patients with Parkinson's disease with reduced 123I-meiodobenzylguanidine uptake in the major salivary glands and heart	Journal of the Neurological Sciences	20240212	Original Article
195	Zenri M, Higa M, Ikehara K, Ichijo T, Hirose T†	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野（大森）	A Case of Acute-Onset Type 1 Diabetes Mellitus with Diabetic Ketoacidosis Triggered by COVID-19	The American journal of case reports	20230900	Case report

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
196	Takuma K†, Fuchigami A†, Shigiyama F, Kumashiro N, Hirose T†*	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野 (大森)	Comparison of the effects of sitagliptin and dapagliflozin on time in range in Japanese patients with type 2 diabetes stratified by body mass index: A sub-analysis of the DIVERSITY-CVR study.	Diabetes, Obesity & Metabolism	20230800	Original Article
197	Hiruma M †, Tsuboi K †, Hirose T†*	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野 (大森)	Methotrexate-associated lymphoproliferative disorder in the thyroid gland of a patient with chronic thyroiditis.	Journal of Medical Ultrasonics	20230801	Case report
198	Mai Kawazoe, Junko Nishio, Wataru Hirose, Karin Furukawa, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Safety of SARS-CoV-2 mRNA vaccines and effects of immunosuppressive drugs on adverse reactions in patients with rheumatic diseases	European Journal of Internal Medicine	20230900	Original Article
199	Shotaro Masuoka, Junko Nishio, Soichi Yamada, Kosuke Saito, Kaichi Kaneko, Makoto Kaburaki, Nahoko Tanaka, Hiroshi Sato, Sei Muraoka, Mai Kawazoe, Satoshi Mizutani, Akiko Ishii-Watabe, Shinichi Kawai, Yoshiro Saito, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Relationship between the lipidome profile and disease activity in patients with rheumatoid arthritis	Inflammation	20240224	Original Article
200	Wataru Munakata, Koji Izutsu, Yuko Mishima, Hirokazu Nagai, Yuko Ishihara, Junji Suzumiya, Yuzuru Kanakura, Toshihiro Nanki, Takeshi Miyake, Atsuko Kawasaki, Tatsuya Yoshinaga, Kenichi Ishizawa	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Dose-escalation part of Phase I study of single-agent mosunetuzumab in Japanese patients with relapsed/refractory B-cell non-Hodgkin lymphoma	Japanese Journal of Clinical Oncology	20231004	Original Article
201	Mai Kawazoe, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Comparison of efficacy of continuous mycophenolate mofetil with sequential cyclophosphamide and tacrolimus as maintenance therapy for lupus nephritis	Lupus	20240117	Original Article
202	Hideto Kameda, Keiichiro Nishida, Toshihiro Nanki, Akira Watanabe, Yukiya Oshima, Shigeki Momohara.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Safety and effectiveness of certolizumab pegol in Japanese patients with rheumatoid arthritis: Results from a 24-week post-marketing surveillance study.	Modern Rheumatol	20230413	Original Article
203	Sugihara T, Yoshifuji H, Uchida HA, Maejima Y, Watanabe Y, Tanemoto K, et al.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Establishing clinical remission criteria for giant cell arteritis: Results of a Delphi exercise carried out by an expert panel of the Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis	Modern Rheumatology	20230500	Original Article
204	Mai Kawazoe, Toshihiro Nanki, Keigo Saeki, Hideki Ishikawa, Yoshikazu Nakamura, Soko Kawashima, Shuichi Ito, Masanari Kodera, Naoko Konda, Shinya Kaname, Masayoshi Harigai	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Nationwide epidemiological survey of polyarteritis nodosa in Japan in 2020	Modern Rheumatology	20240207	Original Article
205	Hideto Kameda, Keiichiro Nishida, Toshihiro Nanki, Akira Watanabe, Yukiya Oshima, Shigeki Momohara	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Safety and Effectiveness of Certolizumab Pegol in Japanese Patients with Rheumatoid Arthritis: 3-year Results from a Post-Marketing Surveillance Study	Modern Rheumatology	20240300	Original Article
206	Komiya Y, Sugihara T (corresponding author), Hirano F, Matsumoto T, Kamiya M, Sasaki H, Hosoya T, Kimura N, Ishizaki T, Mori M, Tohma S, Yasuda S, Matsui T.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Factors associated with impaired physical function in elderly rheumatoid arthritis patients who had achieved low disease activity	Modern Rheumatology	20231222	Original Article
207	Yoshiya Tanaka, Tsutomu Takeuchi, Hisashi Yamanaka, Toshihiro Nanki, Hisanori Umebara, Nobuyuki Yasuda, Fumitoshi Tago, Yasumi Kitahara, Makoto Kawakubo, Kentaro Torii, Seichiro Hojo, Tetsu Kawano, Toshio Imai	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Long-term evaluation of E6011, an Anti-Fractalkine Monoclonal Antibody, in Patients with Rheumatoid Arthritis Inadequately Responding to Biological Disease-modifying Antirheumatic Drugs	Modern Rheumatology	20231222	Original Article
208	Yoshiya Tanaka, Tsutomu Takeuchi, Hisashi Yamanaka, Toshihiro Nanki, Hisanori Umebara, Nobuyuki Yasuda, Fumitoshi Tago, Yasumi Kitahara, Makoto Kawakubo, Kentaro Torii, Seichiro Hojo, Tetsu Kawano, Toshio Imai	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Long-term Safety and Efficacy of E6011, an Anti-Fractalkine Monoclonal Antibody, in Patients with Rheumatoid Arthritis Inadequately Responding to Methotrexate	Modern Rheumatology	20231222	Original Article
209	Ken-ei Sada, Shinya Kaname, Tomoaki Higuchi, Shunsuke Furuta, Kenji Nagasaka, Toshihiro Nanki, Naotake Tsuboi, Koichi Amano, Hiroaki Dobashi, Keiju Hiromura, Masashi Bando, Takashi Wada, Yoshihiro Arimura, Hirofumi Makino, Masayoshi Harigai, for the Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome (JPVAS) and Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Validation of new ACR/EULAR 2022 classification criteria for anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis using data from cohort studies	Modern Rheumatology	20231222	Original Article
210	Sugihara T, Uchida HA, Yoshifuji H, Maejima Y, Naniwa T, Katsumata Y, et al.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Association between the patterns of large-vessel lesions and treatment outcomes in patients with large-vessel giant cell arteritis	Modern Rheumatology	20231100	Original Article
211	Nakaya I, Sada KE, Harigai M, Soma J, Amano K, Dobashi H, Atsumi T, Yuzawa Y, Fujimoto S, Sugihara T, Takasaki Y, Arimura Y, Makino H.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Chemoprophylaxis against Pneumocystis jirovecii pneumonia in Japanese patients with ANCA-associated vasculitis: An observational study.	Modern Rheumatology	20231101	Original Article
212	Nagasaka K, Amano K, Dobashi H, Nagafuchi H, Sada KE, Komagata Y, Yamamura M, Kato M, Endo T, Nakaya I, Takeuchi T, Murakawa Y, Sugihara T, Saito M, Hayashi T, Furuta S, Tamura N, Karasawa K, Banno S, Endo S, Majima M, Kaname S, Arimura Y, Harigai M.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Nation-wide cohort study of remission induction therapy using rituximab in Japanese patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: Effectiveness and safety in the first 6 months.	Modern Rheumatology	20231101	Original Article
213	Shotaro Masuoka, Takashi Tanaka, Miwa Kanaji, Karin Furukawa, Keiko Koshiba, Zento Yamada, Eri Watanabe, Mai Kawazoe, Shun Ito, Ayako Fuchigami, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	A case of systemic lupus erythematosus in a patient with Noonan syndrome with recurrent severe hypoglycemia	Modern Rheumatology Case Reports	20240122	Case report
214	Mizushima M, Sugihara T, Matsui T, Urata Y, Tohma S, Kawahata K.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Comparison between rheumatoid arthritis with malignant lymphoma and other malignancies: Analysis of a National Database of Rheumatic Disease in Japan.	Seminars in arthritis and rheumatism	20231103	Original Article
215	Matsumoto T, Sugihara T, Hosoya T, Ishizaki T, Kubo K, Kamiya M, Baba H, Tsuchida M, Hirano F, Kojima M, Miyasaka N, Harigai M.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Effectiveness and safety of treat-to-target strategy for methotrexate-naïve rheumatoid arthritis patients >75 years of age	Rheumatol Adv Pract.	2024/3/1	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
216	Mai Kawazoe, Kotaro Aoki, Wataru Hirose, Shotaro Masuoka, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野（大森）	Influence of immunosuppressive therapy on longitudinal changes in anti-SARS-CoV-2 spike protein antibodies after two doses of mRNA vaccines in patients with rheumatic diseases.	European Journal of Internal Medicine	20230600	Original Article
217	Ken-ei Sada, Kenji Nagasaka, Shinya Kaname, Tomoaki Higuchi, Shunsuke Furuta, Toshihiro Nanki, Naotake Tsuboi, Koichi Amano, Hiroaki Dobashi, Keiju Hiromura, Masashi Bando, Takashi Wada, Yoshihiro Arimura, Hirofumi Makino, Masayoshi Harigai, for the Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome (JPVAS) and Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野（大森）	Evaluation of Ministry of Health, Labour and Welfare diagnostic criteria for antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis compared to ACR/EULAR 2022 classification criteria	Modern Rheumatology	20231200	Original Article
218	Sugo N (Co), Terazono S (EO), Matsuura C, Fuchinoue Y, Sakaeyama Y, Abe M, Mikai M, Kubota S, Kondo K, Shimokawa S, Maehara T, Akutsu H, Ikawa F, Enomoto Y, Kamiya K, Kuroda S, Takeshima H, Tamura N, Hishikawa T, Fujii M, Fujimaki T, Horiuchi T, Yamamoto J, Yamamoto T, Kato Y	医学部 医学科 脳神経外科学講座（大森）	Academic Activities of Female Neurosurgeons in All Branch Meetings of the Japan Neurosurgical Society	Neurologia medico-chirurgica	20231015	Original Article
219	©Sakaeyama Y†, Kondo K (EO)†, Terazono S†, Fuchinoue Y†, Kubota S†, Mikai M†, Abe M†, Sugo N (Co†), Nagao T†, Nemoto M†	医学部 医学科 脳神経外科学講座（大森）, 医学部 医学科 脳神経外科学講座（佐倉）	Local and systemic factors associated with quantitative stiffness of carotid plaque	Acta Neurochirurgica	20240130	Original Article
220	©Matsuzaki R†, Noguchi Y, Aoki Y, Oishi H, Sugo N†	医学部 医学科 脳神経外科学講座（大森）, 医学部 医学科 脳神経外科学講座（佐倉）	A case of endoscopic treatment of a symptomatic pineal cyst	MOJ clinical & medical case reports	20240200	Case report
221	Harada N, Sakaeyama Y, Fuchinoue Y, Abe M, Terazono S, Matsuura C, Kubota S, Mikai M, Sugo N, Sugiyama K, Kondo K, Nemoto M	医学部 医学科 脳神経外科学講座（大森）, 医学部 医学科 脳神経外科学講座（佐倉）	Differentiation between Anterior and Posterior Roots using Compound Muscle Action Potential in Intradural Extramedullary Spinal Tumor Surgery	Neurologia medico-chirurgica	20240115	Original Article
222	Matsuzaki R, Fuchinoue Y, Mikai M, Nakada C, Uchino K, Terazono S, Harada M, Kondo K, Harada N, Sugo N	医学部 医学科 脳神経外科学講座（大森）, 医学部 医学科 脳神経外科学講座（佐倉）	Metastasis infiltrating tumor to meningioma: a case report	Journal of Medical Case Reports	20240202	Case report
223	Nagao T, Nemoto M, Sugo N, Harada N, Masuda H, Nagao T, Shibuya K, Kondo K	医学部 医学科 脳神経外科学講座（大森）, 医学部 医学科 脳神経外科学講座（佐倉）	Relationship Between Quantitative Tumor Consistency and Pathological Factors in Intracranial Meningioma	Acta Neurochirurgica	20230711	Original Article
224	Hideyuki Kobayashi*†, Masato Uetani†, Fumito Yamabe†, Yoza Mitsui†, Koichi Nakajima†, Koichi Nagao†	医学部 医学科 泌尿器科学講座（大森）	AI Model Developed Using Machine Learning for Predicting Sperm Retrieval in Micro-TESE for Nonobstructive Azoospermia Patients	Andrologia	20231208	Original Article
225	Yoza Mitsui*†, Fumito Yamabe†, Shunsuke Hori, Masato Uetani†, Hiroshi Aoki†, Kei Sakurabayashi†, Mizuho Okawa†, Hideyuki Kobayashi†, Koichi Nagao†, Koichi Nakajima†	医学部 医学科 泌尿器科学講座（大森）	Combination of C-reactive protein/albumin ratio and time to castration resistance enhances prediction of prognosis for patients with metastatic castration-resistant prostate cancer	Frontiers in Oncology	20230602	Original Article
226	Yoza Mitsui*†, Fumito Yamabe†, Shunsuke Hori, Masato Uetani†, Hideyuki Kobayashi,† Koichi Nagao†, Koichi Nakajima†	医学部 医学科 泌尿器科学講座（大森）	Molecular Mechanisms and Risk Factors Related to the Pathogenesis of Peyronie's Disease	International Jorunal of Molecular Science	20230614	Review
227	Hisamitsu Ide, Yuko Akehi, Shinichiro Fukuhara, Shin Ohira, Sumito Ogawa, Tomoya Kataoka, Hiroshi Kumagai, Ko Kobayashi, Akira Komiya, Kazuyoshi Shigehara, Takahiro Syuto, Jintetu Soh, Makito Tanabe, Hisanori Taniguchi, Koji Chiba, Kazuhito Matsushita, Yoza Mitsui†, Takahiro Yoneyama, Tomoya Shirakawa, Yasuhisa Fujii, Hiroaki Kumano, Hajime Ueshiba, Toshiyasu Amano, Haruaki Sasaki, Seiji Maeda, Atsushi Mizokami, Kazuhiro Suzuki, Shigeo Horie	医学部 医学科 泌尿器科学講座（大森）	Summary of the clinical practice manual for late-onset hypogonadism	International Journal of Urology	20230530	Review
228	Ozaki Y, Tomoe H, Shimomura M, Ninomiya N, Sekiguchi Y, Sato Y, Nagao K†, Takahashi Y, Takahashi S	医学部 医学科 泌尿器科学講座（大森）	Female sexual dysfunction and lower urinary tract symptoms associated with vulvovaginal atrophy symptoms: Results of the GENJA study	International Journal of Urology	20231000	Original Article
229	Yoza Mitsui*†, FumitoYamabe†, Shunsuke Hori†, Masato Uetani†, Hiroshi Aoki†, Kei Sakurabayashi†, Mizuho Okawa†, Hideyuki Kobayashi†, Koichi Nagao†, Koichi Nakajima†	医学部 医学科 泌尿器科学講座（大森）	Longitudinal change in castration-resistant prostate cancer biomarker AST/ALT ratio reflects tumor progression	Scientific Reports	20230915	Original Article
230	Eric Chung, Du-Geon Moon, Jiang Hui, Hong-Chiang Chang, Lukman Hakim, Koichi Nagao†, Ronny Tan, Siu King Mak, Kavirach Tantiwongse, Haocheng Lin, Dung Ba Tien Mai, Quang Nguyen, Hui Meng Tan, Yoshikazu Sato, Bang-Ping Jiann, Kwangsung Park, Zhong Cheng Xin, Hyun-Jun Park	医学部 医学科 泌尿器科学講座（大森）	Clinical recommendations on penile reconstructive and prosthetic surgery: a consensus statement from the Asia-Pacific Society of Sexual Medicine	Sexual Medicine, https://doi.org/10.1093/sexmed/qfad003	20230507	Original Article
231	Masato Uetani*†, Fumito Yamabe†, Shunsuke Hori, Hiroshi Aoki†, Kei Sakurabayashi†, Mizuho Okawa†, Hideyuki Kobayashi†, Koichi Nakajima†, Koichi Nagao†, Yoza Mitsui†	医学部 医学科 泌尿器科学講座（大森）	Successful treatment of ejaculation pain with silodosin in patient with Zinner syndrome: a case report	Translational Andrology and Urology	20230531	Case report
232	Yoza Mitsui*†, Fumito Yamabe†, Shunsuke Hori†, Masato Uetani†, Hiroshi Aoki†, Kei Sakurabayashi†, Mizuho Okawa†, Hideyuki Kobayashi†, Koichi Nagao†, Koichi Nakajima†	医学部 医学科 泌尿器科学講座（大森）	Urine pH and imaging findings of prostate useful predictors of prolonged duration of hematospermia	Translational Andrology and Urology	20230731	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
233	Eric Chung, Jiang Hui, Zhong Cheng Xin, Sae Woong Kim, Du Geon Moon, Yiming Yuan, Koichi Nagao†, Lukman Hakim, Hong-Chiang Chang, Siu King Mak, Gede Wirya Kusuma Duarsa, Yutian Dai, Bing Yao, Hwancheol Son, William Huang, Haocheng Lin, Quang Nguyen, Dung Ba Tien Mai, Kwangsung Park, Joe Lee, Kavirach Tantiwongse, Yoshikazu Sato, Bang-Ping Jiann, Christopher Ho, Hyun Jun Park	医学部 医学科 泌尿器科学講座（大森）	Management of Male Infertility with Coexisting Sexual Dysfunction: A Consensus Statement and Clinical Recommendations from the Asia-Pacific Society of Sexual Medicine (APSSM) and the Asian Society of Men's Health and Aging (ASMHA)	The World Journal of Men's Health	20231016	Original Article
234	Mai Kawazoe, Kotaro Aoki, Wataru Hirose, Shotaro Masuoka, Toshihiro Nanki.	医学部 医学科 微生物・感染症学講座、医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野（大森）	Influence of immunosuppressive therapy on longitudinal changes in anti-SARS-CoV-2 spike protein antibodies after two doses of mRNA vaccines in patients with rheumatic diseases	European Journal of Internal Medicine	20230700	Original Article
235	Yuya Saito, Koji Kamagata, Christina Andica, Norihide Maikusa, Wataru Uchida, Kaito Takabayashi, Seina Yoshida, Akifumi Hagiwara, Shohei Fujita, Toshiaki Akashi, Akihiko Wada, Ryusuke Irie, Keigo Shimoji, Masaaki Hori, Kouhei Kamiya, Shinsuke Koike, Takuya Hayashi, Shigeki Aoki	医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Traveling Subject-Informed Harmonization Increases Reliability of Brain Diffusion Tensor and Neurite Mapping.	Aging and Disease	20231115	Original Article
236	Koji Kamagata, Christina Andica, Wataru Uchida, Kaito Takabayashi, Yuya Saito, Matthew Lukies, Akifumi Hagiwara, Shohei Fujita, Toshiaki Akashi, Akihiko Wada, Masaaki Hori, Kouhei Kamiya, Andrew Zalesky, Shigeki Aoki	医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Advancements in Diffusion MRI Tractography for Neurosurgery	Investigative Radiology	20240101	Review
237	Koji Kamagata, Yuya Saito, Christina Andica, Wataru Uchida, Kaito Takabayashi, Seina Yoshida, Akifumi Hagiwara, Shohei Fujita, Moto Nakaya, Toshiaki Akashi, Akihiko Wada, Kouhei Kamiya, Masaaki Hori, Shigeki Aoki	医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Noninvasive Magnetic Resonance Imaging Measures of Glymphatic System Activity	Journal of Magnetic Resonance Imaging	20230901	Review
238	Haruka Takeshige-Amano, Taku Hatano, Koji Kamagata, Christina Andica, Takashi Ogawa, Atsuhiko Shindo, Wataru Uchida, Wataru Sako, Shinji Saiki, Yasushi Shimo, Genko Oyama, Atsushi Umemura, Masanobu Ito, Masaaki Hori, Shigeki Aoki, Nobutaka Hattori	医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Free-water diffusion magnetic resonance imaging under selegiline treatment in Parkinson's disease	Journal of the Neurological Sciences	20240215	Original Article
239	Takamura T, Hara S, Nariai T, Ikenouchi Y, Suzuki M, Taoka T, Ida M, Ishigame K, Hori M, Sato K, Kamagata K, Kumamaru K, Oishi H, Okamoto S, Araki Y, Uda K, Miyajima M, Maehara T, Inaji M, Tanaka Y, Naganawa S, Kawai H, Nakane T, Tsurushima Y, Onodera T, Nojiri S, Aoki S.	医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Effect of Temporal Sampling Rate on Estimates of the Perfusion Parameters for Patients with Moyamoya Disease Assessed with Simultaneous Multislice Dynamic Susceptibility Contrast-enhanced MR Imaging	Magnetic Resonance in Medical Sciences	20230701	Original Article
240	Hara S, Hori M, Kamagata K, Andica C, Inaji M, Tanaka Y, Aoki S, Nariai T, Maehara T.	医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Increased Parenchymal Free Water May Be Decreased by Revascularization Surgery in Patients with Moyamoya Disease.	Magnetic Resonance in Medical Sciences	20230418	Original Article
241	Masami Goto, Yujiro Otsuka, Akifumi Hagiwara, Shohei Fujita, Masaaki Hori, Koji Kamagata, Shigeki Aoki, Osamu Abe, Hajime Sakamoto, Yasuaki Sakano, Shinsuke Kyogoku, Hiroyuki Daida	医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Accuracy of skull stripping in a single-contrast convolutional neural network model using eight-contrast magnetic resonance images	Radiological Physics and Technology	20230900	Original Article
242	Wataru Uchida, Koji Kamagata, Christina Andica, Kaito Takabayashi, Yuya Saito, Mana Owaki, Shohei Fujita, Akifumi Hagiwara, Akihiko Wada, Toshiaki Akashi, Katsuhiro Sano, Masaaki Hori, Shigeki Aoki	医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Fiber-specific micro- and macroscopic white matter alterations in progressive supranuclear palsy and corticobasal syndrome	npj Parkinson's Disease	20230817	Original Article
243	YUYA SAITO, KOJI KAMAGATA, TOSHIAKI AKASHI, AKIHIKO WADA, KEIGO SHIMOJI, MASAAKI HORI, MASARU KUNABARA, RYOTA KANAI, SHIGEKI AOKI	医学部 医学科 放射線医学講座（大森）	Review of Performance Improvement of a Noninvasive Brain-computer Interface in Communication and Motor Control for Clinical Applications	順天堂醫事雑誌	20230831	Review
244	Kouhei Kamiya, Sayori Hanashiro, Osamu Kano, Wataru Uchida, Koji Kamagata, Shigeki Aoki, Masaaki Hori	医学部 医学科 放射線医学講座（大森）、医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野（大森）	Surface-based Analyses of Diffusional Kurtosis Imaging in Amyotrophic Lateral Sclerosis: Relationship with Onset Subtypes	Magnetic Resonance in Medical Sciences	20240130	Original Article
245	Higashi M, Taharabaru S, Adachi YU, Satomoto M†, Tamura T, Matsuda N, Sato-Boku A, Okuda M.	医学部 医学科 麻酔科学講座（大森）	Administration of lipid emulsion reduced the hypnotic potency of propofol more than that of thiamylal in mice.	Exp Anim.	20230602	Original Article
246	Yuji Takasugi, Tomohito Hishikawa, Tomohisa Shimizu, Satoshi Murai, Jun Haruma, Masafumi Hiramatsu, Koji Tokunaga, Yoshimasa Takeda, Kenji Sugiu, Hiroshi Morimatsu, Isao Date	医学部 医学科 麻酔科学講座（大森）	Power suppression in EEG after the onset of SAH is a significant marker of early brain injury in rat models.	Scientific reports	20240127	Original Article
247	Izumi-Nakaseko H†, Chiba K†, Goto A†, Kambayashi R†, Matsumoto A†, Takei Y†, Kawai S†, Sugiyama A*†	医学部 医学科 薬理学講座、医学部 医学科 東洋医学研究室（大森）	Electropharmacological characterization of licorice using the human induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes sheets and the chronic atrioventricular block dogs.	Cardiovascular toxicology	20230500	Original Article
248	Goto A†, Kambayashi R†, Chiba K†, Shinozaki M†, Moritani K, Izumi-Nakaseko H†, Shinozaki M†, Takei Y†, Hirasawa A, Sugiyama A*†	医学部 医学科 薬理学講座、医学部 医学科 東洋医学研究室（大森）	Analyses of the onset mechanisms of cardio-stimulatory action by aciclovir.	Journal of pharmacological sciences	20240200	Original Article
249	Rena Yuasa, Masaki Muramatsu, Akinobu Saitou, Hiroyoshi Osuka, Toshiyuke Morita, Yuko Hamasaki, Ken Sakai	看護学部 看護学科 疾病医療学研究室、医学部 医学科 臨床検査医学講座（大森）	Urinary excretion of thyroid hormone in CKD patients: a proof-of-concept of nephrogenic hypothyroidism	Renal failure	20231212	Original Article
250	Kento Watanabe*†, Tomoaki Shiba, Akira Takahara†, Hiroshi Homma, Tetsuya Komatsu†, Yusuke Tanino, Yoshinobu Nagasawa†, Megumi Aimoto†, Yuichi Hori†.	薬学部 医療薬学教育センター／薬物治療学研究室、医学部 医学科 眼科学講座（大森）	Evaluating the relationship between ocular blood flow and systemic organ blood flow in hemorrhagic shock using a rabbit model	Scientific Reports	20240214	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
251	Tsuchiya Y†, Komazawa-Sakon S†, Tanaka M, Kanokogi T†, Moriwaki K†, Akiba H, Yagita H, Okumura K, Entzminger KC, Okumura CJ, Maruyama T, Nakano H*†	薬学部 生化学教室, 医学部 医学科 生化学講座／生化学分野, 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	A high-sensitivity ELISA for detection of human FGF18 in culture supernatants from tumor cell lines	Biochemical and biophysical research communications	20230707	Original Article

計251件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 (手順書：見出し抜粋) 委員会設置について、医学部長および病院長の責務について 倫理委員会の役割について、委員ならびに事務に従事する者の責務について 教育・研修について、申請の手続について、審査事項について、報告について 記録の保存について、審査結果等の公表について 実施状況の報告、調査・中止および変更命令について、臨時の専門部会の設置について	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年10回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
- 2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 (手順書：見出し抜粋) 設置について、目的について、構成員について、職務について、予算について、事務について、規程改定について	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年10回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
-----------------------	-----

・研修の主な内容

「APRIN e-ラーニングプログラム」 (W e b 講習につき受講は常時可能)

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針および利益相反について」 (W e b 動画につき視聴常時可能)

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

東邦大学医学部は「より良き臨床医の育成」を学是としている。「より良き臨床医」とは、患者さんを全人的にかつ高い技術と適切な態度で診ることができる医師と考えている。卒後2年間の初期臨床研修が修了し、3年目以降は各自それぞれの専門分野に所属し研修を行うが、この後期臨床研修は、将来の医師としての質を決定する重要な期間である。

当院では、後期研修開始の卒後3年目以降は院内助教の職位を設け、大学付属病院においては専門性を求めた研修を行い、教育関連病院においては、それぞれの科の一般性を軸とした研修を行うことにより、幅広くかつ専門性の高い両輪での教育を実践している。

現在、具体的な後期研修プログラムには19の基本領域の他、多数のコース（口腔外科含む）があり（<https://www.trainee.med.toho-u.ac.jp/kouki/p2024.html>）、臨床医としての基礎から専門性の高い領域までの教育が行われ、各分野の認定医・専門医・指導医などの資格を取得できる教育体制を整えている。もちろん、臨床のみならず、研究活動を同時に行い、学位を取得することも可能である。さらに、後輩の教育も重要な責務であり、医学生や初期臨床研修医の教育を通じて、「より良き臨床医」としての基盤を構築できる研修体制を確立している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	185.0人
-------------	--------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

(2023.4.1 現在)

研修統括者	診療科	職位	臨床経験年数	特記事項
池田 隆徳	内科	教授	38	
高月 晋一	小児科	教授	27	
石河 晃	皮膚科	教授	38	
根本 隆洋	精神科	教授	29	
船橋 公彦	外科	教授	38	
高橋 寛	整形外科	教授	36	
中田 雅彦	産婦人科	教授	34	
堀 裕一	眼科	教授	29	
和田 弘太	耳鼻咽喉科	教授	28	
中島 耕一	泌尿器科	教授	30	
周郷 延雄	脳神経外科	教授	36	
堀 正明	放射線科	教授	27	
武田 吉正	麻酔科	教授	37	
栃木 直文	病理診断科	教授	24	

盛田 俊介	臨床検査科	教授	40	
本多 満	救急科	教授	41	
荻野 晶弘	形成外科	教授	25	
大國 生幸	リハビリテーション科	准教授	27	
瓜田 純久	総合診療科	教授	39	
松田 尚久	消化器内科	教授	30	
池田 隆徳	循環器内科	教授	38	
岸 一馬	呼吸器内科	教授	34	
竹林 ちあき	血液腫瘍科	臨床准教授	28	
弘世 貴久	糖尿病・内分泌科	教授	39	
酒井 謙	腎センター	教授	38	
狩野 修	脳神経内科	教授	25	
南木 敏宏	膠原病科	教授	34	
船橋 公彦	消化器外科	教授	38	
伊豫田 明	呼吸器外科	教授	32	
藤井 毅郎	心臓血管外科	教授	34	
高橋 正貴	小児外科	臨床准教授	19	
緒方 秀昭	乳腺・内分泌科	教授	36	
堀 正明	放射線科	教授	27	
寺原 敦朗	放射線科	教授	38	
端詰 勝敬	心療内科	教授	31	
田中 耕一郎	東洋医学科	准教授	22	
関谷 秀樹	口腔外科	准教授	32	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

◇NKV-330研修 2024年2月9日～3月12日 4回 49名

◇ 輸液ポンプ等医療機器に関する研修・5月9日～5月12日（90分×16回）・130名

◇ BLS・AED研修（看護師）・7月1日～12月13日（半日計7回）・127名

◇ インフォームドコンセント：10月25日～10月27日（2h×3回）・117名

◇ 看護倫理研修Ⅰ・10月6日～10月20日（半日3回）・117名

◇ 看護倫理研修Ⅱ・11月10日（半日1回）・17名

◇ がん看護基礎研修・2月7日～3月8日の期間（e-learning）111名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

◇クオリティーマネジメント研修Ⅰ（MRIについて、チームコミュニケーション）
：1日（半日2回）：179名

◇クオリティーマネジメント研修Ⅱ（チームコミュニケーション）：1日（半日2回）：158名

◇メンバーシップ研修：5月22日～5月30日（2.5h×4回）・121名

◇コミュニケーション研修：9月26日～10月31日（半日2回）・38名

◇プリセプター研修：6月2日～6月7日（3h×4回）・104名

◇看護補助者研修（看護補助者）：11月6日～2月29日の期間（e-learning）・39名

（看護師）：11月6日～2月29日の期間（e-learning）・全看護師

◇看護管理者研修（各種）

・看護師長研修：8日（1.5h×8回）・232名

・師長補佐研修：2月21日・3月13日（1.5h×2回）・35名

・新師長研修：8月1日（2h×1回）・3名

・新師長補佐研修：9月18日（2h×1回）・6名

・新主任看護師研修：9月4日・9月11日・11月27日（8h×2回、1.5h×1回）・22名

◇看護教育担当・指導者研修：5月25日～1月25日（1.5h×3回）・62名

② 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容 ・研修の期間 ・実施回数 ・研修の参加人数

循環器疾患に関する高度かつ専門的な医療情報についての研修

◇第156回心臓の会：2023年1月27日 40名 新しい心不全治療

僧帽弁閉鎖不全症に対するMitraClip

◇第157回心臓の会、2023年5月25日開催、心臓大血管手術の限界への挑戦

1日・2回全体で50名（内研修医10名前後）

◇第158回心臓の会、2024年1月25日開催、Transcatheter interventions on right side heart

1日・2回全体で50名（内研修医10名前後）

(注)1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注)2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ○ 2. 現状	(令和6年10月1日時点)
管理責任者氏名	病院長 酒井 謙	
管理担当者氏名	医療安全管理部・部長 前村俊満、感染管理部・部長 舘田一博、薬剤部・部長 松本高広、臨床工学部 副技師長 吉岡祐滋、総合相談部 部長 和田弘太、中央放射線部 次長 中野秀治、医療情報管理センター 課長補佐 草道裕子、総務課 事務次長 安江紀治、人事課 課長 樋山恵、医事課 課長 加藤富士男、医事課 課長 涌井芳樹	

		保 管 場 所		管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	・書面綴りキャビネットでの施錠保管管理 ・電子保存およびターミナルデジット方式にて分類 ・診療記録・診療諸記録取り扱いに関する規定 ※診療録の学外への持出は原則禁止（「診療記録・診療諸記録取り扱いに関する規定」に準ずる）
		各科診療日誌	医療情報管理センター	
		処方せん	医療情報管理センター	
		手術記録	医療情報管理センター	
		看護記録	医療情報管理センター	
		検査所見記録	医療情報管理センター	
		エックス線写真	医療情報管理センター	
		紹介状	医療情報管理センター	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報管理センター	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。
		高度の医療の提供の実績	診療科及び総務課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	診療科及び総務課	
		高度の医療の研修の実績	診療科及び総務課	
		閲覧実績	医療情報管理センター	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部及び医事課	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	総務課及び医療安全管理部	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部	・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学部および中央放射線部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部および中央放射線部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部および中央放射線部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部および中央放射線部	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部および総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課及び感染管理部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報管理センター
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	高難度新規医療技術管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	未承認新規医薬品等管理部
		監査委員会の設置状況	法人本部および病院総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	総合相談部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部および総務課
		管理者が有する権限に関する状況	法人本部および総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	法人本部および総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	法人本部および総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	事務部総務課 事務次長 安江 紀治
閲覧担当者氏名	事務部総務課 課長補佐 高橋 由美子
閲覧の求めに応じる場所	・個人情報管理室
閲覧の手の続の概要 病院宛てまたは病院長宛の公文書(書面)による依頼・照会に基づき、閲覧の申込みを受け付ける。受け付けられた内容に対し、病院長が認めた内容について閲覧を実施する。 なお、閲覧は、管理部署(事務部総務課)職員ならびに関係の教職員が立ち会い、指定の閲覧場所(個人情報管理室)にて行う。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11 第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： I 医療安全管理に関する基本的方針 II 組織および体制 III 職員研修 IV 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 V 医療事故発生時の対応 VI 医療従事者と患者との間の情報共有 VII 患者等からの苦情・相談への対応 VIII 医療安全のための外部評価 IX 本指針の見直し	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況 ・ 設置の有無（ 有・無 ） 医療安全管理委員会 ・ 開催状況：年 4 回 ・ 活動の主な内容： 1) 重大な問題、医療安全管理委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合は、速やかに原因究明のための調査及び分析を行う。 原因究明のための調査及び分析は、客観的事実から構造的原因を分析するものであり、個人の責任追及を行うものではないことに留意する。 2) 分析の結果を活用した医療安全の確保を目的とした改善方策の立案及び実施並びに従業者への周知を行う。医療安全の確保を目的とした改善方策の立案及び実施並びに従業者への周知とは、組織としての改善方策を企画立案及び実施し、医療機関において情報を共有するものである。また、改善方策は、背景要因及び根本原因を分析し検討された効果的な再発防止策等を含むものである。 3) 改善方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しを行う。改善方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しとは、同様の事故等の発生状況の確認や、医療安全管理委員会の構成員が定期的に関係部署の巡回を行うなどをして調査を行い、必要に応じて医療安全の知見に基づいた見直しを行うものである。 4) 必要な検討内容について患者への対応状況を含め管理者へ報告する。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の内容（すべて）： 医療安全管理、感染管理、医薬品、医療機器、放射線被ばく、産業保健 個人情報、臨床倫理 ・ 第1回 全体研修（Webセミナー） 2139 名（7/18～8/31） ・ 第2回 全体研修（Webセミナー） 2032 名（1/15～2/29）	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (☒ ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 1) 院内での医療事故やヒヤリハット、その他報告が必要な事象に遭遇した場合インシデント・アクシデント支援システム（あんしん君）へ入力し、医療安全管理部へ報告する。
入院患者の死亡は、電子カルテ上で退院登録した際に、病院長、医療安全管理責任者、医療安全管理部へ自動でメール送信され、報告される。
 - 2) 管理者が定める22項目に該当する症例は、毎日報告（院長報告）として、院内報告システム（モニタ君）へ入力し、医療安全管理部へ報告する。
その後、医療安全管理上の課題が認められる事例等は、関係者にMMカンファレンスの開催、また必要時、医療安全報告書の提出を求める。
 - 3) 毎週開催される医療安全管理委員会において、あんしん君と毎日報告（院長報告）で報告され全事例を評価する。その内、改善が必要と思われる事例については、関係者へ改善策の策定を求める。院内で協議・調整が必要な改善策は、医療の質統括会議へ提出する。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
・ 指針の主な内容： 骨子「院内感染より患者及び医療従事者の身を守るために、手指衛生及び感染予防策を徹底させる」 1. 感染対策に関する基本的考え方 2. 感染対策のための委員会等の組織に関する基本事項 3. 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本指針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 他病院との連携に関する基本方針 7. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 8. その他の感染対策の推進のために必要な指針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容：毎月1回定例として委員会を開催 ・ 厚労省・東京都等からの通達 ・ 感染症報告書の集計報告 ・ 主要菌サーベイランス報告 ・ 抗菌薬使用状況、耐性菌発生件数報告 ・ ICTラウンド結果報告 ・ 耐性菌警告書発行報告 ・ マニュアル改定・作成報告 ・ 研修報告 ・ 感染防止対策加算における連携に関する活動報告等を行い 院内感染上問題となる状況やその徴候について審議。 また、衛生委員会、医療安全管理部と連携し、感染対策の推進を図っている。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 23 回
・ 研修の内容（すべて）：全職員対象とした全体研修を年2回実施 ・ 新規採用者対象の院内感染の基礎知識等 ・ 微生物検査の提出と結果の解釈	

- ・感染症診療の基本とTDM・届出
- ・結核画像診断・空気感染予防策
- ・カテーテル関連血流感染対策
- ・静脈注射研修
- ・耐性菌伝播予防策の知識の習得
- ・院内清掃を行う職員のための感染対策

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ 各検査部における各種耐性菌の早期発見
 - ・ 電子カルテシステムを利用した感染情報の共有
 - ・ 臨床現場における感染予防策の徹底
 - ・ 各種サーベイランスの実施
 - ・ 病棟・外来・その他施設の環境ラウンド及び耐性菌検出患者のラウンドの実施
 - ・ 抗菌薬適正使用の教育・推進活動
 - ・ 感染対策関連マニュアルの見直しと改訂

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 10回
・ 研修の主な内容： ・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報 ・ 使用方法に関する事項 ・ 業務手順書に関する事項 ・ 副作用が発生した場合の対応に関する情報	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (☒ 有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ・ 医薬品の業務手順書の作成 ・ 医薬品の安全使用のための研修 ・ 業務手順書に基づく実施状況の確認・記録 ・ 改善のための方策の実施	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☒ 有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 硝子体手術時の硝子体可視化糖尿病黄斑浮腫へのテノン囊下投与・硝子体内投与 網膜静脈閉塞症・非感染性ブドウ膜炎に対するテノン囊下投与 （マキュエイド注の代替として） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1) PMDAおよび製薬企業からの医薬品安全情報を速やかに伝達（お知らせの配布・院内ネット（メール配信）の利用・会議報告）。 2) クオリティマネージャー会議等を通じて報告内容を全職員に閲覧し周知を図っている。 3) 院内副作用報告は医薬品情報室で一元化し、薬事委員会で報告後職員にも情報を発信している（ 9 件）。 以上の情報は、院内イントラネットで職員が全て随時入手できる体制となっている	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 47 回
- 研修の主な内容： - 人工心肺・IMPELLAについての講義 - 人工呼吸器の操作、注意事項についての講義および実技指導 - 放射線治療装置の操作、注意事項についての講義 - 閉鎖式保育器の操作、注意事項についての講義 - 電気メスについての講義	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
- 医療機器に係る計画の策定 (有・無) - 機器ごとの保守点検の主な内容：人工呼吸器、放射線治療装置、血液浄化装置、閉鎖式保育器、人工心肺装置、補助循環装置、除細動器 - 院内実施定期保守：輸液・シリンジポンプ、血液浄化装置、除細動器	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) - 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： - その他の改善のための方策の主な内容：	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
・ 責任者の資格（○医師・歯科医師） ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者は、医療安全・医療の質に関わる担当者を指揮し、当院の医療安全を統括する。当院では安全担当 副院長がその役割を担う。 毎週開催される医療安全管理委員会に、医療安全管理部、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者等が参加、各担当業務の状況を医療安全管理責任者に報告している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 ・ 医薬品安全管理責任者は、医療法施行規則第9条20の2第1項第3号イ、ロに掲げる措置を適切に実施するとともに、その担当者に医療安全管理室専従の薬剤師を配置している。 ・ 医療安全管理室専従の薬剤師を活用し、新規採用職員・中途採用職員に対する医薬品安全使用のための教育を実施している。 ・ 医薬品に関する情報の収集・整理は、医薬品情報室に行わせる。 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 ・ 医薬品安全管理責任者は医療安全管理室専従薬剤師に指示し、各部署からの未承認や適応外・禁忌に使用する医薬品情報を収集し報告を受ける。医療安全管理室専従薬剤師は医療安全管理委員会にて報告を行う。これらの報告から医薬品安全管理責任者は、必要に応じ医薬品の適正使用にかかる注意喚起（禁忌等や緊急安全性情報等）を院内全体に行わせ、必要に応じ手順の見直しを行っている。 ・ 担当者の指名の有無（○有・無） ・ 担当者の所属・職種： （所属：薬剤部， 職種 薬剤師 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する	

る規程の作成の有無 (有・無)

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：インフォームドコンセントへの看護師の同席状況をモニタリングしている。患者への説明と同意に関する規程に則ってインフォームドコンセントを得るように全体研修（年２回開催する医療安全研修）等で職員へ指導するほか、必要時に個別指導を行う。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

【診療録等の記載内容の確認】

全退院患者の診療録・診療諸記録について確認を行う〔量的監査〕と全診療科の診療録・診療諸記録について確認を行う〔質的監査〕にて診療録等の記載内容を確認している。記載内容の監査については、以下の項目を中心に「診療録・診療諸記録監査マニュアル」に則って確認を行い、不備等があれば当該診療責任者と記載医へ通知を行っている。

○確認項目：診療記録（検閲状況・経過記録の適時記載等）、インフォームド・コンセント、カンファレンス記録、手術記録、退院サマリー、書類（入院診療計画書・検査等承諾書・手術承諾書・麻酔承諾書）

【主な指導（通知）内容】

各項目の未記載・不備、病名の訂正・追加、日付の誤り、略語の訂正、ＩＣや書類の不備 等

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

・所属職員：専従（１３）名、専任（ ）名、兼任（１４）名

うち医師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（６）名

うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（１）名

うち看護師：専従（４）名、専任（ ）名、兼任（１）名

（注）報告書を提出する年度の１０月１日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- １）医療安全管理に関する基本的考え方や組織に関する基本的事項について明示した指針の策定に関すること
- ２）インシデント及びアクシデントの実態の把握と、その背景要因の分析と評価に関すること
- ３）医療の質の向上に関すること

- 4) 院長報告基準に該当する事例が発生した場合、診療録その他の記録棟が正確かつ十分になされていることの確認及び指導、事例の記録、保管に関すること
- 5) 医療事故発生時の患者や家族の説明など対応状況についての確認、及び事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び、指導に関すること
- 6) 医療に係る安全の確保に資する診療状況の把握及び、職員の医療の安全に関する意識の向上の状況を確認し記録すること
- 7) 医療安全に関わる連絡調整に関すること
- 8) 医療の質統括会議の記録事務に関すること
- 9) 相談窓口等の担当者と密接な連携を図り、医療安全に係る患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援すること
- 10) 定期的に院内を巡回し各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策に関すること
- 11) 医療安全管理部に関わる研修会の企画・運営に関すること
- 12) 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療安全管理委員会の庶務に関すること
- 13) 医療安全文化のモニタリングと醸成に関すること（年2回開催する医療安全研修において、従業員の医療安全の認識を問うアンケートを実施している）
- 14) その他医療安全の推進に関すること

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（12件）、及び許可件数（9件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（☒・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒・無）

・ 活動の主な内容：

高難度新規医療技術の導入を行う際には、各診療科から書類で高難度新規医療技術管理部門に申告する。高難度新規医療技術管理部は内容を確認し、評価委員会での審議が必要か否かを審議する。評価委員会は管理部門とは独立しており、導入の可否、導入の方法を審議しその結果を管理部

へ報告する。報告を受けた管理部は、評価委員会の審議結果を踏まえ、技術の提供の適否等について病院長に報告し、最終的な導入の決定を行う。

実施前と実施後、3ヶ月後、6ヶ月後、1年後に患者の状況の確認（モニタリング）を行い、病院長に報告する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（☒・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（18件）、及び許可件数（17件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（☒・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒・無）

・ 活動の主な内容：

国内未承認の医薬品・医療機器または国内承認済みの医薬品・医療機器を保険適応外で使用した場合は、各診療科から書類で未承認新規医薬品等管理部に申請を行う。未承認新規医薬品等管理部は内容を確認し、評価委員会での審議が必要か否かを審議する。評価委員会は使用の可否を検討し管理部へ検討結果を報告する。報告を受けた管理部は、評価委員会での結果を評価し、最終的な使用開始の決定を行う。使用を認めた医薬品や医療機器について、患者への説明および医療行為が適切に行われているかをモニタリングし評価する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒・無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（☒・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 443 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 285 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

（入院患者が死亡した場合の報告事項）

名称：院内死亡報告

システム：死亡退院時に、医師が起因となる医療行為の有無、死亡の予期を電子カルテへ登録。

登録の内容（患者ID、退院日、退院理由、起因となる医療行為の有無、死亡の予期の有無などを

含む) が病院長・医療安全管理責任者・医療安全管理部へメールで送信され、報告される。

報告内容：入院患者の死亡および死産

対応：医療安全管理部は、死亡・死産症例の診療記録を確認し、予期せぬ死亡かどうか、医療行為に起因するかどうかを確認する。医療安全管理部内の検討結果を、毎週開催される医療安全管理委員会で報告し、必要な対応等について審議する。問題が認められる症例は別途病院長へ報告する。

(入院患者の死亡以外の水準)

名称：毎日報告(院長報告)

システム：モニタ君

報告内容：濃厚な処置や治療が必要となる(3b 以上となり得る)22 項目を病院長が設定している。毎日病棟等の関係部署より、前述の項目に該当する事例の発生があったかどうか、あった場合は項目番号が医療安全管理部へ報告される。医療安全管理部へ報告された事例は病院長へ報告する。

対応：医療安全管理部内で毎日、現病等による病状の悪化か、予期したものか、加えられた追加治療は何か、3b 以上であるか、等を検討する。医療安全管理部内の検討結果を、毎週開催する医療安全管理委員会で報告し、必要な対応等について審議する。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（☒（病院名：順天堂大学医学部附属順天堂医院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（☒（病院名：順天堂大学医学部附属順天堂医院）・無）
- ・技術的助言の実施状況
技術的助言なし

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

窓口の名称：総合相談・がん相談支援センター

相談日・時間：月曜日から金曜日 9:00 から 17:00

土曜日 9:00 から 14:00

(祝日・第3土曜日・年末年始・創立記念日 6/10 は除く)

責任者氏名：和田弘太(医師)

(活動状況等)

●患者等への明示方法

- ・ポスターを1号館・2号館・3号館・5号館入り口付近、各科外来、検査施設等、全病棟に掲示し案内している。
- ・病院リーフレット「総合相談のご案内」を配布用として9か所に配置している。
- ・入院受付で配布している「入院のご案内」に掲載している。
- ・総合相談部入口横にカウンターを設け積極的に対応を行っている。
- ・院内案内図「A0(総合相談部)」場所(窓口)を案内している。
- ・ホームページに総合相談部の「主な活動」「相談内容」などを掲載している。

●患者等が不利益を受けないよう適切に配慮の具体的方策

- ・東邦大学医療センター大森病院 総合相談部規約第14条(相談情報の秘密保護)の規定順守。
- ・ポスター、リーフレット、ホームページに「個人情報を厳守し、不利益が生じないよう配慮しています」と記載している。

●相談窓口以外の相談方法

- ・ご意見箱の設置(23か所)
- ・電話相談
- ・大森病院ホームページ上にご意見・お問い合わせを受け取れる
- ・入力フォームの設置

⑫ 職員研修の実施状況

- ・全体研修(全従業者を対象に年2回開催する医療安全研修:医療安全、感染管理、医薬品、医療機器、放射線被ばく、個人情報、産業保健、臨床倫理など)
- ・新入職者対象クオリティーマネジメント研修(新入職者を対象に年2回開催する:MRI、医療安全、チームトレーニング)
- ・新研修医対象 医療安全研修(新入職者のうち研修医を対象に年2回開催する:インシデント報告の方法、医療安全、医療機器)
- ・CVC挿入認定医研修、CVCインストラクター指導医養成研修会(各々希望者を対象に年1~2回開催:中心静脈カテーテルの挿入技術)
- ・PICC挿入研修(希望者を対象に不定期開催:PICカテーテルの挿入技術)

- ・ 東邦大学 3 病院合同医療安全研修会（各部署のクオリティーマネジャー等を対象に年 1 回開催：心理的安全性・臨床倫理）

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況 総務、

・ 研修の実施状況

次の者が公益財団法人日本医療機能評価機構の開催する 2023 年度特定機能病院管理者研修に参加した。

- ・ 管理者（病院長） 2024 年 1 月 26 日
- ・ 医療安全管理責任者 2023 年 11 月 20 日
- ・ 医薬品安全管理責任者 2023 年 12 月 15 日
- ・ 医療機器安全管理責任者 2023 年 12 月 4 日
- ・ 医療放射線安全管理責任者 2024 年 1 月 9 日

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

令和 3 年 3 月 24～26 日に公益財団法人 日本医療機能評価機構受審

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

結果について、病院ホームページにて公表。

・ 評価を踏まえ講じた措置

- ① 患者説明・承諾書の改訂文書使用の徹底・継続的なモニタリングを実施。
- ② BLS、AED講習会の年次計画を立て実施。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
- 基準の主な内容 東邦大学医学部附属病院長選任規程（内規）（令和3年1月1日 一部改訂） - 特定機能病院の被選任権者については前項に加え医療の安全の確保のために必要な資質及び能力（医療安全管理業務の経験や患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を含む）及び組織管理能力等の当該病院を管理運営する上で必要な資質及び能力（当該病院内外での組織管理経験を含む）を有する者とする。また、選考に当たって、選考委員会は、求める資質及び能力についてあらかじめ当該病院のホームページに公表しなければならない。 - 医療安全管理業務の経験とは、各号のいずれかの業務に従事した経験を有する者とする。 （1）医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務 （2）医療安全管理委員会の構成員としての業務 （3）医療安全管理部門における業務 （4）その他上記に準じる業務 - 基準に係る内部規程の公表の有無（ ☐ 有・無 ） - 公表の方法 病院のウェブサイトにて、規程を公表 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/senkou.html

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有・〇無
- 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ ☐ 有・無 ） - 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ ☐ 有・無 ） - 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ ☐ 有・無 ） - 公表の方法 病院のウェブサイトにて、規程を公表 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/senkou.html				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 （〇を付す）	選定理由	特別の関係
炭山 嘉伸	理事長	〇	選任規程による	〇有・無
白井 久己	常務理事		選任規程による	〇有・無
中村 俊一郎	常務理事		選任規程による	〇有・無
高松 研	学長		選任規程による	〇有・無
池田 隆徳	医学部長		選任規程による	〇有・無
狩野 修	病院所属の教授		選任規程による	〇有・無

船橋 公彦	病院所属の教授		選任規程による	○有・無
中島 耕一	病院所属の教授		選任規程による	○有・無
田中 耕一郎	病院所属の准教授		選任規程による	○有・無
佐地 真育	病院所属の講師		選任規程による	○有・無
小林 七郎	外部委員		選任規程による（利害関係無し）	有・○無
亀山 周二	外部委員		選任規程による（利害関係無し）	有・○無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		○有・無	
・ 合議体の主要な審議内容 診療部委員会（病院意思決定機関）で、病院の運営方針、中期計画、予算及び決算などを審議する。 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 会議の議事録等は院内イントラネットを用いて、各部署で閲覧できる仕組みにしている。 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 公表の方法 内部規程は院内イントラネットを用いて、各部署で閲覧できる仕組みにしている。 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・○無 ）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
診療部委員会名簿 別紙参照			

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ）
- ・ 公表の方法
病院ウェブサイト (<https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/tokutei.html>)
および院内細則
- ・ 規程の主な内容

管理者が病院の管理・運営に必要な指導力を発揮できる内容、有する権限を記載している。
＜一部抜粋＞

管理者は、前項に定めるもののほか、次の各号に掲げる事項に関する職務を行う。

 - （１）医療安全管理について、十分な知見に基づく高度な医療安全管理体制の確保
 - （２）高度かつ先進的な医療の提供
 - （３）病院組織の総合的な状況把握と、これらを含めた適切な病院の管理及び運営
 - （４）高度の医療技術の研究、開発及び評価
 - （５）学生、医師、関連医療職の医療に関する教育及び研修等の実施
 - （６）地域医療機関との連携
 - （７）診療及び病院の運営等に関する諸記録の適正な管理
 - （８）病院に関する経営情報等の把握と経営状況の改善
 - （９）病院情報システムの管理
 - （１０）病院の個人情報の管理
 - （１１）病院の事業計画、中期計画、予算の策定及び管理
 - （１２）病院の施設整備及び改善
 - （１３）病院に勤務する職員の労働環境及び労働条件の改善
 - （１４）理事会への病院部門の意向提言及び病院職員への経営方針等重要事項の周知
 - （１５）理事長から特別に委任された事項
 - （１６）その他の病院運営に関する重要な事項
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割別紙参照（執行部担当表）
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
院内研修として、将来構想若手勉強会の開催
外部研修として、医事研究会、医療安全研修などへ参加している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					○有・無
・ 監査委員会の開催状況：年2回 ・ 活動の主な内容： ◇委員会は、当該病院における医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務状況について、管理者等から報告を求め、または必要に応じて自ら確認を実施する。医療安全に関する研修報告、事故事例報告、医療安全運営改善報告などがこれにあたる。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（○有・無） ・ 委員名簿の公表の有無（○有・無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（○有・無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（○有・無） ・ 公表の方法： 病院ウェブサイトにて公開 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/evaluation/audit.html					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
福島 靖正	国立保健医療科学院名誉院長（医師）	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・○無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
小西 貞行	小西貞行法律事務所（弁護士）		法律に関する識見を有する者	有・○無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
岩本 裕	ジャーナリスト		医療メディアに関する識見を有する者	有・○無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者
渡邊 善則 R6.7.1～	東邦大学 学長（医師）		医療に関する識見を有する者	○有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
池田 隆徳	東邦大学医学部長（医師）		医療に関する識見を有する者	○有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・ 体制の整備状況及び活動内容

法人本部監査室

・ 専門部署の設置の有無（ ☐ 有・☐ 無 ）

・ 内部規程の整備の有無（ ☐ 有・☐ 無 ）

・ 内部規程の公表の有無（ ☐ 有・☐ 無 ）

・ 公表の方法

学内ポータルサイト

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 ◇理事会（法人） 理事会は、病院の予算執行状況等、管理運営に関する重要事項について監督する ・ 会議体の実施状況（ 年11回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ○有・無 ）（ 年11回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 公表の方法 学内ポータルサイト			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：理事会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 （○を付す）	利害関係
理事会名簿 別紙参照			有・無
			有・無

（注） 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（　○有・無　） ・ 通報件数（令和 4 年度：0 件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（　○有・無　） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（　○有・無　） ・ 周知の方法 全体研修および各種会議にて報告、院内通知文での発信

6-3

第9条の3添付

診療部委員会

役職	氏名	規約構成（選出根拠）	所属
委員長	酒井 謙	病院長	病院長
委員	堀 裕一	副院長	副院長
委員	大塚 由一郎	副院長	副院長
委員	中島 耕一	副院長	副院長
委員	小原 雅子	副院長	副院長
委員	佐々木 陽典	各科診療責任者	総合診療内科
委員	松田 尚久	各科診療責任者	消化器内科
委員	船橋 公彦	各科診療責任者	消化器外科
委員	池田 隆徳	各科診療責任者	循環器内科
委員	藤井 毅郎	各科診療責任者	心臓血管外科
委員	岸 一馬	各科診療責任者	呼吸器内科
委員	伊豫田 明	各科診療責任者	呼吸器外科
委員	弘世 貴久	各科診療責任者	糖尿病・代謝・内分泌センター
委員	酒井 謙	各科診療責任者	腎センター
委員	狩野 修	各科診療責任者	脳神経内科
委員	周郷 延雄	各科診療責任者	脳神経外科
委員	南木 敏宏	各科診療責任者	膠原病科
委員	高月 晋一	各科診療責任者	小児科
委員	高橋 正貴	各科診療責任者	小児外科
委員	高月 晋一	各科診療責任者	小児循環器科
委員	竹林 ちあき	各科診療責任者	血液・腫瘍科
委員	緒方 秀昭	各科診療責任者	乳腺・内分泌外科
委員	端詰 勝敬	各科診療責任者	心療内科
委員	根本 隆洋	各科診療責任者	精神神経科
委員	荻野 晶弘	各科診療責任者	形成外科
委員	高橋 寛	各科診療責任者	整形外科
委員	中田 雅彦	各科診療責任者	産婦人科
委員	石河 晃	各科診療責任者	皮膚科
委員	中島 耕一	各科診療責任者	泌尿器科
委員	堀 裕一	各科診療責任者	眼科
委員	和田 弘太	各科診療責任者	耳鼻咽喉科
委員	堀 正明	各科診療責任者	放射線科
委員	武田 吉正	各科診療責任者	麻酔科
委員	田中 耕一郎	各科診療責任者	東洋医学科
委員	増本 健一	各科診療責任者	新生児科
委員	大國 生幸	各科診療責任者	リハビリテーション科
委員	関谷 秀樹	各科診療責任者	口腔外科
委員	栃木 直文	各科診療責任者	病理診断科
委員	鷲澤 尚宏	中央診療部門	栄養治療センター
委員	中村 陽一	中央診療部門	緩和ケアセンター

委員	菊池 由宣	中央診療部門	化学療法センター
委員	本多 満	中央診療部門	救命救急センター
委員	島田 英昭	中央診療部門	がんセンター
委員	水野 友裕	中央診療部門	重症心不全センター
委員	永尾 光一	中央診療部門	リプロダクションセンター
委員	岡野 直樹	中央診療部門	内視鏡部
委員	本多 満	中央診療部門	集中治療部
委員	天野 英夫	中央診療部門	心血管インターベンション部
委員	藤野 紀之	中央診療部門	不整脈センター
委員	酒井 謙	中央診療部門	人工透析部
委員	大国 生幸	中央診療部門	褥瘡ケアチーム
委員	本多 満	中央診療部門	呼吸ケアチーム
委員	松田 尚久	中央診療部門	先端健康解析センター
委員	武田 吉正	中央診療部門	移植医療支援部
委員	片桐 由起子	中央診療部門	臨床遺伝診療部
委員	盛田 俊介	中央施設部門責任者	臨床検査部
委員	永井 英成	中央施設部門責任者	臨床生理機能検査部
委員	大塚 由一郎	中央施設部門責任者	中央手術部
委員	堀 正明	中央施設部門責任者	中央放射線部
委員	藤井 毅郎	中央施設部門責任者	臨床工学部
委員	高橋 浩之	中央施設部門責任者	輸血部
委員	松本 高広	中央施設部門責任者	薬剤部
委員	鷺澤 尚宏	中央施設部門責任者	栄養部
委員	栃木 直文	中央施設部門責任者	病院病理部
委員	高井 雄二郎	中央施設部門責任者	医療情報管理センター
委員	大塚 由一郎	中央施設部門責任者	地域医療支援センター
委員	本多 満	中央施設部門責任者	保険医療指導部
委員	南木 敏宏	中央施設部門責任者	治験・臨床研究管理部
委員	堀 裕一	中央施設部門責任者	国際医療支援部
委員	平松 武昌	事務部長	事務部長
委員	前村 俊満	委員長指名	医療安全管理部
委員	宮崎 泰斗	委員長指名	感染管理部
委員	和田 弘太	委員長指名	総合相談部
委員	高井 雄二郎	委員長指名	電子情報委員会
委員	原 規子	委員長指名	羽田空港クリニック
委員	高井 雄二郎	委員長指名	卒後臨床研修/生涯教育センター

6-3
15条4.第1項第3号
添付

学校法人東邦大学 役員（理事・監事）名簿

令和6年9月1日現在

理事長	炭山 嘉伸
常務理事	中村 俊一郎
常務理事	高阪 朋宏
理事	渡邊 善則
理事	池田 隆徳
理事	多田 周右
理事	古田 寿昭
理事	尾立 篤子
理事	酒井 謙
理事	渡邊 学
理事	鈴木 啓悦
理事	松本 琢司
理事	小家 一彦
理事	五味 達哉
理事	高原 章
理事	尾関 博之
理事	額田 均
理事	加藤 裕芳
理事	伊藤 展枝
理事	菊地 京子
理事	福島 富士子
監事（常勤）	白井 久己
監事	西込 明彦
監事	山田 眞之助

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ◇ 地域連携学術セミナーを年 1 回開催し、当院の診療内容・方針を理解していただき、地域医療機関との医療連携促進に役立てている。 ◇ 公開講座を実施し、一般の方に対して、広く情報発信を行っている。年間10回開催を計画している ◇ 広報誌「おかげさん」を年4回発行し、当院の診療科医師などの紹介、診療内容について広く情報発信を行っている。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ◇ 組織横断的なチームを形成することで、複数の診療科・多職種の職員が連携して、従前より診療対応に当たっている。呼吸ケア、褥瘡ケア、認知症ケアチーム、周術期センター等がこれにあたる。	